

平成 25 年度
(第 40 期)
事業報告

作成日：平成 26 年 5 月 8 日

自 平成 25 年 04 月 01 日
至 平成 26 年 03 月 31 日

1 全体総括

(1) はじめに

第三期中期経営 3 か年計画（2013～2015）の初年度の年である平成 25 年度の当法人事業活動は、年初に掲げた 6 つの重点目標、1）常に、相手の立場に立ち、安心かつ安全な生活が送れるように支援する、2）個人が尊厳を持って、自立した生活が送れるように支援する、3）一人ひとりがプロ意識を持ち、利用者と組織に求められる人材となる努力と、その育成に努める、4）助け合い・支え合い・高め合う仲間をつくり、チームケアに徹する、5）地域住民・家族・関係機関との協働による施設運営に努める、6）法令遵守と適正利益の確保を図り、経営の安定に努める、ことを柱に年度事業計画にそって各事業所・委員会等の活動を中心に積極的に実施され、概ね順調に遂行された。以下にその概要を報告する。

(2) 法人経営

社会福祉法人さつき会は、法人設立後、これまで 40 年間にわたり、「地域の福祉ニーズに柔軟に 대응する」ことを使命として、「利用者本位」の原則の下、社会福祉事業を経営してきた。特に、平成 12 年度以降は社会福祉構造改革や介護保険制度の導入を機に、経営環境の変化に柔軟に適応する経営基盤と自立的な経営を確立することを主眼に経営改革に傾注してきた。

この間、関係行政並びに地域の皆様の積極的なご支援、ご協力も得て、利用者・職員・組織ともに満足できる人づくり・組織づくりをビジョンに掲げ、「ケアと経営」「心と仕組み（システム）」の両立を大切にしながら、より良いケアの提供と働きがいのある職場づくりに努めてきた。

本年度は、デイセンター・小規模多機能ホームの運営改善、重度化・重症化リスクへの早期対応、総合職への積極的な登用、現任職員研修の充実、面談制度の推進、サービス向上発表会の実施を重点的に取り組んだ。結果、職員の専門技術と多職種によるチームケアの向上により、著しい入院者の減少と稼働率の安定が図られた。また、職場環境を一因にあげ退職した者の離職率は 8.9%（前期 5.1%）となり、これまでの「人材の確保と育成」の取り組みの成果が持続できている。

一方、積み残した課題も多く、適正利益確保の未達をはじめ、デイサービス・小規模多機能型住宅介護事業・ホームヘルプサービスの業績低下、階層別研修制度の体系化、月次業績の分析・対応は、いずれも未着手・不十分な結果にとどまった為、次年度の重点課題として取り組む所存である。

(3) 施設運営

本年度は、「中重度者に対する良質高度なケアとケアマネジメントの提供」「個に根ざした自立支援介護」「住民参加型地域包括ケアの推進」を重点課題と位置づけ、部門毎の活動計画に基づき、現場職員が主体となってケアとサービスの質向上に努めることができた一年であった。

具体的には、全事業所における基礎介護力向上研修の実施、施設内での積極的な終末ケア、利用者・家族の声を大切にするための満足度調査、職員の教育・サポート体制の充実、家族・地域住民との協働による行事・活動の推進などに取り組んだ。

一方、スタッフの不注意による誤投薬・転倒等、安全対策と業務の標準化への組織的対応が不十分であるが故の出来事と反省し、次年度の最重点課題となった。

来年度は第三期・中期経営 3 か年計画の二年目の年。現・中期経営計画の総括と新・中期経営計画を策定し、今後も「高齢者の自立した尊厳ある人間らしい生活を守る」ための福祉サービスの安定的・継続的に提供と、利用者・職員・組織がともに満足できる施設運営に努める。

2 部門別事業実績（概要）

（単位：円）

事業名 （課）	事業(係)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	事業活動 収支差額
法人本部	理事会・評議員会の運営 内部監査の実施 法人全体の企画・調整 各施設・事業所の経営及び統括 経営企画に関する諸会議の運営 許認可・申請事務 特命事項 職員の教育・研修 実習、研修等の受入・調整 デイ・なごみ・えんの給食管理・実務 ボランティア・家族会の運営 地域包括支援センターへの人材派遣	—	3	理事会 3回(7) 評議員会 2回(3) 監事監査 3回(3) 経営改善会議 43回(45) 全体職員会議・研修 3回(5) 実習受入(実件数) 8件(11) (延べ人数) 260人(132) 行事食 86回(87)	▲11,178,506 (▲2,189,370)
総務課	総務・人事・会計の管理・実務 施設運営の企画 施設設備の維持管理 施設内の衛生管理 他部署に属さない業務	—	9	施設整備 2件(1) 総事業費 3,225,075 (2,467,500) 設備整備 1件(1) 総事業費 1,720,740 (1,810,000)	—
介護老人福祉施設事業	要介護と認定された、ねたきり、認知症等により在宅での生活が困難な方に対して、施設において「自立」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	50名	37	新規入居者 男1名(2)、女3名(7) 計4名(9) 退居者 男2名(2)、女2名(7) 計4名(9) ベッド稼働率 98.4%(98.1%) 入居待機者 44名(73)	16,679,563 (15,022,800)
短期入所生活介護事業	在宅でねたきり、認知症及び虚弱のおとしりを介護されている家族が、介護疲れ、病気、事故などにより、一時的に介護することができなくなった場合に、一定期間そのおとしりに特別養護老人ホームに入居していただき、家族の介護負担の軽減に努めた。	10名	10	実利用者数 40名(46) 実件数 237件(208) 延利用者数 2,499名(1,983) 一日平均 6.8名(5.4) ベッド稼働率 85.6%(75.5%)	1,420,431 (▲2,442,568) 生きがいショート委託費 434,750 (284,790)
通所介護事業 (はびねす)	在宅のねたきり、認知症及び虚弱等の要介護等認定者に対して、1)自立生活の助長、2)心身機能の維持向上、3)社会的孤立感の解消、4)家族の介護負担の軽減を図るために通所して頂き、入浴・食事・送迎サービス、趣味・レク活動、健康チェック、養護、日常生活の相談・助言を行うことで要介護等状態の悪化予防に努めた。	30名	13	開催日数 309日(308) 実利用者数 90名(99) 延利用者数 5,654名(5,563) 新規利用者 16名(23) 週6日開館、1日平均18.3名(18.1) 稼働率 61.0%(60.2%)	▲5,118,628 (▲5,364,269)
共同生活介護事業 認知症対応型	認知症により自宅で生活が困難な方に対して、グループホームにおいて「自立と尊厳を支え」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう「利用者中心」の生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	18名	21	新規入居者 男0名(1)、女3名(2) 計3名(3) 退居者 男1名(1)、女2名(1) 計3名(2) ベッド稼働率 99.0%(98.2%) 入居待機者 10名(7)	4,396,009 (▲1,682,145)

事業名 (課)	事業(係)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	事業活動 収支差額
小規模多機能型居宅介護事業 (なごみの家)	在宅の認知症及び虚弱のおとしよりができる限り住み慣れたわが家で暮らしが続けられるように、可能な限り自宅やそれに替わる場所において「普通の暮らし」が営めるような環境と継続的・総合的なケアを提供するため、日々の「通い」を中心に、本人の心身状態と家族の状況に応じて、「訪問」や一時的な「泊まり」を組み合わせて、継続的・総合的なケアの提供に努めた。	(通い) 12名 (泊まり) 5名 12月 から 6名 (訪問) 1名	10	開催日数 365日(365) 平均登録者数 16名(16.9) 実利用者数 26名(23) 延利用者数 2,765名(2,963) 新規利用者 9名(7) 停止者 10名(6) 1日平均 7.6名(8.1) 稼働率 63.2%(67.6%) ----- 実利用者数 9名(11) 延利用者数 1,027名(902) 1日平均 2.8名(2.5) 稼働率 52.1%(49.4%) ----- 実利用者数 8名(8) 延利用者数 545名(1,078) 1日平均 1.5名(2.9)	▲10,146,094 (▲6,231,120)
訪問介護事業	在宅で虚弱、ねたきり、認知症のおとしより等の要介護等認定者および難病患者の家庭等に対して、自立とより質の高い在宅生活の継続が図られるよう、生活援助、身体介護、相談・助言を主とする生活支援サービスの提供に努めた。	—	6	派遣世帯数 52(54) 訪問延回数 4,386回(4,066) 活動延時間 3,268時間(4,125) 内、生きがいヘルプ 109(145) 内、難病患者ヘルプ 0(126) 新規利用者 14名(11)	▲1,265,034 (▲2,599,006) 生きがいヘルプ委託費 319,370 (424,850) 難病患者ヘルプ委託費 0 (296,100)
居宅介護支援事業	在宅でねたきり、認知症及び虚弱のおとしよりが「住み慣れた自宅で最後まで暮らし続けることができるよう」、本人及び家族のニーズに即したケアプランを作成するとともに、ケアプランに基づく各種サービスや社会資源が確保・活用されるよう事業者・関係機関との連絡調整に努めた。	—	3	月平均利用者数 介護 95.8名(90.3) 予防 21.5名(21.5) 計 117.3名(111.8) 新規利用者 37名(41) 停止者 28名(37) 入院者延べ人数 95名(124)	2,660,980 (▲3,811,974)
介護老人福祉施設事業 ユニット型地域密着型	鷹栖町在住の要介護と認定された、ねたきり、認知症等により在宅での生活が困難な方に対して、施設において「自立」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	20名	22	新規入居者 男0名(0)、女4名(3) 計4名(3) 退居者 男1名(0)、女4名(3) 計5名(3) ベッド稼働率 96.7%(97.3%) 入居待機者 22名(18)	6,714,395 (10,689,331)

事業名 (課)	事業(係)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	事業活動 収支差額
小規模多機能型居宅介護事業 (ぬくもりの家えん)	在宅の認知症及び虚弱のおとしよりができる限り住み慣れたわが家で暮らしが続けられるように、可能な限り自宅やそれに替わる場所において「普通の暮らし」が営めるような環境と継続的・総合的なケアを提供するため、日々の「通い」を中心に、本人の心身状態と家族の状況に応じて、「訪問」や一時的な「泊まり」を組み合わせ、継続的・総合的なケアの提供に努めた。	(通い) 12名	10	開催日数 365日(365) 平均登録者数 18名(17.2) 実利用者数 21名(19) 延利用者数 3,154名(2,478) 新規利用者 5名(5) 停止者 6名(9) 1日平均 8.6名(6.8) 稼働率 72.1%(56.5%)	▲10,685,357 (▲4,791,238)
		(泊まり) 4名 10月 から 5名		実利用者数 11名(10) 延利用者数 1,294名(856) 1日平均 3.6名(2.3) 稼働率 78.5%(58.5%)	
		(訪問) 一名		実利用者数 4名(2) 延利用者数 94名(35) 1日平均 0.2名(0.1)	
移送サービス事業	心身の障がい・病気により、ねたきりや、車いす上で生活されている方が、通院等の理由により外出しなければならなく、一般の車両への乗降が難しい時に、さつき苑に配置されている寝台、若しくは車いすのまま乗り込むことができる専用車両で、自宅から目的地までの送迎を行い、利用者の外出支援に努めた。	—	—	実利用者数 5件(5) 延利用件数 35件(25) (内訳…町内 0件、町外 35件)	175,000 (156,200) 委託費収入のみ
(生きがいデイサービス) 介護予防事業	在宅の介護認定非該当の虚弱なおとしよりに対して、1)自立生活の助長、2)心身機能の維持向上、3)社会的孤立感の解消を図るため、デイセンター(はびねす)に通所して頂き、入浴・食事・送迎サービス、趣味・レク活動、健康チェック、養護等のサービスを提供し、要介護状態にならないように努めた。	—	—	実利用者数 2名(-) 延利用者数 6名(-) 新規利用者 2名(-)	36,000 (0) 委託費収入のみ

※1 職員数に施設長・副施設長は含めず

※2 実績及び事業活動収支差額欄の()内は前年度実績

業績の状況

(1) 介護保険収入の目標対比

(単位:円)

事業名	目標 (A)	実績 (B)	差異 (B) - (A)	達成率 (B) / (A)
法人本部	16,267,000	16,535,046	268,046	101.6%
小計	16,267,000	16,535,046	268,046	101.6%
介護老人福祉施設事業	205,977,000	206,310,127	333,127	100.2%
短期入所生活介護事業	24,189,000	24,101,062	▲ 87,938	99.6%
小計	230,166,000	230,411,189	245,189	100.1%
訪問介護事業	13,893,000	14,186,241	293,241	102.1%
通所介護事業(はびねす)	46,856,000	47,047,186	191,186	100.4%
居宅介護支援事業	17,594,000	17,571,680	▲ 22,320	99.9%
小計	78,343,000	78,805,107	462,107	100.6%
認知症対応型共同生活介護事業	78,400,000	77,911,670	▲ 488,330	99.4%
小規模多機能型事業(なごみの家)	27,844,000	28,004,654	160,654	100.6%
小計	106,244,000	105,916,324	▲ 327,676	99.7%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	85,161,000	84,707,425	▲ 453,575	99.5%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	32,904,000	27,830,848	▲ 5,073,152	84.6%
小計	118,065,000	112,538,273	▲ 5,526,727	95.3%
合計	549,085,000	544,205,939	▲ 4,879,061	99.1%

※ 法人本部は経常収入計

(2) 介護保険収入の前年度対比

(単位:円)

事業名	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	差異 (A) - (B)	伸長率 (A) / (B)
法人本部	16,535,046	19,698,665	▲ 3,163,619	83.9%
小計	16,535,046	19,698,665	▲ 3,163,619	83.9%
介護老人福祉施設事業	206,310,127	202,902,701	3,407,426	101.7%
短期入所生活介護事業	24,101,062	19,705,795	4,395,267	122.3%
小計	230,411,189	222,608,496	7,802,693	103.5%
訪問介護事業	14,186,241	14,052,850	133,391	100.9%
通所介護事業(はびねす)	47,047,186	46,288,189	758,997	101.6%
居宅介護支援事業	17,571,680	10,699,340	6,872,340	164.2%
小計	78,805,107	71,040,379	7,764,728	110.9%
認知症対応型共同生活介護事業	77,911,670	77,396,025	515,645	100.7%
小規模多機能型事業(なごみの家)	28,004,654	29,334,106	▲ 1,329,452	95.5%
小計	105,916,324	106,730,131	▲ 813,807	99.2%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	84,707,425	86,674,275	▲ 1,966,850	97.7%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	27,830,848	33,613,703	▲ 5,782,855	82.8%
小計	112,538,273	120,287,978	▲ 7,749,705	93.6%
合計	544,205,939	540,365,649	3,840,290	100.7%

※ 法人本部は経常収入計

(3) 収支差額の目標対比

(単位:円)

事業名	目標 (A)	実績 (B)	差異 (B) - (A)	達成率 (B) / (A)
法人本部	125,000	125,000	0	100.00%
小計	125,000	125,000	0	100.00%
介護老人福祉施設事業	14,307,000	14,919,768	612,768	104.28%
短期入所生活介護事業	1,150,000	941,015	▲ 208,985	81.83%
小計	15,457,000	15,860,783	403,783	102.61%
訪問介護事業	▲ 1,940,000	▲ 1,566,021	373,979	80.72%
通所介護事業(はびねす)	▲ 5,582,000	▲ 5,409,138	172,862	96.90%
居宅介護支援事業	2,172,000	2,250,411	78,411	103.61%
小計	▲ 5,350,000	▲ 4,724,748	625,252	88.31%
認知症対応型共同生活介護事業	5,172,000	6,049,335	877,335	116.96%
小規模多機能型事業(なごみの家)	▲ 6,572,000	▲ 6,677,461	▲ 105,461	101.60%
小計	▲ 1,400,000	▲ 628,126	771,874	44.87%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	5,049,000	3,762,957	▲ 1,286,043	74.53%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	▲ 1,105,000	▲ 6,234,087	▲ 5,129,087	564.17%
小計	3,944,000	▲ 2,471,130	▲ 6,415,130	-62.66%
合計	12,776,000	8,161,779	▲ 4,614,221	63.88%

※ 収支差額は積立預金への積立前の額

(4) 収支差額の前年度対比

(単位:円)

事業名	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	差異 (A) - (B)	伸長率 (A) / (B)
法人本部	125,000	295,460	▲ 170,460	42.3%
小計	125,000	295,460	▲ 170,460	42.3%
介護老人福祉施設事業	14,919,768	15,385,973	▲ 466,205	97.0%
短期入所生活介護事業	941,015	▲ 2,402,817	3,343,832	-39.2%
小計	15,860,783	12,983,156	2,877,627	122.2%
訪問介護事業	▲ 1,566,021	▲ 2,481,155	915,134	63.1%
通所介護事業(はびねす)	▲ 5,409,138	▲ 4,746,878	▲ 662,260	114.0%
居宅介護支援事業	2,250,411	▲ 3,984,010	6,234,421	-56.5%
小計	▲ 4,724,748	▲ 11,212,043	6,487,295	42.1%
認知症対応型共同生活介護事業	6,049,335	3,071,475	2,977,860	197.0%
小規模多機能型事業(なごみの家)	▲ 6,677,461	▲ 2,040,779	▲ 4,636,682	327.2%
小計	▲ 628,126	1,030,696	▲ 1,658,822	-60.9%
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	3,762,957	7,744,033	▲ 3,981,076	48.6%
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	▲ 6,234,087	▲ 93,468	▲ 6,140,619	6669.8%
小計	▲ 2,471,130	7,650,565	▲ 10,121,695	-32.3%
合計	8,161,779	10,747,834	▲ 2,586,055	75.9%

※ 収支差額は積立預金への積立前の額

平成 25 年度 経過 報告

平成 25 年 4 月 1 日～4 月 30 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
4 月 1 日(月)	入社式、辞令交付式、永年勤続表彰式、新任職員研修(～4 日)、小規模多機能えん会議
4 月 2 日(火)	ケアマネ会議
4 月 3 日(水)	経営改善会議、えん全体会議、特養えん会議
4 月 4 日(木)	ヘルパー研修
4 月 5 日(金)	新任職員研修(研修報告会)、広報委員会
4 月 6 日(土)	互助会主催新任職員歓迎会
4 月 7 日(日)	北の峯ハイツ内覧会参加(富良野市、施設長、副施設長)、さつき苑浴室カビ取り(ベリージャパン)、さつき苑理容日
4 月 8 日(月)	本部総務会議
4 月 9 日(火)	さつき苑リーダー会議、ケアマネ会議
4 月 10 日(水)	デンマーク介護福祉従業者養成校校長・教員施設見学受入(旭川大学教授同行、えん)、生活会議、なごみリーダー会議
4 月 11 日(木)	上土幌すずらん荘視察見学受入(えん、澤口氏参加)、さつき苑理容日、デイボランティア(母さんの本棚)、えん給食運営会議
4 月 12 日(金)	道北老施協監事監査(旭川市、施設長)、デイ・なごみ・えん給食運営会議
4 月 13 日(土)	
4 月 14 日(日)	特養えん手作りおやつ(どら焼き)
4 月 15 日(月)	さつき苑ナース会議、さつき苑ボランティア(セラピードッグあさひかわ)、デイ手作りおやつ(～17 日、ピザパン)
4 月 16 日(火)	たんぼぼユニット会議、さつき苑給食運営会議、ケアマネ会議、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議
4 月 17 日(水)	経営改善会議、道老施協正副会議・委員長会議(札幌市、施設長)、道喀痰吸引研修検討委員会(札幌市、施設長)、ヘルパー会議、けあらいふ神楽館内覧会参加(旭川市、副施設長、大庭、細野、河田)
4 月 18 日(木)	総合職昇格試験、居宅会議、小規模多機能なごみ手作りおやつ(鬼まんじゅう)
4 月 19 日(金)	旭川大学短大部講師(渡邊春)、主任ケアマネジャー交流会(細野)、危安協鷹栖支部定期総会・懇親会(鷹栖町、大庭)、なでしこユニット会議、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会、デイ・ランチバイキング
4 月 21 日(日)	第 1 回ヘルパー茶話会
4 月 22 日(月)	道老施協研修委員会(札幌市、施設長)、老人福祉施設研究発表会第 1 回実行委員会(札幌市、施設長)
4 月 23 日(火)	総合職昇格試験合否発表、さつき苑消防設備点検(五光トータル防災)、リーダー勉強会(リーダー以上、ケアマネジャー)、ケアマネ会議、えんリーダー会議
4 月 24 日(水)	経営改善会議、助成金制度活用術セミナー(札幌市、副施設長、大庭)、すずらんユニット会議、さつき苑理容日、デイ柏の里音楽レクリエーション
4 月 25 日(木)	デイ手作りおやつ(～27 日、かしわ餅風蒸し菓子)
4 月 26 日(金)	小規模多機能えん手作りおやつ(いちご大福)
4 月 28 日(日)	グループホームなごみ手作りおやつ(メープルカップケーキ)
4 月 30 日(火)	柴滝設計株式会社創立 50 周年記念レセプション参加(旭川市、施設長)、ケアマネ会議

平成 25 年度 経過 報告

平成 25 年 5 月 1 日～5 月 31 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
5 月 1 日(水)	経営改善会議、鷹栖社協地域福祉部会(鷹栖町、施設長)、なごみの家開設記念日、ぬくもりの家えん開設記念日、えん全体会議、特養えん会議、小規模多機能えん会議
5 月 2 日(木)	なごみリーダー会議
5 月 5 日(日)	さつき苑理容日
5 月 7 日(火)	さつき苑リーダー会議、ケアマネ会議、えん窓拭き(ぬくもり友の会、えん家族会)
5 月 8 日(水)	経営改善会議、本部総務会議、さつき苑給食運営会議、ヘルパー研修、デイ手作りおやつ(～9日、鯉のぼりロール)、えん給食運営会議、冬囲いはずし(高齢者事業団)
5 月 9 日(木)	サーバー入替作業、道北老施協定期総会(旭川市、副施設長)、えんリーダー勉強会(講師:泉田氏)、全事業所指導職・総合職勉強会(講師:泉田氏)、さつき苑友愛活動(町内老人会)、さつき苑理容日
5 月 10 日(金)	広報委員会、デイ・なごみ・えん給食運営会議、なごみリーダー勉強会(講師:泉田氏)、デイセンター運営改善コンサル(コンサル:泉田氏)、大分県鈴鳴荘視察研修受入(さつき苑)、デイボランティア(母さんの本棚)
5 月 11 日(土)	さつき苑・えん・大分県鈴鳴荘合同リーダー勉強会(講師:泉田氏)
5 月 12 日(日)	お花見(グループホームなごみ)、特養えん手作りおやつ(うぐいす餅)
5 月 13 日(月)	さつき苑ボランティア(セラピードッグあさひかわ)、デイ手作りおやつ(～14日、東京カステラ)
5 月 14 日(火)	職員全体会議①、職員互助会総会①
5 月 15 日(水)	経営改善会議、第 1 回えん運営推進会議
5 月 16 日(木)	北海道知事来所(えん)、さつき苑友愛活動(町内老人会)、たんぽぽユニット会議
5 月 17 日(金)	職員全体会議②、職員互助会総会②、千歳市ケアマネ連絡協議会勉強会事例発表(千歳市、佐々木恵、河田)、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会、小規模多機能なごみ手作りおやつ(鯉のぼりロール)
5 月 18 日(土)	さつき苑入浴会議、お花見(えん)
5 月 19 日(日)	さつき苑一斉清掃
5 月 20 日(月)	職員定期健康診断(～22日)、お花見(～24日、えん)
5 月 21 日(火)	第 1 回監事監査、なでしこユニット会議、お花見(～22日、デイ)、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議
5 月 22 日(水)	経営改善会議、さつき苑理容日、ヘルパー会議、居宅会議
5 月 23 日(木)	さつき苑友愛活動(町内老人会)、北野小学校 4 年生交流会(さつき苑、デイ)、利用者様 100 歳祝(デイ)、デイ買い物ツアー、ケアマネ会議、高齢者住宅認知症講座開催①(ケアマネ)
5 月 24 日(金)	お花見(さつき苑)、すずらんユニット会議、高齢者住宅認知症講座開催②(ケアマネ)、摂食・嚥下障害の評価と訓練の実際(旭川市、細野、河田)なごみの家応援の会、小規模多機能えん手作りおやつ(かしわ餅)
5 月 25 日(土)	第 1 回理事会、第 1 回評議員会、デイ・ランチバイキング、パーキンソン病市民公開教室(旭川市、細野)
5 月 26 日(日)	グループホームなごみ手作りおやつ(かぼちゃ入カステラ)
5 月 27 日(月)	一般救急講習①(なごみ、ヘルパー)、デイボランティア(老人会カラオケクラブ)
5 月 28 日(火)	リーダー以上勉強会(全事業所)、上川保健所による医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入検査(さつき苑医務室)、ケアマネ会議、えんリーダー会議
5 月 29 日(水)	経営改善会議、さつき苑花壇おこしボランティア(大成老人会)、生涯元気チャレンジデー参加(さつき苑、デイ、なごみ、えん)
5 月 30 日(木)	名寄大学演習講師(名寄市、尾上)、ライオンズクラブ例会(鷹栖町、施設長)、鷹栖町水道料金審議会(鷹栖町、副施設長)、さつき苑友愛活動(大成老人会)
5 月 31 日(金)	一般救急講習②(なごみ、ヘルパー)

平成 25 年度 経過 報告

平成 25 年 6 月 1 日～6 月 30 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
6 月 1 日(土)	道作業療法士会「認知症高齢者を地域で支えること」研修会(旭川市、施設長、副施設長、谷本、細野、佐々木恵、河田、綱島、林崎、能登)
6 月 2 日(日)	なごみ一斉清掃、さつき苑理容日
6 月 3 日(月)	辞令交付、東北大震災義援金社内募集(～7/31)、小規模多機能えん会議
6 月 4 日(火)	さつき苑リーダー会議、デイ手作りおやつ(～5 日、きなこねじり)、ぬくもり家族会役員会(てくてく)
6 月 5 日(水)	経営改善会議、鷹栖町お互い様づくり行動計画検討会(鷹栖町、施設長、尾上)、広報配布日、本部総務会議、ケアマネ会議、特養えん会議、えん全体会議
6 月 6 日(木)	さつき苑友愛活動(大成老人会)、さつき苑ナース会議、なごみリーダー会議、ぬくもり家族会総会(てくてく)
6 月 7 日(金)	鷹栖社協地域福祉部会(鷹栖町、施設長)、さつき苑花壇花植えボランティア(大成老人会)、デイ・なごみ・えん給食運営会議、さつき祭実行委員会①、なごみ給食運営会議、えん花壇整備(ぬくもり友の会、家族会)
6 月 8 日(土)	認知症高齢者ケア環境を支える技術(札幌市、細野)、えんボランティア(鷹栖手話サークル)
6 月 9 日(日)	特養えん手作りおやつ(芋けんぴ)
6 月 10 日(月)	さつき苑入居者健康診断(～14 日、浅井医院)、さつき苑ボランティア(セラピードッグあさひかわ)、デイ外食ツアー(～12 日、とわ北斗)、グループホームなごみ買い物ツアー
6 月 11 日(火)	経営改善会議、たんぼぼユニット外出ツアー(ファイブスター)、ケアマネ会議
6 月 12 日(水)	生活会議、救急救命研修①(さつき苑)、さつき苑給食運営会議、なごみ避難訓練
6 月 13 日(木)	DocuWorks スクール(札幌市、大庭)、居宅介護支援事業者のリスクマネジメント(旭川市、河田)、道北地区老協介護職員研修会(稚内市～14 日、米澤、橋田)、さつき苑友愛活動(大成老人会)、さつき苑理容日、えん給食運営会議
6 月 14 日(金)	嚥下食実践セミナー(旭川市、鈴木さ、巳上、千葉、相原)、なごみ臨時会議、なごみ研修会
6 月 15 日(土)	小規模多機能なごみ手作りおやつ(じゃが芋のパンケーキ)
6 月 17 日(月)	総務花植え、本別町地域包括ケア基盤整備庁内検討委員会研修会講師(本別町、施設長)、デイ・ランチバイキング
6 月 18 日(火)	介護支援専門員更新研修前期(旭川市～20 日、副施設長)、さつき苑入居者様 102 歳祝(町長来苑)、たんぼぼユニット会議、デイ・買い物支援(100 円ショップ)、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議
6 月 19 日(水)	経営改善会議、救急救命研修②(さつき苑、デイ)、居宅会議、特養えん買い物ツアー
6 月 20 日(木)	道老協第 2 回正副会長会議・第 1 回幹事会(札幌市、施設長)、社会保険料算定基礎届事務講習会(旭川市、佐藤健)、さつき苑友愛活動(21 区老人会)、さつき苑栄養士による手作りおやつ(水まんじゅう)、デイ・見学ツアー(男山酒造)
6 月 21 日(金)	道老協介護力向上研修会(札幌市、施設長(主催者側))、さつき苑理容日、なでしこユニット会議、デイ手作りおやつ(～22 日、蒸しパン)、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会、特養えん買い物ツアー
6 月 22 日(土)	さつき苑外窓拭きボランティア(鷹栖町赤十字奉仕団)
6 月 23 日(日)	第 2 回ヘルパー茶話会、グループホームなごみ手作りおやつ(紅茶プリン)
6 月 24 日(月)	旭川大学短大部専攻科施設見学受入(さつき苑、えん)、鷹栖町お互い様づくり行動計画検討会(鷹栖町、尾上)、「福祉での町づくり」講演会(鷹栖町、施設長、副施設長、尾上、細野、佐々木、河田)、デイボランティア(老人会カラオケクラブ)
6 月 25 日(火)	介護保険事業計画策定審議会(鷹栖町、副施設長)、危険物保安講習会(旭川市、大庭)、鷹栖養護学校交流会(さつき苑)、すずらんユニット会議、ケアマネ会議、えんリーダー会議
6 月 26 日(水)	管理職員研修(札幌市～27 日、綱島)、さつき苑入浴会議、ヘルパー会議、デイ柏の里音楽レクリエーション、小規模多機能えん手作りおやつ(ミルクレープ)
6 月 27 日(木)	第 1 回地域ケア研究会開催(はびねす)、さつき苑友愛活動(21 区老人会)
6 月 28 日(金)	静岡県下田市社福梓友会施設見学受入(さつき苑、えん)、さつき祭実行委員会②

平成 25 年度 経過 報告

平成 25 年 7 月 1 日～7 月 31 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
7 月 1 日(月)	旭川大学短大部専攻科介護実習 I 受入(～6 日)、小規模多機能えん会議
7 月 2 日(火)	さつき苑リーダー会議、ケアマネ会議
7 月 3 日(水)	経営改善会議、特養えん会議、えん全体会議
7 月 4 日(木)	全道老人福祉施設研究大会(札幌市～5 日、施設長(主催者側)、副施設長、大庭)、さつき苑友愛活動(藤野老人会)、なごみリーダー会議
7 月 5 日(金)	広報委員会、大正琴演奏会(えん)
7 月 6 日(土)	在宅の褥瘡予防(旭川市、河田)
7 月 7 日(日)	さつき苑理容日
7 月 8 日(月)	全道ホームヘルプサービス研究大会(札幌市～9 日、上野)、本部総務会議、さつき苑入居者総合健診(～12 日、浅井医院)、さつき苑ボランティア(セラピードッグあさひかわ)、ケアマネ会議、鷹栖小スクールバンド来訪(なごみ)
7 月 9 日(火)	デイ・ランチバイキング、権利擁護事業について(鷹栖町、細野)
7 月 10 日(水)	経営改善会議、鷹栖町水道料金審議会(鷹栖町、副施設長)、さつき苑給食運営会議
7 月 11 日(木)	かみかわユニットケア・サテライトケア研究会幹事会(上川町、施設長)、新任介護職員研修(旭川～12 日、角谷、戸澤、福田、鶴谷、松本、山内美)、さつき苑友愛活動(藤野老人会)、さつき苑理容日、デイ手作りおやつ(～12 日、プリンアラモード)、えん給食運営会議
7 月 12 日(金)	鷹栖社協役員会(鷹栖町、施設長)、デイ・なごみ・えん給食運営会議、さつき祭実行委員会③、ヘルパー研修、第 2 回えん運営推進会議
7 月 13 日(土)	デイボランティア(母さんの本棚)
7 月 14 日(日)	さつき苑さつき祭
7 月 15 日(月)	デイ手作りおやつ(～16 日、宇治金時かき氷)
7 月 16 日(火)	居宅会議、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議
7 月 17 日(水)	経営改善会議、地域ケア会議(鷹栖町、細野、佐々木恵、河田)
7 月 18 日(木)	岡山県特養元気の家山中施設長見学受入(さつき苑・えん)、道デイ協研究協議会・総会(札幌市～19 日、施設長(主催者側)、綱島、丹)、新任栄養士研修(札幌市～19 日、鈴木さ)、さつき苑友愛活動(共栄老人会)、さつき苑理容日、さつき苑ナース会議
7 月 19 日(金)	大分県国東市長・市職員・地域住民・安芸の郷職員視察受入・交流会(えん、鷹栖町長・町職員・泉田氏参加)、鷹栖社協主催友愛ボランティア老人会対象研修会(講師:尾上)、たんぽぽユニット会議、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会
7 月 20 日(土)	大分県国東市長・市職員・地域住民・安芸の郷職員見学受入(てくてく朝市)、生活介護研究所坂本所長他 4 名様視察受入(えん)、リーダー以上勉強会(講師:泉田氏)、デイボランティア(アロマトリートメント)
7 月 21 日(日)	小規模多機能なごみ手作りおやつ(豆腐白玉)、特養えん手作りおやつ(わらび餅)
7 月 22 日(月)	道庁医療参事・上川総合振興局視察受入(えん)
7 月 23 日(火)	なでしこユニット会議、ケアマネ会議
7 月 24 日(水)	経営改善会議、函館・個人 4 名様施設見学受入(さつき苑)、さつき苑入居者様 100 歳祝(町長来苑)、ヘルパー会議、特養えん入居者様 100 歳祝(町長来苑)
7 月 25 日(木)	さつき苑友愛活動(共栄老人会)
7 月 26 日(金)	道共済業務説明会(旭川市、佐藤健)、すずらんユニット会議、なごみの家応援の会、小規模多機能えん手作りおやつ(牛乳寒天)
7 月 28 日(日)	グループホーム流しそうめん
7 月 29 日(月)	デイボランティア(老人会カラオケクラブ)、えんリーダー会議
7 月 30 日(火)	第 33 回老人福祉施設研究発表会(札幌市～31 日、施設長(主催者側)、大庭、山内政、谷口、谷岡、能登、成田)、すずらんユニット外食ツアー、ケアマネ会議

平成 25 年度 経過 報告

平成 25 年 8 月 1 日～8 月 31 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
8 月 1 日(木)	さつき苑友愛活動(長寿老人会)
8 月 2 日(金)	小規模多機能えん会議
8 月 4 日(日)	さつき苑理容日、北野神社祭獅子舞鑑賞(えん)
8 月 5 日(月)	さつき苑入居者総合健診(～9 日、浅井医院)、さつき苑ナース会議、ヘルパー研修、デイボランティア(母さんの本棚)、広報配布日
8 月 6 日(火)	経営職ミーティング、熊本県社会福祉法人伸生紀 麻生理事長・職員視察受入(えん)、デイ外出支援(とわ北斗)、ケアマネ会議
8 月 7 日(水)	経営改善会議、本部総務会議、デイ・ランチバイキング、特養えん会議、えん全体会議
8 月 8 日(木)	戦没者慰霊祭参加(施設長、尾上、さつき苑、なごみ)、さつき苑理容日、なごみリーダー会議、えん給食運営会議
8 月 9 日(金)	広報委員会、第 1 回ケアケア交流講座、特養えん夕涼み会
8 月 10 日(土)	さつき苑理容日、ご家族様との夕食会(なごみ、焼き肉)
8 月 11 日(日)	神輿渡御の駐輿所(さつき苑、なごみ)、熱夏フェスタ花火見学(なごみ)、特養えん手作りおやつ(豆腐白玉ぜんざい)、認知症ケア学会全道大会(札幌市、細野、佐々木恵)
8 月 12 日(月)	経営職ミーティング、生活会議、さつき苑ボランティア(セラピードッグあさひかわ)
8 月 13 日(火)	ケアマネ会議
8 月 14 日(水)	経営改善会議、さつき苑給食運営会議
8 月 17 日(土)	デイボランティア(アロマトリートメント)
8 月 19 日(月)	岡山県社会福祉法人四ツ葉会元気の家職員研修受入(～23 日、さつき苑)、厚別栄和荘デイサービスセンター視察(札幌市、施設長、綱島)、稼働率アップ特別セミナー(札幌市、施設長、綱島)、鷹栖保育園よっちゃん披露(デイ)、グループホーム入居者健診(～23 日、浅井医院)、小規模多機能なごみ手作りおやつ(フルーツくずきり)
8 月 20 日(火)	たんぼぼユニット会議、居宅会議、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議、小規模多機能なごみ運営改善会議
8 月 21 日(水)	経営改善会議、足寄町社協視察受入(えん)、介護支援専門員専門研修Ⅱ(旭川市～23 日、河田)、進化する認知症医療(旭川市、河田)、鷹栖町お互い様づくり行動計画検討会(鷹栖町、施設長、尾上)、デイ手作りおやつ(～22 日、フルーツポンチ)、地域ケア会議(鷹栖町、細野、佐々木恵、林崎、能登)、ヘルパー会議
8 月 22 日(木)	さつき苑友愛活動(親睦老人会)、さつき苑焼き肉パーティー
8 月 23 日(金)	すずらんユニット会議、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会、小規模多機能なごみ運営改善会議、小規模多機能えん手作りおやつ(フルーツパフェアイス)
8 月 24 日(土)	デイ買い物支援(しまむら)
8 月 25 日(日)	第 3 回ヘルパー茶話会
8 月 26 日(月)	経営職ミーティング
8 月 27 日(火)	介護支援専門員更新研修後期(旭川市～29 日、副施設長)、なでしこユニット会議、デイボランティア(母さんの本棚)、ケアマネ会議、えんリーダー会議
8 月 28 日(水)	経営改善会議、デイ柏の里音楽レクリエーション
8 月 29 日(木)	三好春樹の認知症ケア・集中講義(札幌市、松枝)、さつき苑友愛活動(喜楽老人会)、すずらんユニット流しそうめん
8 月 30 日(金)	全国高齢者ケア研究会 in 茨城(茨城県～9/2、施設長、尾上、細野、佐々木恵、谷水)

平成 25 年度 経過 報告

平成 25 年 9 月 1 日～9 月 30 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
9 月 1 日(日)	さつき苑理容日、デイ夏祭り(神楽岡太鼓保存会、華酔組来所)
9 月 2 日(月)	旭川大学短大部専攻科介護実習受入(～10/5)、小規模多機能えん会議
9 月 3 日(火)	経営職ミーティング、認知症介護リーダー研修講師(札幌市、施設長)、さつき苑リーダー会議
9 月 4 日(水)	経営改善会議、えん全体会議、特養えん会議
9 月 5 日(木)	認知症介護リーダー研修講師(札幌市、施設長)、管理職員研修(札幌市～6 日、網島)、さつき苑友愛活動(喜楽老人会)、さつき苑ナース会議、ケアマネ会議、なごみリーダー会議
9 月 6 日(金)	広報委員会、さつき苑新秋祭打ち合わせ②
9 月 8 日(日)	特養えん手作りおやつ(スイートポテト)
9 月 9 日(月)	北海道小規模多機能計画作成担当者研修講師(札幌市、施設長)、本部総務会議、さつき苑理容日
9 月 10 日(火)	なごみ基礎介護研修(食事ケア)①、居宅会議
9 月 11 日(水)	経営改善会議、経営職ミーティング、全事業所パソコン入替、在宅基礎介護研修、さつき苑給食運営会議、デイボランティア(母さんの本棚)、ヘルパー研修
9 月 12 日(木)	第 1 回役員協議会、看護師研修(札幌市～13 日、藤川)、光回線工事(さつき苑、デイ、ヘルパー、居宅)、さつき苑友愛活動(喜楽老人会)、さつき苑理容日、えん収穫祭、えん給食運営会議
9 月 13 日(金)	鷹栖町お互い様づくり行動計画検討会(鷹栖町、施設長、尾上)、デイ・なごみ・えん給食運営会議、さつき苑新秋祭打ち合わせ③、デイ手作りおやつ(～14 日、芋団子・かぼちゃ団子)、第 3 回えん運営推進会議、第 20 回療養生活サポートセミナー(旭川、細野)
9 月 16 日(月)	さつき苑新秋祭
9 月 17 日(火)	小規模運営改善コンサル(えん、講師:泉田氏)、課長以上勉強会(講師:泉田氏)、厚別栄和荘デイサービスセンター視察(札幌市、網島、丹、中山)、デイ手作りおやつ(～18 日、おはぎ)、ケアマネ会議、光回線工事(なごみ)、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議、小規模なごみ手作りおやつ(たこ焼き)
9 月 18 日(水)	小規模運営改善コンサル(なごみ、講師:泉田氏)、なでしこユニット会議、ヘルパー会議、えん買い物ツアー、光回線工事(えん)
9 月 19 日(木)	小規模運営改善コンサル(デイ、講師:泉田氏)、さつき苑友愛活動(喜楽老人会)
9 月 20 日(金)	デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会
9 月 21 日(土)	デイボランティア(アロマトリートメント)
9 月 22 日(日)	グループホームなごみ手作りおやつ(豆腐団子)
9 月 24 日(火)	インフルエンザ・ノロウイルス予防全体研修①、介護支援専門員更新研修(旭川市、谷口)、ケアマネ会議、えんリーダー会議
9 月 25 日(水)	経営改善会議、経営職ミーティング、中堅職員研修「メンタルヘルス研修会」(札幌市～26 日、大庭)、なごみ基礎介護研修(食事ケア)②、たんぽぽユニット会議、地域ケア会議(鷹栖町、細野、佐々木恵、河田)
9 月 26 日(木)	鷹栖町お互い様づくり行動計画検討会(鷹栖町、施設長、尾上)、道北老協栄養士・調理員研修会(下川町、鈴木さ、巳上)、インフルエンザ・ノロウイルス予防全体研修②、さつき苑友愛活動(親交老人会)
9 月 27 日(金)	なでしこユニット外食ツアー、なごみの家応援の会、小規模多機能えん手作りおやつ(さつまいも蒸しパン)
9 月 28 日(土)	なごみ一斉清掃
9 月 29 日(日)	旭川東ライオンズクラブ 50 周年式典(施設長)、ヘルパー食事会、なごみ運動会
9 月 30 日(月)	すずらんユニット会議、デイボランティア(老人会カラオケクラブ)

平成 25 年度 経過 報告

平成 25 年 10 月 1 日～10 月 31 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
10 月 1 日(火)	ケアマネ会議、ぬくもり友の会お赤飯イベント
10 月 2 日(水)	経営改善会議、特養えん会議、えん全体会議
10 月 3 日(木)	社会福祉法人新会計基準研修「移行研修」(東京都～5 日、山内)、生活相談員・ケアマネジャー研修会(富良野、佐々木恵、河田)、さつき苑友愛活動(親交老人会)、さつき苑リーダー研修、なごみリーダー会議
10 月 4 日(金)	広報委員会、さつき苑給食運営会議
10 月 5 日(土)	介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修①(札幌市～6 日、林崎)
10 月 6 日(日)	さつき苑一斉清掃、さつき苑理容日
10 月 7 日(月)	本部総務会議、さつき苑ボランティア(セラピードッグあさひかわ)、さつき苑ナース会議、デイ手作りおやつ(～8 日、かぼちゃ饅頭)、小規模えん会議、広報配布日
10 月 8 日(火)	経営職ミーティング、北野小学校 4 年生高齢者疑似体験学習(さつき苑)、地域福祉実践計画策定委員会(鷹栖町、尾上)、ケアマネ会議、小規模多機能なごみ買い物ツアー(～9 日)
10 月 9 日(水)	経営改善会議、鷹栖町お互い様づくり行動計画検討会(鷹栖町、施設長、尾上)、さつき苑・えん食事ケア研修①、生活会議、さつき苑理容日、鷹栖中学校キャリアウィーク受入(～10 日、デイ、なごみ、えん)、なごみ運営改善会議
10 月 10 日(木)	網走管内老施協施設運営研修会講師(紋別市～11 日、施設長)、道北老施協事務職員研修会(美瑛町～11 日、大庭、高橋良)、(株)トワニ展示会(旭川市、鈴木さ、巳上)、さつき苑友愛活動(親交老人会)、さつき苑理容日、デイボランティア(母さんの本棚)、グループホームなごみ紅葉狩り、えん給食運営会議
10 月 11 日(金)	デイ・なごみ・えん給食運営会議、小規模多機能なごみ買い物ツアー
10 月 13 日(日)	特養えん手作りおやつ(さつま芋団子)
10 月 14 日(月)	なでしこユニット寿司パーティー
10 月 15 日(火)	北海道高齢者虐待防止推進研修会(札幌市、尾上、米澤)、居宅会議、なごみの家会議
10 月 16 日(水)	経営改善会議、さつき苑・えん食事ケア研修②、小規模多機能なごみ手作りおやつ(かぼちゃ餡どら焼き)
10 月 17 日(木)	内田洋行ソリューションフェア 2013in 東京講演(東京都～18 日、施設長)、デイ秋御膳ランチ、えん避難訓練
10 月 18 日(金)	岡山県特養元気の家視察(岡山県～19 日、施設長)、たんぼぼユニット会議、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会、小規模多機能えん紅葉ツアー
10 月 19 日(土)	介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修②(札幌市～20 日、林崎)、デイボランティア(アロマトリートメント)
10 月 20 日(日)	さつき苑花壇整備ボランティア(大成老人会)
10 月 21 日(月)	役場職員福祉施設体験実習受入(～23 日)、さつき苑避難訓練
10 月 22 日(火)	なでしこユニット会議、デイ秋の小運動会、ケアマネ会議
10 月 23 日(水)	大樹町特養コスモス苑施設見学受入(さつき苑、えん)、西野デイサービスセンター視察(札幌市、施設長、綱島)、旭川若年認知症研修会(旭川市、佐々木恵、河田)、ヘルパー会議、地域ケア会議(鷹栖町、細野)
10 月 24 日(木)	さつき苑友愛活動(睦老人会)、上川保健所による給食施設運営指導(さつき苑)、デイ手作りおやつ(たこ焼き)、ヘルパー研修
10 月 25 日(金)	すずらんユニット会議、小規模多機能えん手作りおやつ(かぼちゃムースタルト)
10 月 27 日(日)	北野小学校学芸会観覧(えん)、老人会皿回し(えん)、グループホームなごみ手作りおやつ(もちちりパンケーキ)
10 月 28 日(月)	経営職ミーティング、旭川福祉専門学校生介護実習受入(～11/30)、たんぼぼユニット芋煮会、デイボランティア(老人会カラオケクラブ)
10 月 29 日(火)	職員定期健康診断(～31 日)、さつき苑消防設備点検、ケアマネ会議、えんリーダー会議
10 月 30 日(水)	経営改善会議、田川(でんせん)様二胡コンサート(さつき苑・えん開催、なごみ観覧)
10 月 31 日(木)	名寄市立大学講義(名寄市、施設長)、さつき苑友愛活動(睦老人会)、すずらんユニット夜の夕食ツアー

平成 25 年度 経過 報告

平成 25 年 11 月 1 日～11 月 30 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
11 月 3 日(日)	さつき苑理容日
11 月 4 日(月)	旭川大学短大部専攻科実習受入(～30 日)、小規模多機能えん会議
11 月 5 日(火)	さつき苑リーダー会議
11 月 6 日(水)	経営改善会議、住民座談会(北野地区、施設長)、本部総務会議、特養えん会議、えん全体会議
11 月 7 日(木)	さつき苑友愛活動(睦老人会)、さつき苑ナース会議、ケアマネ会議、なごみリーダー会議
11 月 8 日(金)	広報委員会、デイ・なごみ・えん給食運営会議、デイ水炊きランチ、デイボランティア(母さんの本棚)、第 2 回ケアケア交流講座、第 4 回えん運営推進会議
11 月 9 日(土)	青年会との食事会(なごみ)
11 月 10 日(日)	住民座談会(鷹栖農村地区、施設長)、第 4 回ヘルパー茶話会、特養えん手作りおやつ(かぼちゃ団子)
11 月 11 日(月)	経営職ミーティング、なごみ基礎介護研修(排泄ケア)①、さつき苑ボランティア(セラピードッグあさひかわ)、さつき苑理容日
11 月 12 日(火)	2015 年を見据えた勝ち組介護事業者の経営戦略と労務管理のポイント(旭川市、副施設長)、旭川安全運転管理者講習会(旭川市、山内政)、北野小学校交流会(さつき苑、デイ)、ケアマネ会議
11 月 13 日(水)	ぬくもり友の会先進地域視察研修(当別町、ぬくもり友の会、施設長、谷本、細野、河田、森)、さつき苑給食運営会議、はびねす避難訓練、デイ手作りおやつ(～14 日、柚子味噌せんべい)
11 月 14 日(木)	さつき苑友愛活動(5 区福寿老人会)、さつき苑理容日、えん給食運営会議
11 月 15 日(金)	平成 25 年度第 2 回総合職昇格試験、なでしこユニット会議、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会、デイ外食ツアー
11 月 16 日(土)	介護予防特別セミナー(札幌市～17 日、施設長、綱島)、デイボランティア(アロマトリートメント)
11 月 17 日(日)	鷹栖商工会女性部訪問(さつき苑)
11 月 18 日(月)	居宅会議
11 月 19 日(火)	道北老協幹事会(旭川市、施設長)、道北老協協臨時総会(旭川市、施設長、副施設長)、道北老協施設長研修 I (旭川市、副施設長)、認知症介護指導者フォローアップ研修講師(仙台市～21 日、施設長)、さつき苑ワックスがけ(～21 日)、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議
11 月 20 日(水)	経営改善会議、栄養士専門研修(札幌市～21 日、鈴木さ、巳上)、主任介護支援専門員研修(札幌市～22 日、佐々木恵)、市民後見人養成研修施設研修受入、ヘルパー会議、地域ケア会議(鷹栖町、細野、河田)、ヘルパー会議、さつき苑排泄ケア研修、なごみ避難訓練(夜間想定)
11 月 21 日(木)	チームリーダーシップ力アップ講座(札幌市、大庭)、ライフサポートワーク 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会「全国大会」(札幌市～22 日、施設長)、さつき苑友愛活動(七福老人会)、たんぼぼユニット会議、小規模多機能なごみ手作りおやつ(バナナヨーグルトケーキ)
11 月 22 日(金)	デイ手作りおやつ(～23 日、どら焼き)
11 月 23 日(土)	介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修①(札幌市～24 日、谷)
11 月 24 日(日)	スキルアップ研修(旭川市、高橋早)、グループホーム手作りおやつ(高野豆腐クッキー)、小規模多機能えん手作りおやつ(いも団子)
11 月 25 日(月)	年末調整説明会(旭川市、佐藤健)、かみかわユニットケアサテライトケア研究会合同職員研修会(旭川市、尾上、菅原雄、谷岡、津野、成田、菅原景)(見学のみ:鈴木さ、巳上)、なごみ基礎介護研修(排泄ケア)②、さつき苑寝具交換ボランティア(ひまわり会)、デイボランティア(老人会カラオケクラブ)
11 月 26 日(火)	社会福祉施設管理・運営セミナー発表者(札幌市、施設長)、新会計基準移行実務の徹底解説セミナー(旭川市、佐藤健)、ケアマネ会議、えんリーダー会議
11 月 27 日(水)	管理職員研修(札幌市～28 日、綱島)、すずらんユニット会議、ヘルパー研修
11 月 28 日(木)	経営改善会議、危険物安全協会鷹栖支部懇談会(鷹栖町、大庭)、さつき苑友愛活動(七福老人会)
11 月 29 日(金)	鷹栖町民生委員協議会お別れ会(施設長)、本部総務 5S 推進会議、なごみの家応援の会、北海道厚生局実地指導(小規模多機能ホームえん)

平成 25 年度 経過 報告

平成 25 年 12 月 1 日～12 月 31 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
12 月 1 日(日)	デイ介護予防特別研修会、さつき苑理容日
12 月 2 日(月)	湧別町民と町職員先進地視察研修受入(えん)、経営職ミーティング、メナードメイクアップ会(えん)、小規模多機能ホームえん会議
12 月 3 日(火)	新規学卒者採用試験、なごみ基礎介護研修(認知症ケア)、さつき苑リーダー会議、ケアマネ会議
12 月 4 日(水)	経営改善会議、さつき苑新年会打ち合わせ①、特養えん会議、えん全体会議
12 月 5 日(木)	本部総務会議、さつき苑友愛活動(七福老人会)、さつき苑ナース会議、広報配布日
12 月 6 日(金)	互助会主催職員忘年会、道老協介護力向上講習会(札幌市、施設長)
12 月 7 日(土)	介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修②(札幌市～8 日、谷)、デイボランティア(母さんの本棚)、えん大掃除
12 月 8 日(日)	さつき苑年末大掃除(ボランティア:十五期会)、特養えん手作りおやつ(ピザトースト)
12 月 9 日(月)	広報委員会、道老協正副委員長会議(札幌市、施設長)、中途採用職員対象新任職員研修(～10 日)、さつき苑新年会打ち合わせ②、さつき苑入居者様長寿祝(町長来苑)、デイ買い物支援(しまむら)
12 月 10 日(火)	道デイ協認知症介護実践者研修(旭川市～13 日、松原、志知、坂原)(10 日のみ施設長)、ケアマネ会議
12 月 11 日(水)	経営改善会議、経営職ミーティング、生活会議、さつき苑トランスファー研修①、さつき苑給食運営会議、さつき苑理容日、ヘルパー研修、デイ外食ツアー(駒鯨)
12 月 12 日(木)	主任介護支援専門員研修(札幌市～14 日、佐々木恵)、さつき苑友愛活動(8 区老人会)、鷹栖小学校ボランティア委員会交流会(さつき苑)、さつき苑理容日、えん給食運営会議
12 月 13 日(金)	リーダーシップ勉強会(泉田氏、管理職以上、新任主任)、デイサービス運営改善ミーティング(泉田氏、施設長、綱島)、認知症ケア勉強会(泉田氏、なごみ・えんのリーダー以上・総合職、已上、ケアマネジャー)
12 月 14 日(土)	小規模多機能ホームなごみ運営改善ミーティング(泉田氏、なごみリーダー以上)、デイボランティア(アロマトリートメント)
12 月 15 日(日)	小規模多機能ホームえん運営改善ミーティング(泉田氏、部長、能登)、グループホーム大掃除
12 月 16 日(月)	鷹栖社協役員協議会(鷹栖町、施設長)、なでしこユニット会議、運動器の機能向上に関する行動計画策定ミーティング(デイ)
12 月 17 日(火)	デイ・なごみ・えん給食運営会議、なでしこユニット忘年会、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議
12 月 18 日(水)	経営改善会議、さつき苑トランスファー研修②、デイ柏の里音楽レクリエーション、地域ケア会議
12 月 19 日(木)	新規学卒者採用試験、さつき苑友愛活動(8 区老人会)、居宅会議
12 月 20 日(金)	すずらんユニット忘年会、デイ忘年会(～21 日)、小規模多機能なごみ手作りおやつ(揚げない大学芋)、ぬくもり友の会とえんスタッフの忘年会
12 月 22 日(日)	グループホーム手作りおやつ(ガトーショコラ)
12 月 23 日(月)	たんぼぼユニット忘年会、さつき苑寝具交換ボランティア(ひまわり会)
12 月 24 日(火)	経営職ミーティング、デイ手作りおやつ(～25 日、クリスマスケーキ)、ケアマネ会議、えんクリスマス会
12 月 25 日(水)	経営改善会議、鷹栖ライオンズクラブ寿司会(さつき苑)、ヘルパー会議、なごみクリスマス会、えんリーダー会議
12 月 26 日(木)	すずらんユニット会議
12 月 27 日(金)	さつき苑餅つき(ボランティア:十五期会)、さつき苑新年会打ち合わせ③、えん餅つき&忘年会
12 月 28 日(土)	なごみ餅つき&忘年会
12 月 31 日(火)	年末年始休業(～1/3、デイセンター、介護センター)

平成 26 年 1 月 1 日～1 月 31 日

平成 25 年度 経過 報告

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
1月6日(月)	経営職ミーティング、小規模えん会議
1月7日(火)	年始挨拶まわり、本部総務会議、さつき苑理容日、さつき苑リーダー会議、ケアマネ会議、
1月8日(水)	経営改善会議、ライオンズクラブ新年合同例会(旭川市、施設長)、認知症実践者研修実習受入(なごみ)、認知症実践者研修他施設実習(旭川市、坂原)、生活会議、ヘルパー研修、特養えん会議、えん全体会議
1月9日(木)	鷹栖町民生委員協議会新年会(施設長)、さつき苑友愛活動(フレッシュ親睦会)、さつき苑理容日、なごみリーダー会議、えん給食運営会議
1月10日(金)	認知症実践者研修実習受入(なごみ)、認知症実践者研修他施設実習(旭川市、志知)、デイ・なごみ・えん給食運営会議、第5回えん運営推進会議
1月12日(日)	さつき苑新年会、特養えん手作りおやつ(いきなり団子)
1月13日(月)	デイ手作りおやつ(～14日、白玉しるこ)
1月14日(火)	経営職ミーティング、なごみ基礎介護研修(入浴ケア)、さつき苑ボランティア(セラピードッグあさひかわ)
1月15日(水)	経営改善会議、広報委員会、北海道地域包括ケア推進部会(札幌市～16日、施設長)、さつき苑給食運営会議
1月16日(木)	さつき苑友愛活動(フレッシュ親睦会)、グループホーム外部評価
1月17日(金)	たんぼぼユニット会議、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会、居宅会議、小規模多機能なごみ外部評価
1月18日(土)	デイボランティア(アロマトリートメント)
1月20日(月)	経営職ミーティング、デイボランティア(母さんの本棚)
1月21日(火)	デイ外食ツアー(伝承館)、居宅臨時会議(部門計画策定会議)、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議
1月22日(水)	経営改善会議、ヘルパー会議、デイ柏の里音楽レクリエーション、地域ケア会議(鷹栖町、細野、佐々木恵、河田)
1月23日(木)	中途採用職員対象新任職員研修(～24日)、さつき苑友愛活動(銀星老人会)、すずらんユニット会議、デイ手作りおやつ(～24日、ホットケーキ)
1月24日(金)	なごみの家応援の会、小規模多機能えん手作りおやつ(きなこ飴)
1月25日(土)	小規模多機能なごみ手作りおやつ(ふわっふわかわぼちャドーナツ)
1月26日(日)	グループホーム手作りおやつ(ヨーグルトマフィン)
1月27日(月)	経営職ミーティング、かみかわユニットケアサテライトケア研究会(上川町、尾上)、さつき苑寝具交換ボランティア(ひまわり会)、デイボランティア(老人会カラオケクラブ)、なごみ基礎介護研修(入浴ケア)
1月28日(火)	なでしこユニット会議、ケアマネ会議、えんリーダー会議
1月29日(水)	経営改善会議
1月30日(木)	道老協施設長研究フォーラム(札幌市、施設長)、さつき苑友愛活動(銀星老人会)、さつき苑排泄ケア研修
1月31日(金)	第2回監事監査

平成 25 年度 経過 報告

平成 26 年 2 月 1 日～2 月 28 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
2 月 1 日(土)	第2回理事会、東北大震災義援金社内募集(～2/28)
2 月 2 日(日)	さつき苑理容日
2 月 3 日(月)	豆まき、認知症実践者実習生受入(なごみ)、小規模多機能えん会議
2 月 4 日(火)	生活福祉課部門計画策定会議、介護支援専門員研修前期(旭川市～6 日、松嶋、畠山、柳原)、さつき苑リーダー会議、ケアマネ会議
2 月 5 日(水)	経営改善会議、さつき苑ナース会議、特養えん会議、えん全体会議
2 月 6 日(木)	本部総務会議、さつき苑友愛活動(銀星老人会)、なごみリーダー会議、なごみの家部門計画策定会議
2 月 7 日(金)	広報委員会、第 3 回ケアケア交流講座
2 月 9 日(日)	特養えん手作りおやつ(チョコバナナ)
2 月 10 日(月)	旭川大学短大部生介護実習受入(～3/8)、この指止まれ発起人会(鷹栖町、尾上)
2 月 11 日(火)	デイ手作りおやつ(～12 日、チョコパフェ)、ケアマネ会議
2 月 12 日(水)	経営改善会議、鷹栖社協役員協議会(鷹栖町、施設長)、主任ケアマネ研修(旭川市～14 日、佐々木恵)、鷹栖町お互い様づくり行動計画検討会(鷹栖町、施設長)、さつき苑認知症ケア研修①、生活会議、さつき苑給食運営会議
2 月 13 日(木)	さつき苑理容日、小規模多機能えん外部評価、えん給食運営会議
2 月 14 日(金)	なごみ基礎介護研修(トランスファー)①、デイ・なごみ・えん給食運営会議、たんぽぽユニット会議
2 月 15 日(土)	デイボランティア(アロマトリートメント)、たかす福祉関係者交流会
2 月 16 日(日)	小規模多機能なごみ手作りおやつ(イタリアンお好み焼き)
2 月 17 日(月)	さつき苑理容日、上川総合振興局実地指導(デイ)、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議
2 月 18 日(火)	経営改善会議、経営職ミーティング、デイランチバイキング、デイボランティア(母さんの本棚)、居宅会議
2 月 19 日(水)	第 5 回全国先端ケア研究会 in 網走(～21 日、谷本、尾上、鈴木さ、巳上、設楽、佐藤晴、細野、河田、谷、川村、菅原景、森、谷水、津野)、決算処理・予算策定の実務ポイント(旭川市、副施設長)、ヘルパー会議
2 月 20 日(木)	さつき苑友愛活動(松平老人会)
2 月 21 日(金)	道老協第 3 回研修委員会(札幌市、施設長)、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会、デイ手作りおやつ(～22 日、クレープ)
2 月 23 日(日)	グループホームなごみ手作りおやつ(スイートポテト)
2 月 24 日(月)	道老協社会福祉法人による“新しい地域支援”への挑戦(横浜市～25 日、施設長)、さつき苑寝具交換ボランティア(ひまわり会)、デイボランティア(老人会カラオケクラブ)
2 月 25 日(火)	なごみ基礎介護研修(トランスファー)②、さつき苑手話サークル訪問受入、なでしこユニット会議、ヘルパー研修、ケアマネ会議、えんリーダー会議、えん入居判定委員会
2 月 26 日(水)	道デイ協認知症介護実践者研修(旭川市、松原、講師:施設長)、危安協役員会(鷹栖町、大庭)、デイ柏の里音楽レクリエーション、地域ケア会議(鷹栖町、細野、佐々木恵、河田)、認知症実践者研修まとめ(旭川市、志知、坂原)
2 月 27 日(木)	経営改善会議、鷹栖町お互い様づくり委員会(鷹栖町、施設長、尾上)、さつき苑友愛活動(松平老人会)、すずらんユニット会議
2 月 28 日(金)	さつき苑認知症ケア研修②、なごみ応援の会、小規模多機能えん手作りおやつ(豆腐入みたらし団子)

平成 25 年度 経過 報告

平成 26 年 3 月 1 日～3 月 31 日

月 日	行事・来苑者・会議・研修会など
3 月 2 日(日)	さつき苑理容日
3 月 3 日(月)	経営職ミーティング、デイ・シルバーフィットネスコーナー開設、特養えん会議、小規模多機能えん会議、えん全体会議
3 月 4 日(火)	鷹栖社協役員会(鷹栖町、施設長)、さつき苑鍋昼食会、さつき苑入居者様長寿祝(町長来苑)、さつき苑リーダー会議、ケアマネ会議
3 月 5 日(水)	かみかわユニットケア・サテライトケア実践発表セミナー(旭川市、施設長、副施設長、谷本、尾上、稲井、鈴木さ、角谷、高橋智、佐々木彰、室橋)、ヘルパー研修、広報配布日
3 月 6 日(木)	本部総務会議、さつき苑友愛活動(北斗老人会)、なごみリーダー会議
3 月 7 日(金)	広報委員会
3 月 8 日(土)	えんカンファレンス(泉田氏、施設長、部長、谷水、えんリーダー以上)、小規模多機能えん運営改善ミーティング(泉田氏、施設長、部長、えんリーダー以上)
3 月 9 日(日)	デイミーティング(泉田氏、施設長、谷、谷口)、なごみカンファレンス(泉田氏、施設長、部長、なごみリーダー以上)、小規模多機能運営改善ミーティング(泉田氏、施設長、部長、えんリーダー以上)、特養えん手作りおやつ(抹茶小豆蒸しパン)
3 月 10 日(月)	さつき苑ボランティア(セラピードッグあさひかわ)、さつき苑ナース会議
3 月 11 日(火)	経営改善会議、介護支援専門員研修後期(旭川市～13 日、松嶋)、危安協臨時総会(鷹栖町、大庭)、ケアマネ会議
3 月 12 日(水)	小規模多機能ホームケアマネジャー研修講師(札幌市、施設長)、道デイ協認知症介護実践研修推進委員会(札幌市、施設長)、さつき苑給食運営会議
3 月 13 日(木)	第 4 回サービス向上発表会(サンホールはぴねす)、さつき苑友愛活動(北斗老人会)、さつき苑理容日、えん給食運営会議
3 月 15 日(土)	デイボランティア(アロマトリートメント)、認知症ケア学会北海道地域部会事例検討会(旭川)(旭川市、佐々木恵)
3 月 17 日(月)	デイ手作りおやつ(～18 日、オープンサンド)、小規模多機能なごみ手作りおやつ(コーヒーパンケーキ)
3 月 18 日(火)	鷹栖社協理事会(鷹栖町、施設長)、さつき苑理容日、たんぼぼユニット会議、居宅会議、なごみの家会議、和ユニット会議、洋ユニット会議、小規模多機能なごみ会議
3 月 19 日(水)	経営職ミーティング、経営改善会議、ヘルパー会議、デイチェンジ鍋ランチ、デイボランティア(母さんの本棚)、地域ケア会議(鷹栖町、細野、佐々木恵、河田)
3 月 20 日(木)	さつき苑友愛活動(北成老人会)、デイ手作りおやつ(～21 日、おはぎ)、デイセンター会議、デイ学習療法月次検討会、ぬくもり友の会総会、第 6 回えん運営推進会議
3 月 21 日(金)	なでしこユニット会議
3 月 23 日(日)	グループホームなごみ手作りおやつ(ココアバナナケーキ)
3 月 24 日(月)	新任職員研修前期(～27 日)、さつき苑寝具交換ボランティア(ひまわり会)、デイボランティア(老人会カラオケクラブ)
3 月 25 日(火)	すずらんユニット会議、ケアマネ会議、なごみ基礎介護効果測定①、えんリーダー会議
3 月 26 日(水)	経営改善会議、鷹栖社協評議員会(鷹栖町、施設長)、第 3 回監事監査、デイ柏の里音楽レクリエーション
3 月 27 日(木)	さつき苑友愛活動(北成老人会)
3 月 28 日(金)	なごみの家応援の会、小規模多機能えん手作りおやつ(苺ホットケーキ)
3 月 29 日(土)	第 3 回理事会、第 2 回評議員会
3 月 31 日(月)	なごみ基礎介護効果測定②

平成 24 年度 法人本部事業報告（伊藤）

1. 総括

平成 24 年度は中期経営 3 カ年計画（平成 22 年度～平成 24 年度）の最終年度であったため、中期計画及び平成 24 年度事業計画を推進すべく取り組みを進めてきた。

平成 23 年度から継続して取り組んできたことについては、概ね実施することができた。特に、平成 21 年度から協議・検討を重ね、準備を進めてきた「新人事管理・賃金制度」を導入し、大きな混乱もなく運用できたことは、最も特筆すべき成果であった。職員一人ひとりが新制度の導入目的や必要性を理解してくれた結果である。

また、3 回目の開催となった「サービス向上発表会」は、職員の中に定着しつつあり、比較的早い時期から準備を始める部署もあった。まじめなテーマにまじめに取り組みながら発表会を楽しむという雰囲気が出てきた。今回初めてご臨席くださった木津理事長からも高い評価をいただくことができた。

一方で、十分な取り組みや成果を残すことができなかつたものもあった。

一つは、感染症対策についてである。平成 19 年度以降、集団感染を予防してきたが、今年度は法人内の二つの事業所でインフルエンザの蔓延を招いてしまった。予防対策の徹底と入居者に発症したときの初期対応が重要であることを改めて認識した。

もう一つは、資格取得への支援についてである。介護支援専門員を受験する職員に対する支援が不十分であったため、受験者 7 名中、合格者 2 名という非常に低い合格率となってしまった。

サーバーの故障によるデータの消失という大きなアクシデントがあったため、日常業務も停滞してしまったということはあるが、反省すべきことが多い 1 年であった。

2. 次年度に向けて

平成 25 年度は、新中期経営 3 カ年計画（平成 25 年度～平成 27 年度）のスタートの年である。この 3 カ年の間の社会環境の変化や介護保険制度の改定内容を想定しながら、3 カ年計画の初年度として、将来を見据えた準備を進めていきたい。

特に、地域包括ケアが目指すところでもある「住み慣れた地域で暮らし続けられる」システムをソフト・ハードの両面から整えていくことは喫緊の課題であると考えている。

また、サービス向上発表会を更に充実させたいと考えている。現場の取り組みを多くの方に知ってもらえるよう、今年度は法人の役員や評議員にご案内していきたい。

3. 運営状況・統計資料

(1) 理事会の開催状況（大庭）

回	期 日	議決事項等	出席者
1	24.4.19(土) 18:45～19:00	議案第1号 理事長の選任について 議案第2号 常務理事の指名について 議案第3号 職務代理者の指名について 議案第4号 評議員の選任について	理事 4名 監事 2名
2	24.5.26(土) 15:50～17:40	報告第1号 理事長専決事項の報告について 報告第2号 平成23年度事業報告並びに決算報告について (監事監査結果報告を含む) 議案第1号 平成24年度第1次補正予算(案)について 議案第2号 給与規程の全面改正(案)について 議案第3号 就業規則の一部改正(案)について 議案第4号 平成24年6月期の職員賞与の支給率について	理事 5名 監事 2名
3	24.8.31(土) 18:30～19:40	報告第1号 理事長専決事項の報告について 報告第2号 平成24年度第1四半期業績管理並びに収支報告 その他 富井評議員の退任についての報告	理事 5名 監事 2名
4	24.12.7(金) 18:30～20:45	報告第1号 理事長専決事項の報告について 報告第2号 平成24年度第2四半期業績管理並びに収支報告について (監事監査結果を含む) 報告第3号 平成24年度介護保険法に基づく介護保険施設等の実地指導の結果について 報告第4号 平成24年度第3回監事監査の結果について 報告第5号 第1回北海道産業人材育成企業知事表彰受賞について	理事 5名 監事 2名
5	25.3.23(土) 16:00～18:00	報告第1号 理事長専決事項の報告について 報告第2号 平成24年度第3四半期の業績報告並びに収支報告について 報告第3号 平成24年度社会福祉法人及び社会福祉施設に係る指導監査並びに介護保険施設等実地指導の結果について (監事監査の結果を含む) 議案第1号 給与規程の一部改正(案)について 議案第2号 併給する管理職手当・役職手当の遡及支給について 議案第3号 平成24年度最終補正予算(案)について 議案第4号 新中期経営計画並びに平成25年度経営(事業)計画(案)について 議案第5号 平成25年度当初予算(案)について 議案第6号 就業規則の一部改正(案)について	理事 5名 監事 2名

(2) 評議員会の開催状況 (大庭)

回	期 日	議決事項等	出席者
1	24.4.19(土) 18:30~18:45	議案第1号 理事・監事の選任について	評議員9名 監事2名
2	24.5.26(土) 14:30~15:40	報告第1号 平成23年度事業報告並びに決算報告について (監事監査結果報告を含む) 議案第1号 平成24年度第1次補正予算(案)について	評議員8名 監事2名
3	25.3.23(土) 14:00~16:00	議案第1号 給与規程の一部改正(案)について 議案第2号 併給する管理職手当・役職手当の遡及支給について 議案第3号 平成24年度最終補正予算(案)について 議案第4号 新中期経営計画並びに平成25年度経営(事業)計画(案) について 議案第5号 平成25年度当初予算(案)について	評議員10名 監事2名

(3) 監査等の実施状況

① 監事監査 (大庭)

回	期 日	主な監査実施項目	監査実施者
1	24.5.23(水) 15:00~17:10	平成23年度経過報告について 平成23年度事業報告について 平成23年度決算報告について 入居者預り金の管理状況について	監事2名
2	24.8.29(水) 15:00~17:00	平成24年度第1四半期業績報告について 平成24年度第1四半期収支状況報告について 入居者預り金の管理状況について	監事2名
3	24.12.5(水) 15:00~17:00	平成24年度第2四半期業績報告について 平成24年度第2四半期収支状況報告について 平成24年度介護保険法に基づく介護保険施設等の実地指導 の結果について 入居者預り金の管理状況について	監事2名
4	25.3.19(火) 15:00~17:00	平成24年度第3四半期業績報告について 平成24年度第3四半期収支状況報告について 平成24年度社会福祉法人及び社会福祉施設に係る指導監査 結果について 平成24年度介護保健施設等実地指導の結果について 入居者預り金の管理状況について	監事2名

② 社会福祉施設指導監査等（伊藤）済

実施日	対象事業所等	主な点検項目	監査実施者
25.11.29	・小規模多機能ホームぬくもりの家えん	(厚生労働省北海道厚生局実地指導) ・利用者概況 ・職員研修 ・各種加算請求 等	3名(厚生労働省北海道厚生局福祉指導課)
26.2.17	・デイサービスセンターはびねす	(介護保険施設等実地指導) ・人員に関する基準及び勤務態勢の確保 ・身体拘束の廃止及び高齢者虐待の防止 ・介護報酬の算定及び取扱い 等	2名(上川総合振興局保健環境部社会福祉課)

③ 社会福祉等給食施設調査指導（鈴木栄養士）済

期 日	対象事業所	主な点検項目	監査実施者
25.10.24	・(特養)鷹栖さつき苑 ・ショートステイさつき苑	・給食設備の衛生点検 ・衛生管理方法の点検 ・栄養ケア・マネジメントの確認	2名(上川総合振興局保健環境部保健行政室生活衛生課、健康推進課)

(4) 資格保有・取得状況（伊藤）済

	福祉住環境コーディネーター2級	2級ヘルパー(介護職員初任者研修含む)	社会福祉主事	准看護師	看護師	保健師	介護支援専門員	管理栄養士	介護福祉士	社会福祉士
正職員	2	30	28(1)	0	6	2	28(3)	1	52(1)	6
パート職員	0	24	3	3	3	0	1	0	14(1)	0
計	2	54	31(1)	3	9	2	29(3)	1	66(2)	6

注：平成26年3月31日現在の在籍者、()内は平成25年度取得者（登録済）分を再掲。

(5) 諸会議

① 経営改善会議（伊藤）済

開催日時	目 的	出席者	開催実績
毎週水曜日 10:00～11:00	安定的かつ効率的な施設・事業所経営を図るため、経営・運営上における課題や重要事項について協議・決議することを目的とする。	施設長 副施設長 介護部長 各課長	43回

② 職員全体研修・会議（伊藤）済

開催日時	目 的	出席者	開催実績
①全体研修 25.9.24・26 26.3.13	仕事の基本姿勢・専門性向上・メンタルサポート・人材育成・感染予防を目的とした研修を開催した。 【実施内容】 ()内は対象者・講師 ・感染症予防研修（全職員：石川宣子、谷水さおり、藤川朋恵） ・サービス向上発表会（全職員：各事業所発表職員）	全職員	全体研修 4回 全体会議 1回
②全体会議 25.5.14・17	法人として職員全体に伝達すべき重要事項がある場合に適宜開催する。 【実施内容】 ・平成25年度経営（事業）計画・収支予算について		

③サービス向上発表会開催内容（伊藤）済

発表事業所（発表順）	発表テーマ	発表者	審査結果
多機能型グループホーム 鷹栖なごみの家	お手伝い大作戦！！ ～居場所のある生活を作るために～	菅原 景子 坂原 有紀	最優秀賞
特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑	ゼリー食・玄米粥の取り組みと外部 委託との連携について	鈴木さゆり	第2位
法人本部・総務課	さつき会・新コンピュータシステム の構築 ～さつき会の情報管理を安全、安心に！～	山内 政昭	
ヘルパーステーション さつき苑	「地域のお茶の間」 茶話会への取り組み	西中 恵子 伊藤 尚子	
地域密着型特別養護老人 ホームぬくもりの家えん	最後まで口から美味しく ～ターミナルの方へのソフト食の取り組み～	谷水さおり 佐々木 彰	第3位

（6）広報誌の発行（町内全戸配布）（大庭）

回	発行年月日	主 な 内 容	頁数	発行部数	費用(円)

1	平成 24 年 5 月 1 日 Vol.59	①祝長寿 ②永年勤続表彰 ③全国先端ケア研究会 in 富良野 ④第 2 回「よいあいさつ大賞」⑤サービス向上発表会 ⑥なごみ の家花祭り ⑦デイサービス手作りおやつ ⑧えんひなまつり ⑨ぬくもり友の回勉強会・総会 ⑩先輩達からの一言 ⑪平成 24 年度経営（事業）計画書（第 38 期）⑫ボランティア紹介 ⑬お 誕生日 ⑭ご寄付・ご寄贈紹介 ⑮新任職員紹介 ⑯新入居者 ⑰編集後期	14	3,000	152,250
2	平成 24 年 7 月 1 日 Vol.60	①祝長寿 ②お花見（さつき苑・なごみ・えん・デイ） ③行事 紹介（さつき苑・なごみ・えん・デイ）④満足度調査（さつき苑・ デイ・居宅・ヘルパー・なごみ・食事）⑤平成 23 年度事業報告・ 決算報告 ⑥ボランティア紹介 ⑦お誕生日 ⑧ご寄付・ご寄贈 紹介 ⑨新任職員紹介 ⑩新入居者 ⑪編集後期	14	3,000	163,800
3	平成 24 年 9 月 1 日 Vol.61	①さつき祭り ②行事紹介（さつき苑・なごみ・えん・デイ）③ ボランティア紹介 ④お誕生日 ⑤ご寄付・ご寄贈紹介 ⑥新任 職員紹介 ⑦新入居者 ⑧編集後期	8	3,000	119,700
4	平成 24 年 11 月 1 日 Vol.62	①ヘルパー食事会 ②新秋祭 ③行事紹介（さつき苑・なごみ・ えん・デイ）④朝市てくてく最終日 ⑤えん買い物ツアー ⑥実 習生受入 ⑦えん収穫祭 ⑧デイ作品紹介 ⑨お誕生日 ⑩ご 寄付・ご寄贈紹介 ⑪新任職員紹介 ⑫新入居者 ⑬編集後期 ⑭長寿おめでとう	10	3,000	131,250
5	平成 25 年 1 月 1 日 Vol.63 全頁オールカラー	①年頭挨拶 ②全職員顔写真紹介 ③行事紹介（さつき苑・なご み・えん・デイ）④実習生受入 ⑤ケアケア交流講座 ⑥お誕生 日 ⑦ご寄付・ご寄贈紹介 ⑧新入居者紹介 ⑨新任職員紹介 ⑩編集後期 ⑪長寿おめでとう	12	3,000	174,300
6	平成 25 年 3 月 1 日 Vol.64	①新年会 ②デイ・なごみ節分 ③なごみスナップ写真 ④えん スナップ写真 ⑤お誕生日 ⑥ご寄付・ご寄贈紹介 ⑦新入居者 紹介 ⑧新任職員紹介 ⑨編集後期 ⑩長寿おめでとう	8	3,000	111,300
			計	18,000	852,600

(7) 実習生等受入状況（伊藤）済

実習日程	人数	実習名	実習生所属学校等
7月1日～7月6日	2	介護実習	旭川大学短期大学部 専攻科 福祉専攻
9月2日～10月5日	2	介護実習	旭川大学短期大学部 生活学科 生活福祉専攻2年
10月21日～10月23日	8	鷹栖町役場新任職員 「町内福祉施設体験実習」	鷹栖町役場
10月28日～11月30日	2	介護実習	旭川福祉専門学校 介護福祉科2年
1月7日	1	認知症介護実践者研修他施設 実習	デイ協認知症介護実践者研修
10月9日～10月10日	6	職場体験学習	鷹栖中学校2年生
11月4日～11月30日	2	介護実習	旭川大学短期大学部 専攻科 福祉専攻
2月10日～3月8日	2	介護実習	旭川大学短期大学部 生活学科 生活福祉専攻1年
延べ人数	260		

(8) 苑外研修・会議参加状況(高橋)

月	日	研修・会議名	開催地	参加者
4	13	上川危安協鷹栖支部定期総会	鷹栖町	施設長、大庭
	17	道老施協研修委員会	札幌市	施設長
	27	鷹栖社協監査	鷹栖町	施設長
5	14	上川中部危安協総会	上川町	施設長
	14	社会福祉施設等における安全衛生管理及び労働災害防止研修会	旭川市	大庭
	28	道老施協幹事会	札幌市	施設長
6	13~15	介護支援専門員更新研修	旭川市	西中、坂林
	14~15	道北地区老人福祉施設看護職員研修	旭川市	石川(宣)、谷水
	18	改正育児・介護休業法説明会	旭川市	佐藤(健)
	20	介護支援専門員専門研修 I	旭川市	河田
	21	平成 24 年度全道老人福祉施設研究大会	札幌市	施設長
	21~22			谷本、尾上、秋保
	21	算定基礎届事務講習会	旭川市	佐藤(健)
	23	ターミナルケア講習	旭川市	能登、谷水、谷(晴)
25	道北老施協幹事会・総会	旭川市	施設長	
7	5~6	北海道デイサービスセンター研究協議会	札幌市	綱島
	6	喀痰吸引等研修実施委員会	札幌市	施設長
	9~10	ターミナルケア研修	札幌市	秋保
	10~11	経理事務担当者研修	札幌市	大庭
	12~13	全道ホームヘルプサービス研究大会	札幌市	西中
	17	はびねず運営委員会	鷹栖町	副施設長
	18~19	介護支援専門員研修	旭川市	河田
7	19	鷹栖町ライオンズクラブ例会	鷹栖町	施設長
	30	かみかわユニットケアサテライトケア研究会実行委員会	上川町	副施設長
	31	学習療法士認定研修	札幌市	武山、能登、石川(未)
8	9~10	老人福祉施設研究発表会	札幌市	施設長、谷本、谷(和)、田中(希)、松原、松枝、室橋
	21~24	認知症介護実践研修	旭川市	設楽、川村、坂口、佐々木(彰)
	22	はびねず運営委員会	鷹栖町	副施設長
	23	鷹栖社協地域福祉部会	鷹栖町	施設長
	24	かみかわユニットケアサテライトケア研究会実行委員会	上川町	尾上

月	日	研修・会議名	開催地	参加者
8	27	道議会少子高齢社会対策特別委員会道内調査の意見交換会	旭川市	施設長
	27~29	介護支援専門員更新研修	旭川市	西中、坂林
	28	研修「人を語らずして介護を語るな」	層雲峡	細野、佐々木(恵)

	30～31	介護支援専門員更新研修 I	旭川市	河田
9	4～5	施設相談員専門研修 A	札幌市	佐藤(翔)
	6～8	全国高齢者ケア研究会先進事例フォーラム in 東京	東京都	施設長、谷本、尾上、綱島、丹
	12～13	道デイ協スキルアップセミナー	札幌市	小野(友)、中山
	22	実践介護実技講座プログラム F	美瑛町	明石、高橋(智)
10	1	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会	旭川市	副施設長
	1～2	ターミナル研修 II	札幌市	秋保
	3	旭川安全運転者講習会	旭川市	山内
	10	道デイ協認知症介護実践者研修	旭川市	施設長
	10	認知症実践者研修他施設実習	旭川市	坂口、佐々木(彰)
	10～11	認知症介護実践者研修後期	旭川市	川村
	10～11	認知症実践者管理者研修	旭川市	谷(和)
	10～12	介護支援専門員専門研修課程 II	旭川市	佐々木(恵)
	13～14	介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修	札幌市	米澤
	18	上川老協役員会	鷹栖町	施設長
	22～24	介護支援専門員更新研修	旭川市	谷本、能登
	23	はびねす運営委員会	鷹栖町	副施設長
	27～28	介護福祉士実習指導者講習会	札幌市	米澤
	11	10～13	ぬくもり友の会視察研修	大分県
13～14		新任介護職員研修	札幌市	安江、石岡、渡邊
14		痰の吸引等研修実地研修指導者講習	旭川市	稲井、藤川、谷水
14～16		主任介護支援専門員研修前期	札幌市	細野
17～18		介護福祉士養成実習、施設実習指導者特別研修	札幌市	秋保
19		道老協虐待防止プログラム検討委員会	札幌市	施設長
20～21		上川ユニットケアサテライトケア合同職員研修	和寒町	米澤、佐藤(晴)、下向
21～22		道北老協臨時総会兼施設長研修会	層雲峡	施設長
22		ボランティアの受け入れのための実践講座	鷹栖町	大庭
22		新会計基準研修会	旭川市	佐藤(健)
11	28	道共済業務説明会	旭川市	佐藤(健)
	28	福祉施設における「リスクマネジメント研修会」	旭川市	大庭
	29～30	ターミナル研修 III	札幌市	秋保
12	1～2	介護福祉士養成実習、施設実習指導者特別研修	札幌市	秋保
	13	道老協正副会長会議・役員交流会	札幌市	施設長
	13～15	主任介護支援専門員研修中期	札幌市	細野
	14	鷹栖社協地域福祉部会	鷹栖町	施設長
	20	鷹栖社協役員研修会	鷹栖町	施設長
月	日	研修・会議名	開催地	参加者
12	20	町長・副町長・教育長との意見交換会	鷹栖町	施設長
	25	ライオンズ定例会議	鷹栖町	施設長
1	9	介護力向上研修	美瑛町	施設長、谷本、尾上
	10～12	主任介護支援専門員研修後期	札幌市	細野
	19～20	介護福祉士養成実習、施設実習指導者特別研修	札幌市	森

	22～24	介護支援専門員実務研修	旭川市	谷(和)、小笠原
	23～24	老人福祉施設長研究セミナー	札幌市	施設長、尾上
	24			秋保
	24～25	衛生管理者能力向上教育	旭川市	佐藤(健)
	31～ 2/1	デイ協施設長研修	札幌市	綱島
2	4	鷹栖社協役員会	鷹栖町	施設長
	710	高齢者ケア研究会先端ケア研修会	大分県	施設長、谷本、尾上、米澤、秋保、森
	13	社会保険事務講習会	旭川市	大庭、高橋(良)
	14	ライオンズクラブ例会	鷹栖町	施設長
	18	お互い様づくり検討委員会	鷹栖町	施設長、尾上
	1921	介護支援専門員実務研修	旭川市	小笠原
	20	鷹栖社協役員会	鷹栖町	施設長
	26	はびねず運営委員会	鷹栖町	副施設長
3	6	第10回上川ユニットケアサテライトケア研究会実践発表セミナー	旭川市	施設長、副施設長、谷本、尾上、谷口、谷岡、中村、石川(宣)、森、能登、松枝
	13	小規模多機能ケア計画策定担当者研修	札幌市	施設長
	13	喀痰吸引等検討委員会	札幌市	施設長
	14	ライオンズクラブ例会	鷹栖町	施設長
	15	危安協役員会	鷹栖町	施設長、大庭
	26	認知症介護指導者会議	札幌市	施設長
				延べ152名

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 法人本部

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容	
1	(2)	新たなニーズに応えるための社会福祉事業・地域貢献事業の開発・実施	①要支援・軽度の要介護者が、必要な在宅サービスを利用し、可能な限り鷹栖町で自立した生活が営めるよう高齢者住宅の整備を検討する。 ②法人が行う地域貢献事業として、月1回イオンへの無料送迎バスの運行を検討する。	副施設長 大庭 佐藤	計画		高齢者住宅の検討 バス運行検討	高齢者住宅の検討	高齢者住宅の検討	高齢者住宅の検討	B	高齢者住宅の検討	高齢者住宅の検討	高齢者住宅の検討	高齢者住宅の検討	高齢者住宅の検討	高齢者住宅の検討	高齢者住宅の整備計画を策定する。 ・無料送迎バスの要否及び実施可否を判断する。	C	・高齢者住宅については、具体的な整備計画の策定には至らなかった。 ・バスの運行については、検討未着手。 ・評価としては、アクションしたが結果不十分のため、C評価とする。	
2	(3)	職員教育プログラムの体系化	階層別教育プログラムを体系化し、定期的な研修を企画・実施するためのプログラム作成を行う。 ①階層別(新人・現任・リーダー・主任・係長)の職員研修プログラム作成のための準備・調査。 ②階層別(新人・現任・リーダー・主任・係長)の職員研修プログラム作成。 ③法人全体の年間職員研修計画の作成。 ④研修受講歴(社内・社外)のデータベース化。	施設長 副施設長 介護部長	計画	年間職員研修計画の作成 受講データの更新 職員研修制度・階層別職員研修打合せ、研修プログラムの検討・作成					C	年間職員研修計画の作成 受講データの更新 職員研修制度・階層別職員研修打合せ、研修プログラムの検討・作成						・階層別(新人・現任・リーダー・主任・係長)の職員研修プログラム作成のため、定期的に職員研修制度・階層別職員研修打合せを実施し、内容の協議・検討を行う。 ・協議・検討した内容を基に、階層別(新人・現任・リーダー・主任・係長)の職員研修プログラムを作成する。 ・法人全体の年間職員研修計画の作成。 ・研修受講歴(社内・社外)のデータベース化。	C	計画に基づく取組みが不十分であったため、C評価とする。	
3	(3)	エルダー制度の見直し	①エルダー制度の一部改良(エルダーの手引き、面談シート、エルダーカレンダー等の導入) ②エルダーへの教育方針・方法の理解と習得のための研修会を企画・実施する。	介護部長	計画	エルダー研修会実施	特養さつき苑バージョンの勉強会実施		新人業務チェックリスト作成のための情報収集		C	新人業務チェックリスト作成	エルダー制度要項の見直し		研修日誌様式の見直し	エルダー研修会実施	4月に実施した。	・エルダー対象の研修会実施。 ・特養さつき苑バージョンの勉強会(係長・主任以上対象)実施 ・エルダー制度要項(業務手引き・マニュアル)の見直し ・新人業務チェックリスト作成のための情報収集と作成 ・研修日誌様式の見直し	C	計画に基づく取組みが不十分であったため、C評価とする。	
4	(3)	指導職・管理職の育成・教育の企画・実施	指導職・管理職が業務上発生する諸課題に対して、「強い精神力」、「前向きな考え方」を持ち課題解決にアプローチし続けられるよう、心理面・思考面の強化を目的とする研修を実施する。	施設長	計画		指導職・管理職研修会				A			指導職・管理職研修会	指導職・管理職研修会			・年3回のメンタル(心)・ブレイン(脳)トレーニング実施	A	計画どおり実施し、指導職・管理職の自律性・主体性を高めることができた。2回目までに所定のプログラム終了したため、3回目は中止とした。	
5	(3)	定期面談の実施	職員の不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるための定期的な面談を実施する。また、適正な運用が継続できるための諸規程を整備する。	介護部長	計画	面談		アンケート	見直し		B	面談	アンケート	見直し				職員の不安が取り除かれる面談制度が軌道に乗る	B	面談が計画どおり実施でき、面談が制度として定着してきた。職員の不安も軽減されている。	
6	(3)	レベルアップ・自己啓発のための研修の企画と実施	介護における救急時や感染予防、ストレスマネジメント等の職員が身につけるべき技術・知識に関する全体職員研修を企画・実施する。	介護部長	計画		マナー・モラル研修	食中毒予防研修		インフルエンザ・ノロウイルス研修	C	ストレスマネジメント研修							・ストレスマネジメント研修の実施 ・食中毒、インフルエンザ、ノロウイルス予防研修を実施し、発症者ゼロを達成する。 ・職員の接遇向上のため、マナー・モラル研修を実施する。	C	マナー・モラル研修が未実施となったこと、また、インフルエンザ集団感染を防ぐことができなかったため、C評価とする。
7	(3)	福祉人材養成事業の実施と協力	①平成24年度をもって訪問介護員養成研修事業が廃止となり、これに伴い、鷹栖高校居宅介護従事者3級養成事業が終了したため、平成25年度から新たに制度化される介護職員初任者研修の実施について検討する。 ②福祉系養成校、認知症介護実務者研修への協力を積極的にを行い、マンパワーの育成に努める。	副施設長	計画		情報収集	情報収集		内部検討	B							・介護職員初任者研修について実施時期を決める。	C	検討はしたが、実施時期を決めるまでには至らず、結果不十分のためC評価とする。	
8	(3)	基礎介護力の向上	①全ての介看護職員が、自己の知識・技術を点検し、その向上を図ることができるための基礎介護マニュアルを作成する。	介護部長	計画		介護マニュアルの整理	マニュアルの作成			D							基礎介護マニュアルの整理	C	マニュアルには全く着手できなかった。	
			②主任・リーダーに対する介護の基本・専門知識の習得研修を、管理職が中心となって実施する。	介護部長	計画				研修			B	研修	研修	研修	研修	研修	研修	「介護の知識50」研修の実施	B	部長・課長が講師となり、主任・リーダーに対して研修を実施した。
9	(3)	リーダー育成・教育の企画・実施	職員同士が心を通い合わせ、人とを結びつけ、業務と人間関係の改善を通じてチームワークを築き、向上させていくリーダー・主任を育成する。 ①リーダー育成プログラムを作成する。 ②リーダー教育(OJT、OFF-JT)を実施する。	施設長	計画		リーダー勉強会	リーダー勉強会	先進事例フォーラム		C			リーダー勉強会	全国先端ケア研究会・リーダー勉強会	リーダー勉強会(デイセンター)		・リーダー以上の職員を対象に、年2回リーダー勉強会を実施する。 ・ケアのレベルアップ、人材育成のノウハウを習得するため、高齢者ケア研究会主催の研究会に参加する。	C	・年間計画を下に、リーダー・管理者対象の研修・勉強会を企画したが、計画どおり実施されなかった。 ・ケアのレベルアップ、人材育成のノウハウを習得するため、高齢者ケア研究会主催の研究会に参加し、グレードアップケア、人材育成に必要なスキルを習得した。	

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 法人本部

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容
10	(3)	実践成果の理論化と共有	①各部署・各事業所の取組みをより多くの職員に発表することを通して、自分たちの取組みを振り返り、その成果を確認するとともに、他部署・他事業所の職員と共有することによって、さつき会全体のサービス向上を図るため、全職員対象の「サービス向上発表会」を開催する。 ②より多くの地域関係者、養成校の教員・学生を招き、さつき会のケア・サービスの質向上取組みを発信する。	副施設長			・開催の周知 ・実施要綱配布	・発表者募集要項及び審査基準見直し	→	・開催案内及び発表者募集要項配布	D	・発表申込受付開始		・発表申込締め切り		・投票者の届出 ・発表会開催 ・審査結果発表		・第4回さつき会サービス向上発表会を必ず開催する。 ・各課1つ以上の発表を達成する。	B	・発表会の案内など、開催準備が大幅に遅れてしまった。 ・発表できなかった課があった。 ・理事長のほか、監事・評議員から各1名にご臨席いただくことができた。 ・サービス向上発表会の目的は達成することができたが、計画どおりには進めることができなかったためB評価とする。
11	(3)	各種資格取得のための支援	専門性向上の客観的根拠の一つとして資格取得を掲げ、資格取得推進のため、研修助成の見直しを行う。また、介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員の受験者が自主的・意欲的に参加できる受験対策講座となるよう、講座内容を見直す。	副施設長					介護支援専門員模試	介護支援専門員模試	D	介護支援専門員模試・試験日	介護福祉士模試	介護福祉士模試	介護福祉士模試・試験日			介護福祉士・介護支援専門員ともに50%以上の合格率を実現する。	C	介護支援専門員の模試は実施できたが、試験月のみの実施となったこと、また、介護福祉士の模試は未実施のため、C評価とする。 なお、合格率は、介護福祉士が66.6%(3人中2人合格)、介護支援専門員が16.6%(12人中2人合格)であった。
12	(3)	人事・賃金システムの改善	①新たに制度化した人事・賃金システムの運用と必要な見直しを行い、キャリアパスを有効に活用して、職種・職位毎に求められる役割・行動・成果・目標を明確にし、より多くの職員が安心と希望をもって働ける職場づくりを行う。 ②介護職員の賃金改善を図り、やりがい、働きがいの下支えとなる基盤を強固にする。 ③定期的に制度に関する説明会を開催して職員の理解を深め、一人ひとりが自らの役割と責任を自覚して行動できるよう、また、上位の役割資格等級にチャレンジできるようサポートする。(サポート面談の実施検討)	副施設長			総合職昇格試験の実施 制度説明会				A		総合職昇格試験の実施					総合職昇格試験の実施	A	・計画どおり総合職昇格試験を実施し、計9名が総合職に昇格することができたためA評価とする。
13	(5)	社内業務の基準化・標準化	業務におけるムリ・ムラ・ムダがない効率的・安定的かつ標準的な業務推進体制を確立するための基盤整備を行う。	施設長							C							・マニュアルを作成する(各事業所5つ以上) ・リーダー以上の職員の業務日課表を作成・更新する ・総務係は業務分掌作成し、各人の仕事に遺漏がないかチェック体制を構築する。 ・さつき苑、なごみの家、ぬくもりの家えんは、毎月オペレーションシートを更新する。	C	・綿密な計画を作成せず、推進体制が不十分であった。 ・一部の事業所では、マニュアルの改良・作成を実施した。 ・オペレーションシートの月次更新は、さつき苑のみ実施。

平成 25 年度 地域密着型特別養護老人ホームぬくもりの家えん 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

平成 25 年度は「安全で安心でき根拠に基づいたケアの提供」「自立支援と個々に合わせた生活環境の提供」「専門性と主体性を持ったチームと働きがいのある職場づくり」「家族・地域と協同した施設運営」「業務の効率化と標準化」「適正利益の確保」を重点目標に掲げ取り組んだ。

1) 「安全で安心でき根拠に基づいたケアの提供」

基礎介護研修を特養さつき苑と合同で行い職員の知識向上を図った。今年度事故においては昨年度 63 件から 82 件と 19 件も増加してしまった。こちらについては、事故の分析が十分でなかったと考えられる。特に薬の飲ませ忘れ、誤与薬が昨年 12 件に対し 23 件と多かった。しかし、重大な事故につながる転倒転落については昨年度 36 件今年度 30 件とわずかではあるが減らすことができた。昨年、集団感染したインフルエンザについては、今年度加湿器の入れ替えや早めのマスク装着等に心がけ予防することができた。しかし、誤嚥性肺炎による入院者を 3 名を出し、入院も 164 日多くなってしまった。

今後は食事の工夫や口腔ケアに取り組み大きく改善を図っていきたい。

2) 「自立支援と個々に合わせた生活環境の提供」

自分でできることはできるだけ自分で行えるように、日々のケアでも手を出しすぎないように心がけた。1 名の方に対しては中途ではあるが、一日の生活の中に役割ができるように計画し実践した。また、毎日の体操と個別の歩行訓練を 1 名に行い身体機能の維持向上に努めた。また、四季を感じて頂けるような飾りつけに力を入れ生活に潤いができるように努めた。

3) 「専門性と主体性を持ったチームと働きがいのある職場づくり」

今年度より法人で創設した総合職昇格試験には 3 名が挑戦し、昇格することができた。また、ケアマネ試験には 3 名が挑戦し 1 名が合格、介護福祉士にも 1 名が挑戦し合格することができた。5 連休においては途中までは実施できたが、当初より予定していた 1 名の退職時の他に小規模にも退職者が出てしまい途中で実施することができなかった。毎月行っているマナー・モラルについて会議で話す機会を設けることでは引き続き主体的に考えることができた。

調理部門においては、今年度勤務形態を変えたことにより長時間と短期間の勤務ができるようになり、連休もとりやすくすることができた。

4) 「家族・地域と協同した施設運営」

家族会、友の会には毎年予定している行事に参加していただいた。大きな行事としては、昨年見学した大分県国東市の住民が来訪され地域住民とともに交流を盛大に行うことができた。今年も 700 名の来訪者（実際には名簿に名前を書かずにいる方は除く）や、30 団体 286 名と昨年を上回るボランティアの力を借りることができた。他にも併設の小規模多機能事業所とともに年間 6 回の運営推進会議にて、事業所の運営状況や困難な事柄について意

見やアドバイスをいただく事ができた。また、昨年できなかったボランティアの集いを形を変えクリスマス会とともに行うことができた。

5)「業務の効率化と標準化」と「適正利益の確保」

業務の効率化については、担当者を決め業務分担を図ることで一人にかかる負担を削減することはできた。調理については調理用品の入れ替えや必要台数の改善を図ることで効率化を図ることができた。しかし、まだ無駄も多く十分には改善できていない。

適正利益の確保についても、結果としては職員の欠員などにより経費が削減でき達成できたが、要介護度が全国平均よりも軽いのと、下半期は入院が長引き年間平均稼働率も過去最低の96.7%になってしまった。

2. 展望（次年度に向けて）

平成26年度は、目標を変えないが、より細かで具体的な目標を掲げ取り組んでいきたい。

特に徐々に重度化していく入居者の対応ができるよう、記録の確認（ダブルチェック）を行い変化に早く気づき状態の悪化がしないように努め、入院日数100日以内を目標としたい。また、引き続き基礎介護研修を行うとともに、リーダー職以上に対してはミニ研修を実施し、重度化に対応でき苦痛を与えない介護力を身につけていきたい。また、他職種が連携したケアに努め、玄米食の導入、下剤ゼロにむけた取り組みに力を入れていきたい。

ケアプランについては、アセスメントとを変更し入居者も職員も目標を持って取り組み、記録と連動する形を作りたい。

働きがいのある職場作りのために、5連休の取得を新任職員が定着した6月から再開したい。また、2年目以降の職員が目標を持って仕事に取り組めるように面談を通じ主体性を引き出していきたい。また、入居者と職員、職員同士がなれ合いになることなく、マナーやモラルが保てるように研修を行うとともに、日々のケアを通じて理念に基づいたケアを実践していきたい。また、開設5年が過ぎたが、ぬくもりの家えんが社会福祉法人として、地域の拠点として果たすべき役割を再確認し、ご家族、地域のニーズにあった運営ができるように努めていきたい。

最後にこれらを適切に実践することにより稼働率98%を必達目標とし、入居者が安心して穏やかに生活できるよう支援し、より地域に根ざした施設運営を目指していきたい。

3. 運営状況・統計資料

(1) 業績報告

①ベッド稼働率

目標ベッド稼働率 (A)	実際ベッド稼働率 (B)	達成率(B)/(A)×100
98.0%	96.7%	98.6%

②延べ入居者数 (単位：人)

目標延べ入居者数 (A)	実際延べ入居者数 (B)	達成率(B)/(A)×100
7,154	7,057	98.6%

③事業収入(単位：千円)

目標収入 (A)	実際収入 (B)	達成率(B)/(A)×100
86,787	84,701	97.6%

(2) ボランティアの受け入れ

①ボランティア受け入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	2	3	5	3	2	2	3	2	2	2	2	2	30
延人数	19	18	37	28	19	21	32	19	22	23	24	24	286

②ボランティア協力団体一覧

団体名	活動・協力内容
ぬくもり友の会	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇整備 ・シーツ交換 ・洗面台清掃 ・車椅子清掃 ・喫茶てくてくへ参加 ・朝市への参加、誘導 ・畑おこし、整備 ・買い物ツアー付き添い
ぬくもり友の会、家族会	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪 ・窓ふき ・大掃除 ・餅つき
琴伝流大正琴北野会	<ul style="list-style-type: none"> ・大正琴演奏披露
鷹栖町商工会女性部	<ul style="list-style-type: none"> ・大正琴演奏披露
鷹栖曲芸クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・皿回し披露
絵画サークル虹の会	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画展示
たかす手話サークル	<ul style="list-style-type: none"> ・手話
メナード花咲アリューム	<ul style="list-style-type: none"> ・エステ
個人ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居 ・読み聞かせ ・大正琴 ・話し相手 ・日本舞踊 ・お茶会

(3) 外出・外泊・面会状況

月	面会延べ人数(名)	外出回数 (回)	外泊回数 (回)
平成 25 年 4 月	65	2	5
5 月	68	1	9
6 月	71	1	5
7 月	68	3	4
8 月	85	7	6
9 月	53	2	4
10 月	43	0	5
11 月	46	0	4
12 月	53	2	4
平成 26 年 1 月	55	1	2
2 月	41	0	4
3 月	52	1	1
合計	700	20	53

(4) 行事

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
5/1	えん開設記念日	てくてく	坂口・西
5/18.20.21.22.23.24	お花見ツアー	旭山、花咲公園	谷水・室橋
6/7	花壇整備	えん庭	谷本
6/19.21	買い物ツアー	イオン	佐々木・石川
6/16	円山幼稚園運動会見学	円山幼稚園	畑山
7/14	さつき祭	さつき苑	西・津野・松本
8/4	北野神社祭・獅子舞	えん駐車場	坂口・畑山
8/8	戦没者慰霊祭	戦没者慰霊之塔	佐々木
8/9	夕涼み会	えん駐車場	北川・室橋
8/27	流しそうめん	えん特養玄関	松枝・谷水
9/12	収穫祭	えん庭	石川・西
9/15	長生き感謝祭	メロディーホール	谷本・森
9/24	出前の日	えん	松枝・山内
10/15.16	紅葉ツアー	神居古潭	津野・松本
10/27	北野小学校学芸会	北野小学校	谷本・北川
12/25	クリスマス会	はなりビング	西・坂口・室橋
12/27	忘年会・餅つき	はなりビング	佐々木・石川・山内
2/3	豆まき	はなりビング	坂口・佐々木
3/2	ひな祭り	はなりビング	石川・畠山・松本

(5) 全体会議 (計 12 回)

月 日	議題内容	参加人数
平成 25 年 4 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・新任職員について 	10
平成 25 年 5 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (3 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて 	13
平成 25 年 6 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (4 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて 	12
平成 25 年 7 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (5 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・虐待防止研修 	12
平成 25 年 8 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (6 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて 	11
平成 25 年 9 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (7 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて ・小規模からの報告 	11
平成 25 年 10 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (8 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて 	12
平成 25 年 11 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (9 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・危険予知トレーニング 	11
平成 25 年 12 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (10 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて 	12
平成 26 年 1 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (11 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動計画 ・マナーモラルについて 	12
平成 26 年 2 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (12 月・年間) ・委員会からの報告 ・今後の予定 ・活動報告 ・マナーモラルについて 	11
平成 26 年 3 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・業績管理報告 (1 月・年間) ・委員会からの報告 	13

(6) リーダー会議 (計 12 回)

月 日	議題内容	参加人数
平成 25 年 4 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 行事について ・ スタッフマネジメント ・ 事故報告について ・ 業績管理、活動計画 ・ 運営指導 他 	6
平成 25 年 5 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 事故報告について ・ 行事について ・ 栄養管理 ・ 業績管理 活 ・ スタッフマネジメント 	6
平成 25 年 6 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 栄養状況の悪い方 ・ 行事について ・ 褥瘡発症者の経過 ・ 事故報告について ・ スタッフマネジメント 	6
平成 25 年 7 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 行事について ・ 麦ご飯の取り組みについて ・ 事故報告について ・ 業績管理 活動報告 ・ スタッフマネジメント 	6
平成 25 年 8 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 栄養状況の悪い方 ・ 行事について ・ 褥瘡発症者の経過 ・ 事故報告について ・ スタッフマネジメント 	6
平成 25 年 9 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 業績管理 活動報告 ・ スタッフマネジメント ・ 事故報告について ・ 行事について 	6
平成 25 年 10 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 行事について ・ スタッフマネジメント ・ 事故報告について ・ 業績管理 活動計画 	7
平成 25 年 11 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 事故報告について ・ その他の検討事項 ・ 褥瘡発症者の経過 ・ 業績管理 活動計画 ・ スタッフマネジメント 	7
平成 25 年 12 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 事故報告について ・ スタッフマネジメント ・ 栄養状況の悪い方 ・ 業績管理 活動計画 	7
平成 26 年 1 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 業績管理 活動計画 ・ 事故報告について ・ スタッフマネジメント 	7
平成 26 年 2 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 栄養状況の悪い方 ・ スタッフマネジメント ・ 褥瘡発症者の経過 ・ 事故報告について ・ 行事について 	7
平成 26 年 3 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 事故報告について ・ スタッフマネジメント ・ 栄養状況の悪い方 ・ 行事について ・ 施設長から 	7

(7) 特養会議 (計 12 回)

月日	議題内容	参加人数
平成 25 年 4 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 事故の検討 ・ 栄養マネジメント ・ 手作りおやつについて 	10
平成 25 年 5 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 入居者担当の変更について ・ 事故の検討 	13
平成 25 年 6 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 家族からの要望・苦情 ・ 栄養マネジメント ・ 事故の検討 	12
平成 25 年 7 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 事故の検討 	12
平成 25 年 8 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ その他の検討事項 ・ 事故の検討 	11
平成 25 年 9 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 入居者健康診断について ・ 事故の検討 ・ 研修報告 	11
平成 25 年 10 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 事故の検討 ・ 口腔ケアについて ・ 栄養マネジメント ・ その他の検討事項 	12
平成 25 年 11 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 食事形態について ・ 食事席について ・ 事故の検討 ・ 口腔ケアについて 	11
平成 25 年 12 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 事故の検討 	12
平成 26 年 1 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 事故の検討 ・ 褥瘡発症者及びハイリスク者 ・ その他の検討事項 	12
平成 26 年 2 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 事故の検討 ・ 褥瘡発症者及びハイリスク者 ・ その他の検討事項 	11
平成 26 年 3 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアカンファレンス ・ 栄養マネジメント ・ その他の検討事項 ・ 褥瘡発症者及びハイリスク者 ・ 事故の検討 	9

(8) 給食会議 (計 12 回)

月日	議題内容	参加人数
平成 25 年 4 月 11 日	・小規模利用者について・必要な調理器具・システムについて ・献立等について ・行事について	9
平成 25 年 5 月 8 日	・特養入居者について ・システムについて ・献立について ・衛生面について	11
平成 25 年 6 月 13 日	・特養入居者について ・システムについて ・献立について	11
平成 25 年 7 月 11 日	・特養入居者について ・必要な調理器具について ・システムについて ・献立について	11
平成 25 年 8 月 8 日	・小規模利用者について・必要な調理器具について ・システムについて・献立について・衛生面について ・行事について	11
平成 25 年 9 月 12 日	・特養入居者について ・必要な調理器具について ・献立について ・衛生面について ・行事について	11
平成 25 年 10 月 10 日	・特養入居者について ・必要な調理器具について ・献立について ・システムについて ・衛生面について ・行事について	10
平成 25 年 11 月 14 日	・特養入居者について ・必要な調理器具について ・システムについて ・献立について ・衛生面について ・行事について	10
平成 25 年 12 月 12 日	・特養入居者について ・必要な調理器具について ・献立について ・衛生面について ・行事について	10
平成 26 年 1 月 8 日	・小規模利用者について ・特養入居者について ・必要な調理器具について・献立について・衛生面について ・行事について	8
平成 26 年 2 月 13 日	・特養入居者について ・必要な調理器具について ・献立について ・衛生面について ・行事について	10
平成 26 年 3 月 13 日	・特養入居者について ・小規模利用者について ・必要な調理器具について ・献立について ・行事について	10

(9) 入院状況

病院名	診療科目	症状・病名	入院日	退院日	日数
市立HP	循環器化	PPM電池交換	5月1日	5月3日	2
日赤HP	HCU	慢性硬膜下血腫	10月7日	10月13日	6
佐野病院	内科	MI・CHF	10月9日	11月7日	29
旭川医療センター	呼吸器内科	肺炎・心不全	11月1日	12月2日	31
市立HP	呼吸器内科	誤嚥性肺炎	12月28日	1月8日	11
旭川医療センター	呼吸器内科	心不全・脱水	1月11日	2月20日	40

(10) 通院状況

病院名	診療科目	計(人)	病院名	診療科目	計(人)
浅井医院	内科	12	ペインクリニック	麻酔科	13
旭川赤十字病院	神経内科	14	勤医協一条通病院	整形外科	2
	口腔外科	5		整形外科	1
	脳外科	1	厚生病院	消化器科	1
	救急外来	2			
森山病院	整形外科	1	旭川医療センター	消化器内科	6
	脳神経外科	2		呼吸器科	3
				救急外来	1
町立歯科	歯科	13	石川形成	形成外科	3
福祉村サテライト	整形外科	3	仁友会クリニック	泌尿器科	3
もとまち皮膚科	皮膚科	4	いまだ耳鼻科	耳鼻科	2
市立病院	PPM 外来	2	圭泉会病院	精神科	26

(11) 健康管理 (検査・予防接種)

	内容	実施日	入居者
1	血液検査	不定期	20
2	尿検査	不定期	19
3	心電図検査	不定期	3
4	胸部レントゲン検査	不定期	19
5	混合型インフルエンザ予防接種	11月13日・20日	20
6	血糖検査	不定期	11
7	電解質検査	不定期	20
8	トロンビン検査	不定期	1
9	貧血検査	不定期	20
10	コレステロール	不定期	20
11	腎機能検査	不定期	20
12	肺炎球菌ワクチン	2月4日・11日	17

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 地域密着特別養護老人ホーム めくもりの家 えん

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

NO	事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容	
1	1	(1)	生命と尊厳を守り、安心して暮らせる生活の保障	①身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う	谷本森	計画		接遇マナー・モラル研修	身体拘束・虐待予防研修(谷本)			B	計画通りできた		身体拘束・虐待予防啓発(谷本)					身体拘束・虐待ゼロの継続	B	研修は2回できなかったが、目標は達成できた	
2				②事故を未然に防ぐ取り組みを行い、事故及び事故の再発を防ぐ	谷本森	計画	KYT研修	救命救急研修	KYT研修	KYT研修	KYT研修	C	他の研修が入り、毎回実施できなかった	KYT研修	KYT研修	KYT研修	KYT研修	KYT研修	KYT研修	事故前年度比-10%	C	前年度64件から83件と増えてしまった。	
3	1	(1)	リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり	①事故発生時の検証、分析を迅速かつ的確に実施し再発防止に努める	森小玉	計画	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	委員会活動報告	C	報告分析は行っているが昨年度の倍になっている	リスクマネジメント研修	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	毎月の会議での事故報告・分析	各委員会活動報告	事故前年度比-10%	C	前年度64件から83件と増えてしまった。
4				②実状に即した救命救急講習会を行い緊急時に備える	森谷水	計画	緊急時対応チェックリスト確認	救命救急研修				B	ほぼ計画通り実施		救命救急研修	緊急時対応チェックリスト確認					緊急時に適切な対応ができるチェックリストで80%が○	C	研修が十分でないのとチェックリストを行うことはできなかった
5				③地域との連携による緊急時(火災・行方不明)の体制づくり	谷本森	計画	緊急時物品の点検	避難訓練実施要綱作成	避難訓練実施・反省会			C	避難訓練実施できなかった	連絡網確認			緊急時物品の点検	ボランティア集会			地域との協働による体制を作り、実践できる。	C	十分な体制作りができなかったまた、災害訓練の実施にはならなかった
6	1	(1)	根拠に基づいたケアサービスの提供	①ケアプランに基づいたケアサービスの提供と観察を行う	谷本森	計画	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	B	ほぼ計画通り実施	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	モニタリングカンファレンスダブルチェック	ケアプランと記録が連動する	B	実施はできたが、記録との連動にはいかなかった	
7	1	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	①日々の健康管理を適切に行い、脱水症、低栄養を予防する	谷水森松枝津野	計画	リスク者リストアップ	水分表・食事形態見直し	脱水予防研修	定期検査(血液)	定期検査(血液)	定期健康診断	A	脱水と低栄養による入院者、点滴等はなかった	水分表・食事形態見直し	定期検査(血液)	定期検査(血液)	水分表・食事形態見直し	定期検査(血液)	定期検査(血液)	脱水症・低栄養による入院者がゼロ	A	脱水・低栄養の入院はなかった
8				②褥瘡の予防、早期発見、発症時の適切なケアを実践する	谷水森松枝津野	計画	リスク者のリストアップ	予防計画作成・予備知識研修	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	B	褥瘡発症者なし	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	会議での確認・カンファレンス(毎月)	半期の評価	褥瘡発症者ゼロ	C	入院が164日と過去最高の日数になってしまった	
9				④便秘を予防し下剤を減らす取り組みを計画、実践する	谷水森松枝津野	計画		下剤使用者把握	実施開始	モニタリング		A	便ご飯導入により便秘は改善されている	モニタリング			モニタリング	モニタリング	下剤使用率-30%	C	十分な分析と対応には至っていない半数が下剤を使用している		
10				⑤口腔ケアと摂食障害者への適切なケアの実践	谷水森松枝津野	計画	個別計画書作成		口腔ケア研修(職員)		半期の評価	C	十分な取り組みには至っていない					半期の評価	全員の毎食後の口腔ケアができていない	C	口腔ケアが毎食後適切にはなっていない		
11	1	(1)	感染症の予防	①感染症対策委員会と連携しながら、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザの予防に努め集団感染0件を目標とする(感染症対策委員会)	谷水谷本	計画					感染症予防研修(法人)	B	計画通りできた	感染症対策確認加圧器設置	インフルエンザ予防接種				年間報告	感染症集団感染ゼロ	A	感染症はできなかった	
12	1	(1)	安全で美味しく楽しい食事の提供	①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供する(栄養士・給食担当・感染症対策委員会)	巴上松枝	計画			食中毒予防研修(法人)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	B	計画通りできた	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	給食会議での確認(毎月)	1年間のモニタリング	食中毒感染者ゼロ	B	出すことはなかった	
13				②摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案、実践	松枝森	計画	食事形態見直し	食事ケア研修(調理)	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	A	ソフト食の研修にも参加でき、誤嚥性肺炎も起こさなかった	食事形態見直し	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	ゼリー食・ソフト食実施	食事形態の多様化により、全員口腔摂取ができていない	A	食事形態をかえ、経口摂取ができていない	
14				③入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画、実施(アクティビティ委員会:給食担当)	松枝石川	計画	出前食嗜好調査	開設記念こどもの日憲法記念日	買い物外食	海の日	お盆流しそうめん	B	計画通りできた	体育の日出前の日	文化の日勤労感謝の日	クリスマス忘年会天皇誕生日	おせち料理成人の日	即分建国記念日満足度調査	ひな祭り春分の日満足度調査	満足度調査を実施し、食事に関して80%が良いの評価	B	調査はできなかったが、実施できた	
15	2	(2)	心身の機能低下防止と活動の活性化	①個別リハビリ・集団リハビリを実践し心身機能低下防止を図る(アクティビティ委員会)	石川谷水	計画	計画作成	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	B	計画通りできた	9月までのモニタリング			12月までのモニタリング	1年間のモニタリング	介護度の維持が80%	A	介護度はおおむね維持できた		
16				②入居者の喜びや楽しみにつながる役割づくりとレクリエーションや行事の計画、実施(アクティビティ委員会)	坂口畑山	計画		開設記念パーティー花見	買い物運動会見学	さつき祭	北野神社祭夕涼み会	B	計画通りできた	紅葉狩り学芸会見学	日帰り温泉	クリスマス会餅つき&忘年会	初詣	豆まき満足度調査	ひな祭り年間報告	毎月のレクリエーションを実施満足度調査で80%が良いの評価	B	計画どおり実施できた	
17	2	(2)	過ごしやすい環境づくり	①共有スペースの整理整頓と、植物に囲まれ季節感と潤いのある生活環境づくり(環境委員会)	佐々木室橋	計画	春のしつらえ		夏の準備	夏のしつらえ	秋の準備	B	計画通りできた	冬の準備	冬のしつらえ			満足度調査	年間報告	満足度評価で80%が良いの評価	B	計画どおり実施できた	
18				②入居者の生活状態に合わせ、個人の心地よい環境を考えた居室環境づくりと整理整頓を行う(担当・環境委員会)	室橋北川	計画		居室の環境づくり	チェック	居室の環境づくり	チェック	B	計画通りできた	居室の環境づくり	チェック	居室の環境づくり	チェック	満足度調査	年間報告	個々に合わせたしつらえと、整理整頓が常にされている	C	十分な整理整頓はできていなかった	

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所) 地域密着特別養護老人ホーム めくもりの家 えん

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

NO	事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容	
19	2	(2)	楽しみや喜びのある暮らしづくり	①入居者個々に合わせた役割づくりを行う	谷本 松枝 津野	計画 実施	手作りおやつ(毎月)	できることできないことの確認	役割を計画	役割の実践	役割の実践	評価	C	手作りおやつは実施できたが、役割作りまでにはいたらなかった	役割の実践	役割の実践	役割の実践	役割の実践	役割の実践	評価	入居者の役割ができる	C	1名の役割作りには取り組めたが、それ以上はできていない
20				③地域の方々やご家族と共に楽しむことができる	谷本 森	計画 実施		一斉清掃	買い物	めくもり友の会と交流会		B	計画通りできた		日帰り温泉	餅つき&忘年会		ボランティア茶話会		計画どおり実施できる各企画に30%以上の方が参加する	B	計画どおり実施できた	
21	3	(3)	基礎介護力の向上	①基礎介護知識・技術を特養さつき苑の研修に参加し継続・実践する。重度化対応や根拠に基づくケアを実践する。	谷本 森 松枝 津野	計画 実施								食事ケア研修	排泄ケア研修	トランスファー研修		認知症ケア研修	効果測定	基礎介護力が向上する効果測定で全員60点以上取る	B	計画どおり実施できたが効果測定はできていない	
22				②外部研修への計画的参加。	谷本 森	計画 実施			リンパドレナージュ研修	新任職員研修	高齢者ケア研究会 全道老人福祉施設研究発表大会	B	ほぼ計画通りできた					高齢者ケア研究会参加	上川ユニットケア・サテライトケア研修会	研修に参加し、職場に1つ以上還元し、業務改善やケアを向上する	B	計画どおり実施できた	
23	3	(3)	新任職員・現任職員の育成	①目標を明確にし、研修とOJT内容の個人差が内容に統一し、安心して仕事ができるよう新人職員を育成する	谷本 森 松枝 津野	計画 実施		1週間毎の面談	2週間毎の面談	面談	面談	面談	B	計画通りできた					面談	新任職員が辞めることなく成長する	B	目標どおり実施できた	
24				②現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感が持てるように育成する	谷本 森	計画 実施	役割の確認		面談			C	仕事のやりがいまでは見だせていない	基礎介護研修	基礎介護研修面談	基礎介護研修		基礎介護研修		現任職員が辞めることなく、成長できる	B	目標どおり実施できた	
25				③指導者のスキルを高め、自信を持って指導できる能力を持つ	谷本 森	計画 実施	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	C	行っても毎月実施できていない	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	リーダー研修	途中で継続できていない
26	4	(3)	働きがいがあり、チームワークの高い職場の風土づくり	①マナー・モラルの啓発を継続し、よい組織風土を作る	谷本 森 松枝 津野	計画 実施	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	よいあいさつ運動	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	B	計画通りできた	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	よいあいさつ運動	マナーモラル啓発	マナーモラル啓発	満足度調査で、マナーやモラルが良いと評価を受ける	B	目標どおり実施できた
27				②業務改善を迅速に行い、ストレスに耐えられる職場を作る	谷本 森 松枝 津野	計画 実施	調理環境の見直し	委員会による見直し	オペレーションの見直し	環境の見直し			B	計画通りできた	オペレーションの見直し	環境の見直し			物品の見直し		速やかに業務改善が図られ、職員がストレスを感じない	B	目標どおり実施できた
28				③有給休暇と連休の取得を推進し、職員満足を図る	谷本 森	計画 実施	連休の取得					A	計画通りできた								常勤職員全員が5連休を取得できる	C	課全体では退職者が出てしまい、全員の取得はできなかった
29	5	(4)	家族・住民との協働と地域への貢献	①地域の行事や奉仕活動に参加し地域貢献を図る	谷本 坂口	計画 実施	クリーン作戦		円山幼稚園運動会	盆踊り北野神社祭		B	計画通りできた	学芸会クリーン作戦				北野神社初詣	年間報告リングブル寄贈	例年の行事参加の継続100%	C	目標が甘くできなかった	
30				②施設と住民ボランティアとの関係性を大切にし、意見交換や実施報告等の機会を設ける	坂口 北川	計画 実施	虹の会絵画掛け替え	一斉清掃	花壇整備花植え				B	ほぼ計画通りできた	ボランティアの会				虹の会絵画掛け替え	友の会総会での報告会	ボランティアが減らず、体制を維持できる(開節業務)	B	目標どおり実施できた
31				③2ヶ月に一回の運営推進会議開催と、家族会・めくもり友の会・行政機関等の、第三者からの意見や要望を取り入れた健全で地域に根付いた施設運営	谷本 森	計画 実施		運営推進会議	家族会総会	運営推進会議	友の会勉強会・食事会	運営推進会議	B	計画通りできた		運営推進会議	友の会忘年会 家族会忘年会	運営推進会議	運営推進会議 友の会総会	計画通りの実施ができる	B	目標どおり実施できた	
32	6	(5)	業務の標準化	①従来マニュアルの見直しと整備	谷本 森 松枝 津野	計画 実施	従来マニュアルの確認	マニュアルの整備				D	着手できていない								マニュアルを整備し常に活動できるものにする(5つは整備できる)	D	着手できなかった
33				②業務を見直し、標準化を行うと共に、業務分担を明確にする	谷本 森 松枝 津野	計画 実施	業務の確認	役割分担				B	計画通りできた	業務の確認							業務を標準化し、適正な役割分担ができる	B	目標どおり実施できた
34	6	(6)	適正収益の確保	①ケアの質向上により入院者を減少させ、目標稼働率を毎月達成する(目標稼働率98%)	谷本 森	計画 実施	業績管理により分析(毎月)	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	上期報告	A	入院者も出ず、目標を上回った	業績管理により分析(毎月)	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	体調不良者・入院者の分析	年間報告	稼働率目標達成	C	後半に入院が多く、目標を達成できなかった
35				②全職員がコスト意識を持ち、消耗品費や光熱費、暖房費の節約に努める(前年度比-3%)	谷本 森	計画 実施	発注品・方法の見直し	オムツ使用者の見直し				上半期報告	B	計画通りできた	コスト見直し					年間報告	オムツ代 前年度比-3%	C	目標が甘く、十分にできなかった

平成25年度 小規模多機能ホームぬくもりの家えん事業報告

1. 総括

今年度は重点目標を昨年度より活動内容を充実させ、より具体的にして以下の6つに取り組んだ。

1) 根拠に基づいた安全と安心を保障するケアの提供

基礎介護力を高め、より利用者にあわせた介護を提供出来るよう、特養さつき苑の基礎介護研修に参加し、基本項目である食事・入浴・排泄・移乗・認知症ケアについて学んだ。各個人に応じたケアを実施出来るようより専門的な知識を学ぶことが出来た。

平成24年度より設立したリスクマネジメント委員会にて、毎月の事故発生だけでなく日常のヒヤリハットについても検討を行ったが事故件数としては平成24年度20件に対し平成25年度は36件と倍近い件数となった。中でも、内服薬に関する事故が14件と3割を占めておりチェック体制の強化、改善を図りたい。

2) 利用者の心身機能の維持向上と自立支援を目指し、個々に合わせた生活環境の提供

アクティビティ委員会を中心に、平成24年度より実施している月に一度のおやつづくりと昼食づくりは、今年度も継続して実施した。昼食づくりを行う中で機能維持、向上を図り、在宅生活の継続につなげていきたい。

機能訓練としてはe-ballを集団体操に導入し2年が経過した。効果測定のため握力測定・生活のしやすさについてはアンケートを行った。結果は明らかな向上は見られなかったが、維持されていた方が14名中9名、低下した5名も大きな低下はみらず維持できていると評価した。また、体操前の腹式呼吸と唄を歌うことと、昼食前の嚥下体操を毎回実施することで、呼吸機能が高められ、食事中的むせ込みが減少しており、利用者は誤嚥性の肺炎は起こしていない。

また、主治医・訪問リハビリとの連携を図り、看護師を中心に個別のリハビリテーションを4名の方に実施した。実施者については、要介護度が維持されている。

今年度も自宅での口腔ケアや水分量を把握し、全員に継続して家族との協力を得て、自宅でも実施することが出来た。

事業所内の環境については、担当が中心となり観葉植物や季節を感じられるよう工夫し、地域の方の絵画を宿泊室に掛けることで改善が図られた。

3) 知識・技術の専門性を持ち共に高め合い主体性を持ったチームと働きがいのある生活環境の提供

法人全体として取り組んでいる面談制度を通じ、職員の不安や悩みを知ることが出来た。また、毎月全体会議でケアやスタッフ間・利用者に対するの対応などマナー・モラルについて各スタッフより課題提起することで、意識が高まったと感じる。

職員満足を図るため5連休取得を計画していたが、退職者がおり全員の取得とはならなかった。

また、介護専門員試験に3名の職員がチャレンジし1名が合格した。職員自身のスキルアップのため、今後もサポートしていきたい。

4) 家族・地域と協働した施設運営を行う

昨年同様、地域での行事には多く参加し、ご利用者・ご家族と共に楽しむことが出来た。北野獅子舞、北野小学校学芸会、神社への初詣と地域に出掛けての交流機会もあり、地域の中で暮らす利用者にとって触れあえる良い機会となった。

5) 業務の効率化と標準化を図る

マニュアル整備の着手が出来なかった。10月からリーダー配置されオペレーションシート（業務担当表）ができ業務の改善が図られた。

6) 適正利益の確保

コスト管理においては、昨年までは部門でのコスト管理であったが、消耗品の一部を小規模で管理し、コストを把握に努めた。

登録者数は今年度、月平均登録者数18名と昨年より増えてはいるが目標の21名を達成することは出来なかった。

2. 次年度に向けて

平成26年度は記録を週1回確認（ダブルチェック）にて状態の変化を読み取り、早めの対応に取り組み状態悪化を防いでいきたい。又、毎年行っている基礎介護研修を現任職員が講師となり実施していく。研修を企画・実施することで、より現状に即した安心・安全な介護技術や重度化に対応できる技術を提供出来るよう取り組みたい。

私たちが支援していることは、根拠に基づくケアであることを意識し取り組んで行くため、アセスメント様式の見直し、困難事例のカンファレンスの即時開催、利用者の思いを反映したケアプランの作成にチームとして実施していきたい。

身体機能の維持向上と、魅力ある事業所を作るため、集団体操やレクリエーションを継続して行うと共に、学習療法を取り入れ、魅力ある事業所づくりを行いたい。機能維持・向上を目指して、えんでの取り組みをご家族と共に共有し、今後も共に支援する立場として相談・協力し、住み慣れた自宅での生活を継続出来るようにしたい。

ケアプランに関しては、アセスメントの変更を検討し、課題となっている記録との連動を図りたい。来年度も、より利用者の方々の機能維持がされ、在宅生活が継続され楽しいと感じられる時間をつくっていききたい。

3. 運営状況・統計資料香典

<事業活動の統計・データ>

(1) 小規模多機能ホーム会議開催状況

月 日	議 題 内 容	出席者
4月1日	ケースカンファレンス・レクレーションについて・事故の検討・口腔ケア取り組み状況・満足度調査結果について	8名
5月1日	ケースカンファレンス・レクレーションについて 事故の検討・事業計画と活動計画・モニタリングについて	9名
6月3日	ケースカンファレンス・事故の検討・基礎介護研修(脱水)・リスクマネジメント研修	9名
7月1日	ケースカンファレンス・レクレーションについて・基礎介護研修(パーキンソン氏病)	9名
8月2日	ケースカンファレンス・レクレーションについて・基礎介護研修(褥創)・業務について	9名
9月2日	ケースカンファレンス・レクレーションについて・事故の検討・基礎介護研修(腹部大動脈瘤)個別リハビリについて・水分管理について・オペレーションについて	9名
10月1日	ケースカンファレンス・レクレーションについて・事故の検討・口腔ケア研修・ホームヘルパー心得・スクリーニング結果について	9名
11月4日	ケースカンファレンス・レクレーションについて・褥創について・事故の検討・水分について・オペレーションについて・手洗いチェック・口腔ケア評価について	9名
12月2日	ケースカンファレンス・褥創について・事故の検討・個別リハビリ・オペレーションについて・総合記録シートについて・個別リハビリ評価・業務日誌について	8名
1月6日	ケースカンファレンス・レクレーションについて・オペレーションについて・基礎介護研修(腹水)・外部評価について	7名
2月4日	ケースカンファレンス・レクレーションについて・事故の検討・業務内容の変更について・満足度調査	9名
3月3日	ケースカンファレンス・レクレーションについて・事故の検討・水分量について・褥創について・個別リハビリ評価・次年度担当について	9名

(2) 小規模多機能ホーム行事活動報告

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
5/1	開設記念日	てくてく	佐久間
5/10	江丹別ドライブ	江丹別	成田・寒河江・能登
5/16	北海道知事来訪	小規模・てくてく	能登
5/23	花見	鷹栖・春光台近郊	柳原・成田・佐藤
6/2	北野保育園運動会見学	北野保育園	能登・宗・坂林
6/8	手話の会訪問	てくてく	
6/16	円山幼稚園運動会見学	円山幼稚園	柳原・寒河江・能登
6/17	セラピードッグ	てくてく	佐久間
6/28	買い物ツアー	イオン永山・しまむら	中原・寒河江・小野
7/5	大正琴（大正琴の会）披露	てくてく	中原・坂林・寒河江
7/14	さつき祭	さつき苑	柳原・宗・坂林
7/26	ジンギスカンパーティー	てくてく	宗・寒河江・佐久間
8/3	北野獅子舞	えん駐車場	佐久間・中原
8/8	鷹栖町戦没者慰霊祭	鷹栖町慰霊塔前	坂林・寒河江・小野
8/9	夕涼み会	えん駐車場	能登・佐藤
8/20	流しそうめん	小規模リビング・ てくてく	佐久間・柳原・ 寒河江
8/21~22	団扇作り	小規模	佐久間・佐藤
9/12	収穫祭	てくてく	佐久間・坂林
9/15	長生き感謝祭	メロディーホール	能登・宗
9/18	買い物ツアー	旭川西店イオン	柳原・宗
10/9・10	キャリアウィーク (鷹栖中学校)	小規模内	能登
10/17	避難訓練	てくてく	松枝
10/18	紅葉ツアー	江丹別	小野・能登
10/25	お茶会	てくてく	
10/27	北野小学校学芸会見学	北野小学校	佐久間
10/27	皿回し	てくてく	曲芸クラブ・ 老人舞踊クラブ
10/30	二胡演奏会	てくてく	谷本
11/30	書道	小規模	寒河江
12/3~6	ボーリング大会	小規模	寒河江・能登
12/25	クリスマス会	てくてく	松枝・坂林

12/27	忘年会	てくてく	佐久間・柳原
1/4	初詣	鷹栖神社	佐久間・寒河江・坂林
2/12・15	染め物づくり	小規模リビング	寒河江・中原
2/3	節分	はなりリビング	佐久間
3/3	ひな祭り	小規模リビング	小野・松枝

(3) 手作りおやつ

月	内 容
4/26	おはぎ
5/24	柏餅
6/26	ミルクレープ
7/26	牛乳寒天
8/23	フルーツパフェ
9/28	さつまいも蒸しパン
10/26	かぼちゃのムースタルト
11/8	芋団子
1/24	きなこ飴
2/28	豆腐入りみたらし団子
3/28	苺ホットケーキ

12月に関しては、地域での風邪の流行があり中止とした。

(4) 昼食づくり

月	内 容
4/30	オムライス・サラダ・果物
5/22	カレーライス
6/13	親子丼
7/28	ジンギスカン・おにぎり・漬け物
8/24	流しそうめん・稲荷・和え物・果物
9/13	筑前煮
10/19	カレー・みかんヨーグルト
11/10	親子丼・味噌汁
12/9	シチュー・フルーツ
2/5	にゅうめん・ミニおにぎり
3/27	シチュー・フルーツ

1月については、地域での風邪の流行があり中止とした。

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名

小規模多機能ホーム めくもりの家 えん

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待通りの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容	
1	(1)	生命と尊厳を守り、安心して暮らせる生活の保障	①身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う	能登 佐久間	計画 実施	接遇マナー・モラル研修 実施	身体拘束・虐待予防研修(谷本) 翌月実施				B	計画通り実施出来た		身体拘束・虐待予防研修(谷本) 未実施					身体拘束・虐待ゼロの継続	B	身体拘束・虐待は無いが、11月に予定していた研修が実施できていない。	
2			②事故を未然に防ぐ取り組みを行い、事故及び事故の再発を防ぐ	柳原 坂林	計画 実施	KYT研修 未実施	救命救急研修 実施	リスクマネジメント研修 未実施	KYT研修 未実施	KYT研修 未実施	KYT研修 未実施	C	他の研修が入り、実施が出来ていない。	KYT研修 未実施	KYT研修 未実施	KYT研修 未実施	KYT研修 未実施	KYT研修 未実施	事故前年度比-10%	C	リスクマネジメント委員会にて検討されていたが、事故件数は増加。 H24年20件。H25年36件	
3	(1)	リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり	①事故発生時の検証、分析を迅速かつ的確に実施し再発防止に努める	柳原 坂林 小野	計画 実施	毎月の会議での事故報告・分析 実施	毎月の会議での事故報告・分析 実施	毎月の会議での事故報告・分析 実施	毎月の会議での事故報告・分析 実施	毎月の会議での事故報告・分析 実施	委員会活動報告 実施	C	報告・分析は実施しているが、昨年より減少はしていない。	リスクマネジメント研修 未実施	毎月の会議での事故報告・分析 実施	毎月の会議での事故報告・分析 実施	毎月の会議での事故報告・分析 実施	毎月の会議での事故報告・分析 実施	各委員会活動報告 実施	事故前年度比-10%	C	リスクマネジメント委員会にて検討されていたが、事故件数は増加。 H24年20件。H25年36件
4			②実状に即した救命救急講習会を行い、緊急時に備える	能登 小野	計画 実施	緊急時対応チェックリスト確認 未実施	救命救急研修 実施済					B	ほぼ計画通り実施出来た	救命救急研修 未実施	緊急時対応チェックリスト確認 未実施					緊急時に適切な対応ができるチェックリストで80%が○	C	小規模会議にて緊急時対応のミニ研修は実施しているが、救命救急研修は1回のみの実施。
5			③地域との連携による緊急時(火災・行方不明)の体制づくり	谷本 能登	計画 実施	緊急時物品の点検 実施	避難訓練実施要綱作成連絡網確認 一部実施	避難訓練実施反省会 未実施			ボランティア集会 未実施	C	避難訓練等実施出来ていない。	連絡網確認 実施			緊急時物品の点検 未実施	ボランティア集会 実施		地域との協働による体制を作り、実践できる。	C	避難訓練は実施したが、地域との共同での訓練は実施できていない。
6	(1)	根拠に基づいたケアサービスの提供	①ケアプランに基づいたケアサービスの提供と観察を行う	能登 谷本	計画 実施	モニタリングカンファレンスダブルチェック 一部実施	モニタリングカンファレンスダブルチェック 一部実施	モニタリングカンファレンスダブルチェック 一部実施	モニタリングカンファレンスダブルチェック 一部実施	モニタリングカンファレンスダブルチェック 一部実施	モニタリングカンファレンスダブルチェック 一部実施	C	ケアプランと記録との連動が出来ていない	モニタリングカンファレンスダブルチェック 一部実施	モニタリングカンファレンスダブルチェック 実施済	モニタリングカンファレンスダブルチェック 実施済	モニタリングカンファレンスダブルチェック 実施済	モニタリングカンファレンスダブルチェック 実施	モニタリングカンファレンスダブルチェック 実施	ケアプランと記録との連動が出来る	C	ケアプランと記録との連動が出来ていない
7			②ケアシステムを見直し、ケアプラン作成とケアプランに基づく統一したケアの実践を行う	能登 谷本	計画 実施	ケアシステム・方法見直し 一部実施	モニタリング 一部実施	モニタリング 一部実施	モニタリング 一部実施	モニタリング 一部実施	モニタリング 一部実施	C	ケアプランの新規作成は出来ているが、変更が遅れている	モニタリング 一部実施	モニタリング 一部実施	モニタリング 一部実施	モニタリング 一部実施	モニタリング 実施	モニタリング 実施	ケアプランの新規作成・変更が遅延なくできている	C	ケアプランの新規作成は出来ているが、変更が遅れている。
8	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	①日々の健康管理を適切に行い、脱水症、低栄養を予防する。(水分量・必要栄養量の確認と把握)	小野 能登	計画 実施	リスク者リストアップ 実施	水分表・食事形態見直し 実施	脱水予防研修 実施	疾病別対応研修(パーキンソン氏病) 実施	疾病別対応研修(腹部大動脈瘤) 実施		B	脱水による点滴実施者はいたが、ケア内容の統一により脱水は改善。研修も計画通り実施出来ている	水分表・食事形態見直し 実施			疾病別対応研修(腹水) 実施	水分表・食事形態見直し 実施		脱水症・低栄養による入院者がゼロ	B	脱水による点滴実施者はいたが、ケア内容の統一により脱水は改善。研修も計画通り実施出来ている
9			②褥瘡の予防、早期発見、発症時の適切なケアを実践する	小野 能登 佐久間 成田	計画 実施	リスク者のリストアップ 実施	会議での確認・カンファレンス(毎月) 未実施	会議での確認・カンファレンス(毎月) 実施	会議での確認・カンファレンス(毎月)・予備知識研修 実施	半期の評価 未実施		C	褥瘡発症者があり、改善に向けてケア内容を変更し改善	会議での確認・カンファレンス(毎月) 実施	会議での確認・カンファレンス(毎月) 実施	会議での確認・カンファレンス(毎月) 実施	会議での確認・カンファレンス(毎月) 実施	会議での確認・カンファレンス(毎月) 実施	年間評価 実施	褥瘡発症者ゼロ	B	褥瘡発症者があり、改善に向けてケア内容を変更し改善。後期での新たな褥瘡発症者はなし。
10			③看護職員・介護職員・栄養士・調理員の連携を図り、安全且つ適切なケアを提供する	小野 能登 佐久間	計画 実施	カンファレンス 未実施	カンファレンス 未実施	食事形態調理方法見直し 一部実施	カンファレンス 一部実施	カンファレンス 実施	カンファレンス 実施	B	長事摂取量減少者の検討は行い、改善している	カンファレンス 実施	食事形態調理方法見直し 一部実施	カンファレンス 一部実施	カンファレンス 一部実施	カンファレンス 一部実施	カンファレンス 一部実施	脱水症・低栄養による入院者がゼロ	B	食事摂取量減少者の検討は行い、改善している
11			④便秘を予防し下剤を減らす取り組みを計画、実践する	小野 能登 佐久間	計画 実施		下剤使用者把握 未実施	実施開始 下剤使用者把握		モニタリング 未実施		B	水分量増と委こはん導入により、泊まり継続者は改善されている	モニタリング 未実施			モニタリング 未実施	モニタリング 未実施	大腸刺激性下剤使用者を1名減らす	C	水分量増と委こはん導入により、泊まり継続者は排便間隔は改善されてきているが、刺激性下剤使用者減っていない	
12			⑤口腔ケアと摂食障害者への適切なケアの実践	成田 小野	計画 実施	個別計画書作成 未実施		口腔ケア研修(職員) 10月に実施			半期の評価 未実施	C	泊まり者への支援は出来ているが自宅での取り組みは不十分	口腔ケア研修実施 未実施		口腔ケアアンケート実施 1月実施	アンケート実施 未実施		年間評価 実施	就寝時前の口腔ケア実施と就寝時に義歯を外すことが出来る全員、口腔摂取ができる	C	泊まり者への支援は出来ているが自宅での取り組みは不十分
13	(1)	感染症の予防	①感染症対策委員会と連携しながら、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザの予防に努め集団感染0件を目標とする(感染症対策委員会)	小野 能登	計画 実施					感染症予防研修(法人) 実施		B	計画通り実施出来た	感染症対策確認加温器設置 実施	インフルエンザ予防接種 実施済			年間報告 実施	感染症集団感染ゼロ	B	計画通り実施出来た	
14	(1)	安全で美味しく楽しい食事の提供	①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供する(栄養士・給食担当・感染症対策委員会)	佐久間 能登	計画 実施		食中毒予防研修(法人) 未実施	給食会議での確認(毎月) 実施	給食会議での確認(毎月) 実施	給食会議での確認(毎月) 実施		B	計画通り実施出来た	給食会議での確認(毎月) 実施	給食会議での確認(毎月) 実施	給食会議での確認(毎月) 実施	給食会議での確認(毎月) 実施	給食会議での確認(毎月) 実施	1年間のモニタリング 実施	食中毒感染者ゼロ		計画通り実施出来た
15			②摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案、実践	佐久間 能登	計画 実施	食事形態見直し 対象者無し	食事ケア研修(調理) 対象者無し	ゼリー食・ソフト食 実施 対象者無し	ゼリー食・ソフト食 実施 対象者無し	ゼリー食・ソフト食 実施 対象者無し	モニタリング 未実施	D	対象者がなく未実施	食事形態見直し 対象者無し	ゼリー食・ソフト食 実施 対象者無し	ゼリー食・ソフト食 実施 対象者無し	ゼリー食・ソフト食 実施 対象者無し	ゼリー食・ソフト食 実施 対象者無し	ゼリー食・ソフト食 実施 対象者無し	食事形態の多様化により、全員口腔摂取ができている	D	対象者がなく未実施
16			③利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画、実施(アクティビティ委員会:給食担当)	佐久間 成田 能登	計画 実施	出前食嗜好調査 実施	開設記念こどもの日憲法記念日 実施	買い物外食 実施	海の日 実施	お盆流しそうめん 実施	敬老の日秋分の日 実施	B	計画通り実施出来た	体育の日出前の日 実施	文化の日勤労感謝の日 実施	クリスマス忘年会天皇誕生日 実施	おせち料理成人の日 実施	即方建国記念日満足度調査 実施	ひな祭り春分の日満足度調査 実施	満足度調査を実施し、食事に関して80%が良いの評価	B	計画通り実施でき、満足度調査でも80%が良いとの評価だった。
17	(2)	心身の機能低下防止と活動の活性化	①個別リハビリ・集団リハビリを実施し心身機能低下防止を図る(アクティビティ委員会)	小野 佐久間 寒河	計画 実施	計画作成 実施	モニタリング 実施	モニタリング 実施	モニタリング 実施	モニタリング 実施	モニタリング 実施	B	計画通り実施出来た	体力測定9月までのモニタリング 11月実施		12月までのモニタリング 実施		1年間のモニタリング 実施	介護度の維持が80%	B	e-ball評価にて握力維持できているため機能低下は防止できていると考えられるが、介護度は低下している。 1. 91→2. 25	
18			②利用者の喜びや楽しみにつながる役割づくりとレクリエーションや行事の計画、実施(アクティビティ委員会)	佐久間 佐藤	計画 実施		開設記念パーティー 実施	買い物運動会見学 実施	さつき祭 実施	北野神社祭夕涼み会 実施	買い物収穫祭 実施	B	計画通り実施出来た	紅葉狩り学芸会見学 実施	日帰り温泉 未実施	クリスマス会餅つき&忘年会 実施済	初詣 実施	豆まき満足度調査 実施	ひな祭り年間報告 実施	毎月のレクリエーションを実施満足度調査で80%が良いの評価	B	計画通り実施出来た。満足度調査にて80%通いと評価だった。

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

印字
(事業
所)名

小規模多機能ホーム めくもりの家 えん

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容	
19	(2)	過ごしやすい環境づくり	①共有スペースの整理整頓と、植物に囲まれ季節感と潤いのある生活環境づくり(環境委員会)	中原宗	計画 実施	春のしつらえ 実施	夏の準備 実施	夏のしつらえ 実施	秋の準備 実施	秋のしつらえ 実施	B	計画通り実施出来た	冬の準備 実施	冬のしつらえ 実施			満足度調査 実施	年間報告	満足度評価で80%が良いの評価	B	計画通り実施出来た	
20			②利用者の状態に合わせ、個別に過ごせる空間や、季節感を全ての空間で作出す(担当・環境委員会)	中原宗	計画 実施		居室の環境づくり 実施	チェック 実施	居室の環境づくり 実施	チェック 実施	B	計画通り実施出来た	居室の環境づくり 実施	チェック 実施	居室の環境づくり 実施済	チェック 実施済	満足度調査 実施	年間報告	個々に合わせたしつらえと、整理整頓が常にされている	B	計画通り実施出来た	
21	(2)	楽しみや喜びのある暮らしづくり	①利用者個々に合わせた役割づくりを行う	佐久間寒河江	計画 実施	手作り昼食・おやつ(毎月) 実施	できることできないことの確認 未実施	役割を計画 未実施	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	C	手作りおやつは毎月実施出来ているが個々の役割作りには至っていない	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	役割の実践 未実施	評価	利用者の役割ができる	C	手作りおやつは毎月実施出来ている。昼食時の盛りつけなども役割として実施しているが定着まで至っていない。	
22			②季節や天候に合わせた行事やアクティビティの計画・実施	佐久間寒河江 佐藤	計画 実施		開設記念パーティー 実施	買い物運動会見学 実施	さつき祭 実施	北野神社祭夕涼み会 実施	B	計画通り実施出来た	紅葉狩り学芸会見学 実施	日帰り温泉 未実施	クリスマス会餅つき&忘年会 実施	初詣 実施	豆まき満足度調査 実施	ひな祭り年間報告 実施	毎月のレクリエーションを実施 満足度調査で80%が良いの評価	B	計画通り実施できた。満足度調査で80%は良いとの評価。	
23			③地域の方々やご家族と共に楽しむことができる	佐久間寒河江 佐藤	計画 実施		一斉清掃 実施	買い物 実施	めくもりの会と交流会 実施		B	計画通り実施出来た	日帰り温泉 未実施	餅つき&忘年会 実施		ボランティア茶話会 未実施		計画どおり実施できる 各企画に30%以上の方が参加する	B	実施出来ていない。		
24	(3)	基礎介護力の向上	①基礎介護知識・技術を特養さつき苑の研修に参加し継続・実践する。重度化対応や根拠に基づくケアを実践する。 ②外部研修への計画的参加。	谷本能登	計画 実施						B	計画通り実施出来た	食事ケア研修 実施	排泄ケア研修 実施	トランスファー研修 実施		認知症ケア研修 実施	効果測定	基礎介護力が向上する 効果測定で全員60点以上取る	B	計画通り実施出来ている	
25				谷本能登	計画 実施		リンパドレナージ研修 未参加	全道老人福祉施設研究発表大会 能登・成田出席			B	ほぼ計画通り実施出来た	介護技術研修(佐藤) 未参加	学習療法士研修(成田・柳原) 実施	認知症実践者研修(成田) 未実施		高齢者ケア研究会参加 未参加		研修に参加し、職場に1つ以上還元し、業務改善やケアを向上する	C	計画した研修に参加出来ていない。	
26	(3)	新任職員・現任職員の育成	①目標を明確にし、研修とOJT内容の個人差が内容に統一し、安心して仕事ができるよう新人職員を育成する	能登谷本	計画 実施	1週間毎の面談OJT 実施	1週間毎の面談 対象者無し	2週間毎の面談 対象者無し	面談 対象者無し	面談 対象者無し	D	対象者無しのため未実施						面談 実施	新任職員が辞めることなく成長する	B	実施出来た。	
27			②現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感が持てるように育成する	能登谷本	計画 実施	役割の確認 未実施		面談 実施			C	退職者1名	基礎介護研修 実施	基礎介護研修面談 実施 面談未実施	基礎介護研修 実施		基礎介護研修 実施		現任職員が辞めることなく、成長できる	C	退職者が2名。	
28			③指導者のスキルを高め、自信を持って指導できる能力を持つ	谷本	計画 実施	リーダー研修 実施	リーダー研修 実施	リーダー研修 未実施	リーダー研修 未実施	リーダー研修 未実施	C	行うも毎月実施出来ていない	リーダー研修 未実施	リーダー研修 未実施	リーダー研修 実施	リーダー研修 実施	リーダー研修 実施	リーダー研修 実施	リーダーが自信を持って研修担当ができるようになる	C	研修が実施出来ていない。	
29	(3)	働きがいがあり、チームワークの高い職場の風土づくり	①マナー・モラルの啓発を継続し、よい組織風土を作る	谷本能登	計画 実施	マナーモラル啓発(谷本) 未実施	マナーモラル啓発(森) 実施	よいあいさつ運動 実施	マナーモラル啓発(能登) 未実施	マナーモラル啓発(佐久間) 能登実施	B	計画通り実施出来た	マナーモラル啓発(中原) 未実施	マナーモラル啓発(柳原) 未実施	マナーモラル啓発(佐藤) 柳原実施	よいあいさつ運動 実施済	マナーモラル啓発(小野) 実施	マナーモラル啓発(坂林) 実施	満足度調査で、マナーやモラルが良いと評価を受ける	B	計画通り実施出来ている	
30			②業務改善を迅速に行い、ストレスにならない職場を作る	谷本能登 佐久間 成田	計画 実施	調理環境の見直し 未実施	委員会による見直し 未実施	オペレーションの見直し 未実施	環境の見直し 未実施	物品の見直し 未実施	D	業務改善が速やかに 行えていない	オペレーションの見直し 実施	環境の見直し 実施			物品の見直し 実施		速やかに業務改善が図られ、職員がストレスを感じない	A	リーダー配置によりオペレーション等の業務改善が図れている。	
31			③有給休暇と連休の取得を推進し、職員満足を図る	谷本能登	計画 実施	連休の取得 希望確認		対象者無し 未実施	対象者無し 未実施	実施 実施	B	ほぼ計画通り実施出来た					一部実施		常勤職員全員が5連休を取得できる	C	退職者がおり、全員の取得は出来なかった。	
32	(4)	家族・住民との協働と地域への貢献	①地域の行事や奉仕活動に参加し地域貢献を図る	能登谷本	計画 実施	クリーン作戦 実施		円山幼稚園運動会 実施		盆踊り北野神社祭 実施	B	計画通り実施出来た	学芸会クリーン作戦 実施				北野神社初詣 実施	年間報告リングプル寄贈 未実施	例年の行事参加の継続100%	B	計画通り実施出来ている	
33			②事業所と住民ボランティアとの関係性を大切にし、意見交換や実施報告等の機会を設ける	能登谷本	計画 実施	虹の会絵画掛け替え 実施	一斉清掃 実施	花壇整備花植え 実施			B	ほぼ計画通り実施出来た	虹の会絵画掛け替え 未実施					友の会総会での報告会 実施	ボランティアが減らず、体制を維持できる(間接業務)	B	ほぼ計画通り実施出来ている	
34			③2ヶ月に一回の運営推進会議開催と、家族会・めくもりの会・行政機関等の、第三者からの意見や要望を取り入れた健全で地域に根付いた施設運営	能登谷本	計画 実施		運営推進会議 実施	家族会総会 実施	運営推進会議 実施	友の会勉強会・食事会 実施	B	計画通り実施出来た		運営推進会議 実施	友の会忘年会 実施	運営推進会議 実施		運営推進会議友の会総会 実施	計画通りの実施ができる	B	計画通り実施出来ている	
35	(5)	業務の標準化	①従来マニュアルの見直しと整備	谷本能登 佐久間	計画 実施	従来マニュアルの確認 未実施	マニュアルの整備 未実施				D	着手出来ていない							マニュアルを整備し常に活動できるものにする(5つは整備できる)	D	着手できていない	
36			②業務を見直し、標準化を行うと共に、業務分担を明確にする	谷本能登 佐久間	計画 実施	業務の確認 未実施	役割分担 未実施				C	業務の見直し不十分	業務の確認 未実施							業務を標準化し、適正な役割分担ができる	B	リーダー配置によりオペレーション等の業務改善が図れている。

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門
(事業
所)名

小規模多機能ホーム めくもりの家 えん

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点 目標 との連 動	取組み事項	取組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	評価内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (達成目標)	最終 評価	評価内容
						計画	実績	計画	実績	計画	実績			計画	実績	計画	実績	計画	実績			
37	(6)	適正収益の確保	①事業所の特性と特徴を生かし、地域の方々により認識され必要とされる事業所づくりを行う	谷本 森	計画	業績管理により分析(毎月)	業績管理により分析(毎月)	業績管理により分析(毎月)	業績管理による分析(毎月) 啓発活動計画	業績管理による分析(毎月) 地域への啓発活動	上期報告	C	地域への啓発活動が遅れている	業績管理による分析(毎月) 地域への啓発活動	業績管理による分析(毎月) 地域への啓発活動	業績管理による分析(毎月) 地域への啓発活動	業績管理による分析(毎月) 地域への啓発活動	業績管理による分析(毎月) 地域への啓発活動	年間報告	稼働率目標達成	C	10月より稼働率改善見られたが、年間平均は18名と目標に達していない。
					実施	実施	実施	実施	研修実施	分析実施済 地域啓発未実施	実施		分析実施 地域啓発11月～ 実施	分析実施 地域啓発未実施	分析実施 地域啓発未実施	分析実施 地域啓発未実施	分析実施 地域啓発未実施					
38			②営業活動を行い利用者増大に努め、目標登録者を毎月達成する(目標登録者数19人)	能登 佐久 間 成田	計画				計画立案	地域での啓発活動	上期報告	C	地域への啓発活動は遅れているが、登録数は増加している	地域での啓発活動	地域での啓発活動	地域での啓発活動	地域での啓発活動	地域での啓発活動	年間報告	稼働率目標達成	C	10月より稼働率改善見られたが、年間平均は18名と目標に達していない。
					実施	登録数15名	登録数15名	登録数15名	実施済 登録数16名	未実施 登録数17名	未実施 登録数19名					地域啓発は11月 から実施 登録数20名	登録者20名	登録者21名	登録者21名	登録者20名	登録者18名	
39			③全職員がコスト意識を持ち、消耗品費や光熱費、暖房費の節約に努める(前年度比-3%)	能登 佐久 間 成田	計画	発注品・方法の見直し	オムツ使用者の見直し				上半期報告	C	小規模内での評価が不十分	コスト見直し					年間報告	前年度比-3%	C	小規模内にて物品管理を後期より開始し評価不十分。
					実施	実施	実施	実施	実施	実施	未実施					未実施	未実施	実施	実施	実施		

平成 25 年度 法人本部（給食部門）事業報告

1. 総括

H25 年度は（1）美味しく楽しめる食事の提供、（2）衛生管理の徹底、（3）各事業所に合わせた食事の提供の実施、（4）関係職種との連携機能の強化の 4 つを重点目標とし取り組んだ。

（1）美味しく楽しめる食事を提供するための取り組みとしては、嗜好調査や日々の利用者とのコミュニケーションを図り、より利用者の嗜好に沿った食事が提供できるよう取り組んだ。また、デイサービスにおいては毎月メニューのリクエストを聞き取り、食べたい料理を提供できるように利用日に合わせた献立の作成を実施した。

（2）衛生管理の徹底では厨房内の点検、食中毒予防研修の実施、委託業者との定期的なミーティングの実施により、より安全で安心な食事提供を心がけ食中毒を起こすことなく提供することができた。また、今年度はぬくもり家えんの調理業務を行うことにより、現状の把握と衛生の強化を行うことができた。

（3）各事業所に合わせた食事提供の実施では、日々の確認と給食会議の中で問題点を探り改善をおこなった。なごみの家グループホームでは今年度より玄米粥だけでなく、毎食昼食を麦飯、夕食を玄米御飯にする取り組みが実施された。ぬくもりの家えんでは 5 月よりソフト食の導入を行い、昼食と夕食を完全ソフト食で提供できるようになった。

（4）関係職種との連携機能の強化では、デイサービスと連携を取りバイキングや手作りおやつを提供した。また、各事業所と低栄養の利用者の情報交換をおこない栄養の改善が出来るよう食事形態や栄養摂取状況の確認をおこなうことができた。

2. 運営状況・統計資料

（1）平成 25 年度給食運営会議開催状況

～はびねす・なごみの家・ぬくもりの家えん～

月日	内容	参加者
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 4月12日（金）	① 5.6月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 在庫の確認についてのお願い ⑦ 食事満足度調査の結果について ⑧	副施設長 総務 1名 なごみ1名 えん1名 デイサービス1名 シダックス1名 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 5月10日（金）	① 6.7月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について	副施設長 えん1名 デイサービス1名 シダックス1名 栄養士

<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 6月7日(金)</p>	<p>① 7.8月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 献立のボリュームについて ⑥ お米の注文先の変更について</p>	<p>副施設長 なごみ1名 えん1名 デイサービス1名 シダックス1名 栄養士</p>
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 7月12日(金)</p>	<p>① 8.9月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつの実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 献立のボリュームの確認についての結果と今後の対応</p>	<p>副施設長 なごみ1名 えん1名 デイサービス1名 シダックス1名 栄養士</p>
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 8月6日(金) 議案書をもとに 議事録を作成</p>	<p>① 9.10月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について</p>	<p>未実施(資料配付のみ)</p>
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 9月13日(金)</p>	<p>① 10.11月の行事予定について ② デイサービス 手作りおやつ・ランチバイキング実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 食材の取り扱いについて</p>	<p>副施設長 なごみ1名 デイサービス1名 シダックス1名 栄養士</p>
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 10月11日(金)</p>	<p>① 11.12月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告 ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 食品の取り扱いについて</p>	<p>副施設長 えん1名 デイサービス1名 シダックス1名 栄養士</p>
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 11月8日(金)</p>	<p>① 12・1月の行事予定について ② デイサービス 手作りおやつ実施報告について ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告 ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 年末年始の食数報告について ⑦ 1月の献立について ⑧ 浅漬けの仕入れ先の変更について</p>	<p>副施設長 総務1名 なごみ1名 えん1名 シダックス1名 栄養士</p>
<p>デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 12月17日(火)</p>	<p>① 1・2月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング、手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告について ⑥ 日常の献立、食事について</p>	<p>副施設長 総務1名 なごみ1名 デイサービス1名 シダックス1名</p>

	⑦ 食材の変更について ⑧ 年末年始の食材の納品について ⑨ 手作りおやつの写真について	栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 1月10日(金)	① 2・3月の行事予定について ② デイサービス 忘年会、手作りおやつ・新年メニュー実施報告 ③ なごみの家 正月献立、手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 正月献立、手作りおやつ実施報告について ⑤ 日常の献立・食事について ⑦ 食材の変更実施後の評価について ⑧ ボイルベビー帆立の異物混入について	副施設長 総務1名 なごみ1名 えん1名 シダックス1名 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 2月14日(金)	① 3・4月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告について ⑤ 日常の献立・食事について ⑥ 日常の献立・食事について良かった事 ⑦ その他・満足度調査について	副施設長 総務 1名 えん 1名 なごみ 1名 デイサービス 2名 シダックス 1名 栄養士
デイサービス なごみの家 ぬくもりの家えん 3月14日(金) 議案書をもとに 議事録を作成	② 4・5月の行事予定について ② デイサービス ランチバイキング・手作りおやつ実施報告 ③ なごみの家 手作りおやつ実施報告について ④ ぬくもりの家えん 手作りおやつ実施報告について ⑤ 日常の献立・食事について ⑧ 食事満足度調査について	未実施(資料配付のみ)

(2) 給食関係修繕状況

月	修繕設備	整備・修繕先	費用(円)
5	デイサービス コンビオープンのフレームノット交換	北雄プランニング	0
1	デイサービス スチームコンベクション バーナー送風機交換	北雄プランニング	77,700
合 計			77,700

(3) 行事食実施状況

月	日	行事名	内容	金額(円)
4	15~17	デイ 手作りおやつ	ピザ	@50
	25~27	デイ 手作りおやつ	柏餅風蒸し菓子	@50
	19	デイ ランチバイキング	花見御膳	@293+15,000(イベント費)
	28	GHなごみ手作りおやつ	メープルカップケーキ	@52
	18	SHなごみ手作りおやつ	鬼まんじゅう	@52
	14	特養えん 手作りおやつ	どら焼き	@52

	26	小規模えん手作りおやつ	ぼたもち	行事費
5	8~9	デイ 手作りおやつ	こいのぼりロール	@50
	13~14	デイ 手作りおやつ	東京カステラ	@50
	25	デイ ランチバイキング	ジンギスカン	@293+15,000 (イベント費)
	26	GHなごみ手作りおやつ	南瓜入りカステラ	@52
	17	SHなごみ手作りおやつ	こいのぼりロール	@52
	12	特養えん 手作りおやつ	うぐいす餅	@52
	24	小規模えん手作りおやつ	かしわ餅	行事費
6	4~5	デイ 手作りおやつ	きなこあめ	@50
	21~22	デイ 手作りおやつ	蒸しパン	@50
	17	デイ ランチバイキング	ジンギスカン	@293+15,000 (イベント費)
	23	GHなごみ手作りおやつ	紅茶プリン	@52
	15	SHなごみ手作りおやつ	じゃがいもパンケーキ	@52
	9	特養えん 手作りおやつ	いもけんぴ	@52
	26	小規模えん手作りおやつ	ミルクレープ	行事費
7	11~12	デイ 手作りおやつ	プリンアラモード	@50
	15~16	デイ 手作りおやつ	宇治金時かき氷	@50
	9	デイ ランチバイキング	流しそうめん	@293+15,000 (イベント費)
		GHなごみ手作りおやつ		
	21	SHなごみ手作りおやつ	豆腐白玉	@52
	21	特養えん 手作りおやつ	わらびもち	@52
	26	小規模えん手作りおやつ	牛乳寒天	行事費
8	21~22	デイ 手作りおやつ	フルーツポンチ	@50
	7	デイ ランチバイキング	つけ麺色々バイキング	@293+15,000 (イベント費)
		GHなごみ手作りおやつ	中止	
	19	SHなごみ手作りおやつ	フルーツくずきり	@52
	11	特養えん 手作りおやつ	豆腐白玉ぜんざい	@52
	23	小規模えん手作りおやつ	フルーツパフェアイス	行事費
9	13~14	デイ 手作りおやつ	芋・南瓜団子	@50
	17~18	デイ 手作りおやつ	おはぎ	@50
	1	デイ 夏祭り	散らし寿司・天ぷら・他	@293+15,000 (イベント費)
	22	GHなごみ手作りおやつ	豆腐団子	@52
	17	SHなごみ手作りおやつ	たこ焼き	@52
	8	特養えん 手作りおやつ	スイートポテト	@52
	27	小規模えん手作りおやつ	さつまいも蒸しパン	行事費
10	7~8	デイ 手作りおやつ	南瓜まんじゅう	@50

	24~25	デイ 手作りおやつ	たこ焼き	@50
	17	デイ ランチバイキング	秋御膳	@293+15,000 (イベント費)
	27	GHなごみ手作りおやつ	もちりパンケーキ	@52
	16	SHなごみ手作りおやつ	かぼちゃ飴どら焼き	@52
	13	特養えん 手作りおやつ	さつまいも団子	@52
	25	小規模えん手作りおやつ	南瓜ムースタルト	行事費
11	13~14	デイ 手作りおやつ	ゆず味噌せんべい	@50
	22~23	デイ 手作りおやつ	どら焼き	@50
	8	デイ ランチバイキング	水炊き・おにぎり・みかん	@293+15,000 (イベント費)
	24	GHなごみ手作りおやつ	高野豆腐クッキー	@52
	21	SHなごみ手作りおやつ	バナナヨーグルトケーキ	@52
	10	特養えん 手作りおやつ	南瓜団子	@52
	24	小規模えん手作りおやつ	いも団子	行事費
12	24~25	デイ 手作りおやつ	クリスマスケーキ	@50
	20~21	デイ 忘年会	ばら散らし・天ぷら・他	@293+15,000 (イベント費)
	22	GHなごみ手作りおやつ	ガトーショコラ	@52
	20	SHなごみ手作りおやつ	揚げない大学芋	@52
	8	特養えん 手作りおやつ	ピザトースト	@52
			小規模えん手作りおやつ	中止 (クリスマスにケーキ)
1	13~14	デイ 手作りおやつ	白玉お汁粉	@50
	23~24	デイ 手作りおやつ	カラフルホットケーキ	@50
	4.6.7	デイ 新年メニュー	新年メニュー (弁当)	@293+15,000 (イベント費)
	26	GHなごみ手作りおやつ	ヨーグルトマフィン	@52
	25	SHなごみ手作りおやつ	かぼちゃドーナツ	@52
	12	特養えん 手作りおやつ	いきなり団子	@52
	24	小規模えん手作りおやつ	きなこ飴	行事費
2	11~12	デイ 手作りおやつ	チョコパフェ	@50
	21~22	デイ 手作りおやつ	クレープ	@50
	18	デイ ランチバイキング	地中海バイキング	@293+15,000 (イベント費)
	23	GHなごみ手作りおやつ	スイートポテト	@52
	16	SHなごみ手作りおやつ	イタリアンお好み焼き	@52
	9	特養えん 手作りおやつ	チョコバナナ	@52
	28	小規模えん手作りおやつ	豆腐入りみたらし団子	行事費
3	17~18	デイ 手作りおやつ	オープンサンド	@50

21～22	デイ 手作りおやつ	おはぎ	@50
19	デイ ランチバイキング	チェンジ鍋	@293+15,000 (イベント費)
23	GHなごみ手作りおやつ	バナナココアケーキ	@52
17	SHなごみ手作りおやつ	コーヒーパンケーキ	@52
9	特養えん 手作りおやつ	抹茶あずき蒸しパン	@52
28	小規模えん手作りおやつ	苺ホットケーキ	行事費
他、デイサービス、グループホームなごみの家、小規模特養えん、小規模多機能ホームなごみの家・えん 各月 祝祭日には祝い膳を実施			

(4) 備品購入状況

(デイサービス)

年月日	食器名	個数	単価	合計金額	業者名
12月5日	パナソニック 炊飯ジャー 1升炊き	1	35,800	35,800	ヤマダ電気
12月5日	象印 エアーポット	2	3,500	7,000	ヤマダ電気
3月14日	アルミ雪平鍋 20cm	3	1,450	4,350	フジマック
	アルミ雪平鍋 15cm	3	1,080	3,240	フジマック
	カラーペティナイフ	1	5,070	5,070	フジマック
	抗菌カラー包丁 (ピンク・イエロー・グリーン)	3	7,150	21,450	フジマック
	かるがるまな板 (小)	1	4,900	4,900	フジマック
	かるがるまな板 (大)	2	12,900	25,800	フジマック
	シルバーベビーフォーク (中)	40	200	8,000	フジマック
	アカオしゅう酸 実用鍋 30cm	1	3,700	3,700	フジマック
	テフロン 中華鍋 30cm	1	3,944	3,944	フジマック
	フライパン用 蓋	1	996	996	フジマック
	フライパン 小	1	710	710	フジマック
	フライパン 大	1	996	996	フジマック
	フライパン 大	1	1,134	1,134	フジマック
	バット 大	1	1,431	1,431	フジマック
	バット 中	1	1,123	1,123	フジマック
	バット用 網	1	466	466	フジマック
	角小鉢 初花	50	775	38,750	フジマック
	深皿 初花	50	649	32,450	フジマック
	サラダボウル 小	50	269	13,450	フジマック
	サラダボウル 大	40	357	14,280	フジマック

合計	229,040
----	---------

(5) 事故関係

事業所	件数 (件)	内容	改善方法
デイはびねす	0		<ul style="list-style-type: none"> ・ 納品業者への報告・確認の徹底 ・ 調理時の異物確認 ・ 使用食材の変更
なごみの家	1	ボイル帆立に貝殻が入っていた。	
ぬくもりの家	1	骨なし魚に骨が入っていた	

(6) 食事形態表

(デイサービス)

種別	人数
軟菜食	4
ゼリー食	0
ミキサー食	0
治療食	4
合計	8

②治療食の提供 (デイサービス)

治療食名	人数
〃 (1200kcal)	2
〃 (1200kcal)・減塩	1
〃 (1500kcal)・減塩	1
	4

(ぬくもりの家えん)

種別	人数
軟菜食	0
ソフト食	4
ミキサー食	0
治療食	0
合計	4

(なごみの家)

種別	人数
軟菜食	0
ソフト食	2
ミキサー食	0
治療食	0
合計	2

③代替え食の提供

※ 代替え食は献立の内容に合わせて随時決定する。

※ 個別に細かく対応している。

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名:法人本部・給食部門

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	コメント		
1	(1)	食事の質の向上	生活の基本であり、楽しみの一つである食事の質を向上させるため、関係職種と連携し、食事の質・形態・提示方法の検討・見直しを行います。また、低栄養状態のご利用者様には個別に対応し、食事摂取量の向上に努めます。	己上	計画 献立の問題点の確認・改善	→	→	→	→	→	A	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	・日々の連携と月1回の給食運営会議にて、問題を確認し改善する。	A	・計画どおり実施できた。 ・新メニューも取り入れた。 ・低栄養の入居者の情報をスタッフから聞き、それに対応することが出来たためA評価とする。		
2	(1)	嗜好を尊重した献立作り	ご利用者ご本人の意思・嗜好を尊重した献立作りにより、満足感とQOLの向上を図るため、デイサービスセンター・なごみの家・ぬくもりの家えんにて年1回の嗜好調査を実施します。	己上	計画												嗜好調査用紙配布	嗜好調査実施・集計	広報掲載	・デイスサービス・なごみの家・ぬくもりの家えんにおいて、栄養士とケアスタッフ協働による年1回の嗜好調査を実施。 ・調査結果を公表する。(広報) ・調査結果をもとに改善する。	C	嗜好調査用紙の配布は出来たが、ぬくもりの家えんで実施出来なかったためC評価とする。
3	(1)	適温提示の徹底	食事を「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく」提供することで、より食事がおいしく、楽しいものになるよう食事提示方法の作業確認を行います。	己上	計画 厨房巡回・配膳確認	→	→	→	→	→	A	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	・主食・汁物について「冷たい」などの苦情をゼロにする。 ・麺類は直前に盛り付け出来たてを提示する。	C	・主食については計画どおりに実施し、適温提示ができたが汁物については冷めている時もあるとの回答があったためC評価とする。		
4	(1)	見て楽しめる食事の提供	満足感とQOLの向上を図るため、献立のみでなく、食器への配慮をし、見た目に楽しく、食べやすい食事を提供します。	己上	計画 不足食器と新規食器の選定												不足食器と新規食器の見積り	食器の購入	・劣化している食器の購入(ガラス小鉢) ・シルバーフォークの購入 ・新規食器の購入(主菜皿・小鉢・ガラス中鉢)の購入	A	・年度初めに予算を作成し、予算に合わせた食器の購入が出来た。また新規食器の購入により、食事の見栄えが良くなったためA評価とする。	
5	(2)	衛生管理および給食設備の確認と徹底	給食設備調査指導結果を基に、衛生管理および給食設備を定期的にチェックし、異物混入や食中毒防止に努めます。また、厨房器具等の見直し・必要備品の購入による改善を行います。	己上	計画 給食設備のチェック・厨房器具の見直し	→	→	→	→	→	A	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	はびねす炊飯ジャー・ポット購入	はびねすコンビオープン調理器具購入	・給食設備の定期的(月1回)チェックと厨房器具の見直し。	A	・計画どおりに実施できた。また、異物混入については納品食材に異物が入っていたという2件のみで調理中の異物混入はなかったためA評価とする。
6	(3)	利用者・家族・職員が楽しめる行事食の実施	地域密着型特養ぬくもりの家えん・グループホーム鷹栖なごみの家に入居されている方には家庭の温かみがあり、季節に合わせた食事と各種行事に合わせた食事の提案・提供をします。	己上	計画 祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	祝日祝い膳イベント食リクエストメニューの実施	A	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	・各月に合わせた祝膳の提供。 ・季節の食材を献立に反映し季節感を出す。 ・毎月1回のイベント食実施。 ・毎月のリクエストメニュー実施。	A	・計画どおり全て実施できたためA評価とする。	
7	(4)	関係職種との連携機能の強化	ご利用者により安全・安心・満足して頂ける食事提供のため、委託業者とのミーティングを毎日、給食運営会議を月1回実施し、関係職種との情報交換・協力体制を密にしていきます。	己上	計画 ミーティング給食運営会議	ミーティング給食運営会議	ミーティング給食運営会議	ミーティング給食運営会議	ミーティング給食運営会議	ミーティング給食運営会議	C	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	給食会議未実施・議事録のみ作成	・毎日の委託業者とのミーティング実施。 ・毎月1回の給食運営会議実施。	C	・委託業者とのミーティングは計画どおり実施できたが、給食運営会議を2回開催できなかったためC評価とする。	

1. 総括

平成 25 年度は、データの保管・管理に万全のシステムを構築することを優先して取り組んだ。ほぼ 1 年をかけて新システムの検討と導入を行った。その結果、今までのシステムを全面的に見直し、データの一部はクラウドを活用して管理、また、ウイルス対策にも万全を期し、セキュリティと利便性を大幅に向上することができた。

しかし、このことに多くの時間を要したため、他の取り組みに大きな影響を及ぼしたのも事実である。

また、新システムの運用面ではまだ十分に活用できていない面もあるため、その点については次年度の課題である。

その他、平成 25 年度において成果を残すことができた取り組みは、感染症予防である。感染症対策委員会の定期開催はできなかったが、感染症予防啓発と予防対策としての手洗い、うがい、手指消毒の徹底、インフルエンザ予防接種の実施により、職員はもちろん、ご入居者についてもインフルエンザやノロウイルス等への感染を防ぐことができた。

また、広報活動は、広報誌・ホームページ・ブログを通して情報発信を充実させ、昨年を引き続き成果を残すことができた。

事業計画以外の取り組みで総務課が大きな力を発揮した事業として、6 月に鷹栖町で開催した「伴走型ケアマネジメント・地域包括ケア研究会」と 7 月に実施した「大分県国東市との交流会」がある。いずれも準備や運営を支える裏方としてはあるが、当該事業の成功に大きく寄与することができたと思っている。

一方で十分に取り組むことができなかったことも多く、次年度に多くの課題を残す結果となってしまった。特に、法人の経営に大きく影響する収支状況等の会計データをリアルタイムで提出できなかったことは大きな反省点である。

2. 次年度に向けて

平成 26 年度は、現行の体制となって 3 年目の年であるため、平成 25 年度の反省を踏まえ、計画へのより確実な取り組みを進めていきたい。特に、会計データの提出に関しては、期日を厳守するとともに、財政健全化に必要なデータをリアルタイムで提出できるようにしたい。

また、総務固有の業務はもちろんであるが、介護保険制度の改定を翌年に控えた重要な年であることをスタッフ全員が認識し、次期介護保険制度の改定内容を踏まえた法人の取り組みを一体となって進められるよう、必要な準備を進めていきたい。

その上で、新中期 3 カ年計画（平成 25 年度～平成 27 年度）及び平成 26 年度事業計画に基づき、スタッフ一人ひとりが担当業務を進められるよう、きめ細やかに進捗管理を行い、総務課の更なるレベルアップを図って行きたい。

3. 運営状況・統計資料

(1) 職員の状況

単位：人

役職・職種 区分		平成 25 年度 期 首	平成 25 年度 期 末	増 減
施設長		1	1	0
副施設長		1	1	0
介護部長		1	1	0
事務員	正 職 員	4	4	0
	パート職員	1	1	0
生活相談員	正 職 員	3	3	0
ケアマネジャー	正 職 員	3	3	0
出向ケアマネジャー	正 職 員	1	1	0
計画作成担当者	正 職 員	4	4	0
サービス提供責任者	正 職 員	1	1	0
介護員	正 職 員	56	55	▲1
	パート職員	22	24	2
ホームヘルパー	正 職 員	2	2	0
	パート職員	2	2	0
	登 録	2	2	0
看護職員	正 職 員	4	4	0
	パート職員	6	6	0
管理栄養士	正 職 員	1	1	0
栄養士	正 職 員	0	1	1
	パート職員	1	0	▲1
調理員	パート職員	9	10	1
運転員	パート職員	2	2	0
用務員	嘱 託 職 員	0	1	1
	パート職員	1	1	0
夜間管理当直員	パート職員	2	2	0
	派 遣 職 員	1	1	0
嘱託医		1	1	0
合 計		132	135	3

注) 兼務職員については、主たる職務へカウントする。

(2) 賞与支給状況

時 期	支給月数
	正職員
6月	0.8～1.8
12月	1.2～2.2
計	2.0～4.0

(3) 施設整備関係

単位：円

事業完了 年月日	事業名	内 容	総事業費	補助金額
25.6.30	鷹栖なごみの家（多機能型グループホーム・小規模多機能ホーム）スロープ改修工事	玄関スロープに屋根を設置	1,890,000	自己財源
25.12.3	ぬくもりの家えん（地域密着型特養・小規模多機能ホーム）ウッドデッキ修繕工事	ウッドデッキ床材の全面張り替え	1,335,075	自己財源
合 計			3,225,075	

(4) 設備整備関係

単位：円

事業完了 年月日	事業名	内 容	総事業費	補助金額
25.12.31	デイサービスセンターはびね すりハビリマシン購入	介護予防・リハビリに効果のあるマシンを3台購入	2,334,486	自己財源
合 計			2,334,486	

(5) 寄付金関係

単位：円

区 分	件 数	総 額	摘 要
寄付金	7	165,000	法人・各事業所運営のため

(6) 環境整備・苑内修繕状況

単位：円

月	環境整備・修繕名	整備・修繕先	費用(円)	区分
4	消防設備点検料	五光トータル防災	67,200	さつき苑
	浴室カビ取り作業	ベリージャパン	42,139	
	照明器具(リモコン)増設工事	亀谷電設	39,900	
	加湿器修理	ベスト電器	11,340	
	ガスコンロ修理	LIXILトータルサービス	9,240	なごみ
	暖房用ボイラー修繕整備	大洋設備	92,400	
	衣類乾燥機修理	東芝テクノネットワーク	39,344	えん
	流し台シャワー蛇口修理代	盛永組	115,500	

月	環境整備・修繕名	整備・修繕先	費用(円)	区分
5	保安全管理業務	電気保安協会	64,260	さつき苑
	自動ドア保守点検	ナブコシステム	67,200	
	カラスの巣駆除	アイデルサービス(有)	15,750	
	雪囲い撤去、草取り、ゴミ処理	鷹栖町高齢者事業団	61,730	
	直管蛍光灯・スイッチプレート	デンザイ	34,903	
	パーティション設置	ホームマック	51,870	
	食器洗浄機修理	パナソニックコンシューマーマーケティング株	14,175	なごみ
	消防設備点検料	五光トータル防災	68,250	
	洋ユニット非常灯電源修理	五光トータル防災	7,350	
	小規模側暖房ボイラー整備)	大洋設備	92,400	
	トイレウォシュレット漏水修理	大洋設備	7,350	
	芝刈り作業	鷹栖町高齢者事業団	1,810	
	衣類乾燥機修理	日立コンシューマーマーケティング株	24,360	
	雪囲い撤去、芝刈り作業	鷹栖町高齢者事業団	16,505	えん
	衣類乾燥機修理	東芝テクノネットワーク	12,495	
6	製氷機年間保守契約料	ホシザキ北海道	59,850	さつき苑
	網戸用ネット、ベンチ塗料	ホームマック	5,966	
	テレビ修理	東芝テクノネットワーク	30,030	
	卓上コンロ用コンセント増設工事	亀谷電設	57,750	なごみ
	草刈り作業	鷹栖町高齢者事業団	1,810	
	玄関引き戸網取付工事	旭川ガラスサッシ	52,500	えん
	乾燥機修理	東芝テクノネットワーク	17,756	
7	地下タンク・埋設配管漏洩検査	北海道検査センター	31,500	さつき苑
	貯水槽・貯湯槽清掃業務	広立総業	94,500	
	ウッドデッキ塗装	ホームマック	5,474	えん
	製氷機用コンセント増設工事	亀谷電設	10,500	
	洗面排水トラップ閉塞修理	齋藤工業所	5,250	
	駐車場縁石修理	盛永組	115,500	
	芝刈り・残草搬送作業	鷹栖町高齢者事業団	12,860	
8	特養小便秘器センサー交換修繕	齋藤工業所	88,200	さつき苑
	ガスレンジ修理	タニコー	11,550	
	車いすキャスター交換修理	ニック(株)	15,750	
	トイレ手洗い器混合栓化改修工事	盛永組	588,000	なごみ
	洗濯機修理	ヤマダ電機	14,500	
	浴室混合栓修繕	大洋設備	18,900	
	芝刈り作業料	鷹栖町高齢者事業団	1,810	
	分電盤ブレーカー調査及復旧工事	亀谷電設	4,200	えん
	外壁修理	株式会社 中川	73,500	
	ウッドデッキ塗装作業	工藤	14,912	
9	アルメリア浴槽修理	エア・ウォーター・ハローサポート	92,400	さつき苑
	介護材料室コンセント増設工事	亀谷電設	14,700	
	調理器具修理	タニコー	12,810	
	車いす体重計修理	ムトウ	37,800	

月	環境整備・修繕名	整備・修繕先	費用(円)	区分
9	和ユニット給湯設備部品交換修理	大洋設備	21,000	なごみ
	ぬくもりの家えん看板塗装	工藤	7,760	えん
	直管蛍光灯部品購入	デンザイ	64,250	
10	直管蛍光灯部品購入	デンザイ	51,450	さつき苑
	パコティンヒーター整備	東和	155,400	
	冷凍冷蔵庫、霜取り、洗浄作業	フジマック	48,300	
	水道混合栓化工事	盛永組	33,600	
	冬囲い作業	鷹栖町高齢者事業団	46,560	なごみ
	ガレージ修理	盛永組	52,500	
	冬囲い作業	鷹栖町高齢者事業団	10,475	
11	乾燥機修理	池田製機	40,880	さつき苑
	シャワー用カン交換修理	齋藤工業所	10,372	
	調理用カッターアセンブリ交換	タニコー	10,248	
	車いす用タイヤ、チューブ交換	厚友会	7,000	なごみ
	居室仕切り壁製作	工藤	39,740	
	ユニット汚物流し台部品交換	大洋設備	13,650	
	スノーホール設置作業	盛永組	57,750	えん
12	乾燥機修理	池田製機	9,030	さつき苑
	アルメリア修理	エア・ウォーター・ハローサポート	80,220	
	通路床段差解消工事	後藤田建設	136,500	
	浴室シャワー水栓修繕	大洋設備	21,000	
	蛍光灯、グローランプ購入	デンザイ	38,260	えん
	浴室シャワー水栓ストレーナ清掃	大洋設備	4,672	
	ウッドデッキ修繕	株式会社 中川	1,335,075	
1	下駄箱製作	工藤	225,000	なごみ
	ナースコール修理	亀谷電設	37,800	さつき苑
	スピーカー接続プレート工事	亀谷電設	34,650	
	職員トイレフロート弁取替修繕	後藤田建設	11,814	
2	給湯用安全弁取替	大洋設備	19,950	えん
3	シャワー水栓取替修繕	齋藤工業所	53,340	さつき苑
	居室ヘッドライト取替工事	亀谷電設	10,500	なごみ
	3月分 給湯機異音修理	大洋設備	31,500	

(7) 苦情・意見に対する改善状況

部 署	受付月	苦情・意見の内容	改善状況
総務課		なし	
特養さつき苑		なし	
ショートステイ		なし	
ヘルプサービス	4月	ケアの内容1件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
	5月	ケアの内容1件	部署内で課題共有し、必要な改善を実施。
デイサービス		なし	
介護センター		なし	
GHなごみの家		なし	
SHなごみの家		なし	
特養えん		なし	
SHえん		なし	

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 総務課

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	中間評価												ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容			
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
1	(1) (2)	組織的・総合的なリスクマネジメント体制の推進	①各種感染症の蔓延を防止するため、感染症予防の啓発を行うとともに予防対策を徹底する。 ②感染症対策委員会を計画的に開催し、感染症対策に関する情報の共有と対応の統一を図る。 ③「災害に強い施設づくり」を目指し、防災用品・備蓄品の完備、各種訓練の徹底、地域との共同による防災訓練を実施する。	大庭 山内	計画			防災用品、備蓄品の検討	感染症対策委員会	防災用品、備蓄品の購入								感染症対策委員会	B	・防災用品、備蓄品の完備には至らなかったが、感染症の集団感染は予防することができたためB評価とする。		
2	(1) (2)	施設環境の維持管理	①全事業所の建物・附属設備・車輛の定期点検及び必要な修繕を行う。	高橋 山内	計画	修繕・メンテナンス												全事業所巡回点検	B	・点検表に基づいた建物・車輛メンテナンスの実施。	C	・11月以降実施できなかったためC評価とする。
2	(1) (2)	施設環境の維持管理	②さつき苑内外の美観を保つため定期的な点検と必要な修繕を行う。	高橋 山内	計画				苑内外の点検 修繕・メンテナンス									苑内外の点検 修繕・メンテナンス	B	・点検表に基づいた施設内部・外構メンテナンスの実施。	C	・11月以降実施できなかったためC評価とする。
2	(1) (2)	施設環境の維持管理	③年間修繕計画を作成する。	高橋 山内	計画				修繕計画表の作成										B	・年間修繕計画表の作成。	B	・計画表を作成できたためB評価とする。
2	(1) (2)	施設環境の維持管理	④おもてなしの心を表し、来客者が快適に過ごせる空間を演出できるよう、さつき苑の玄関と大ホールの環境整備計画を作成する。	高橋 山内	計画		参考資料の収集				視察見学							第1回目計画案作成	C	①参考例の収集 ②環境整備計画の作成	C	・参考資料の収集に着手したが、サーバーの故障により頓挫したためC評価とする。
2	(1) (2)	施設環境の維持管理	⑤年間を通して清掃ボランティア団体の協力が得られるよう依頼計画表を作成し、連絡・調整を行う。	高橋 山内	計画	年間計画表の作成 清掃ボランティア団体の連絡・調整												清掃ボランティア団体の連絡・調整	B	・ボランティア団体と連絡・調整。 ・美観の保持。	B	・計画どおり実施できたためB評価とする。
2	(1) (2)	施設環境の維持管理	⑥より適切な来客対応ができるよう事務所内のレイアウトを変更する。	高橋 山内	計画					変更案検討	変更案作成							レイアウト変更	A	・事務所レイアウトを変更する。	A	・計画どおり実施できたためA評価とする。
2	(1) (2)	施設環境の維持管理	⑦快適な環境で仕事ができるよう事務所内の整理整頓を推進し、定期的に点検を行う。	高橋 山内	計画			点検表の作成		点検	点検							点検	A	①整理整頓表の作成 ②整理整頓表に基づく定期点検の実施	A	・計画どおり実施できたためA評価とする。
3	(1) (2)	施設環境の改善	将来的な需要や修繕・改修の実施時期について、中長期的視点に立って、計画的な工事を実施するための中長期修繕計画を策定する。	伊藤	計画				中長期修繕計画検討	中長期修繕計画検討	中長期修繕計画検討							中長期修繕計画策定	D	・中長期修繕計画を策定する。	D	・未着手のためD評価とする。
4	(1)	苑内の衛生管理	①清掃及びリネン業務委託業者との連携を深め、清潔で衛生的な環境を保持する。	大庭 伊藤	計画	委託業者スタッフとの面談					委託業者スタッフとの面談							委託業者スタッフとの面談	D	・委託業者スタッフと年3回定期的に面談を行う。	D	・未着手のためD評価とする。
5	(3)	チームワークの向上	①「明るく元気なあいさつ」、「力のある者が力のない者を助ける」、「相手の気持ちを思いやる」ことを心掛ける。	伊藤 大庭	計画	①定例会議における確認 ②朝の引継時に「明るく元気なあいさつ」の励行												①定例会議における確認 ②朝の引継時に「明るく元気なあいさつ」の励行	C	・毎月及び日々の確認を徹底する。	C	・定例会議での確認ができなかったためC評価とする。
5	(3)	チームワークの向上	②本部・総務のチームルールを意識した行動・言動が取れるよう、チームルールの浸透を図る。	伊藤 大庭	計画	定例会議及び朝の引継時に確認する												定例会議及び朝の引継時に確認する	B	・総務課スタッフ全員がチームルールを暗唱できる。	C	・計画どおり実施できたが、暗唱できるようにはなっていないためC評価とする。

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名		総務課															[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。			
事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容
5	(3)	チームワークの向上	③朝の引継ぎや定例会議において、日常の良かったこと、上手く行ったこと、嬉しかったことなどを報告又は紹介する取組みを行う。	伊藤大庭	計画 ①朝の引継ぎ ②定例会議							B	①朝の引継ぎ ②定例会議						B	・計画どおり実施できたためB評価とする。
5	(3)	チームワークの向上	④仕事を離れて楽しめるレクリエーションや会合を定期的に設ける。	伊藤大庭	計画		事業報告及び決算完了懇話会					D	総務課ホールディング大会						D	・未着手のためD評価とする。
5	(3)	チームワークの向上	⑤必要となるとき協力し合えるよう他のメンバーの担当業務を知る機会を設ける。	伊藤大庭	計画 業務分掌の確認		担当業務の説明		担当業務の説明			D	担当業務の説明	担当業務の説明		担当業務の説明			D	・未着手のためD評価とする。
6	(3)	専門性と能力の向上	①計画的にレベルアップ勉強会を実施して、関係法令の構成、諸規程、接遇・マナー、チームワーク、PC操作スキル、報告・連絡・相談・確認の質向上など、社会福祉法人の総務係職員に必要な専門性と能力の向上を図る。	伊藤大庭	計画 レベルアップ勉強会			レベルアップ勉強会				D	レベルアップ勉強会	レベルアップ勉強会	レベルアップ勉強会	レベルアップ勉強会			D	・未着手のためD評価とする。
6	(3)	専門性と能力の向上	②専門性と能力の向上に役立つ資格をリストアップし、資格取得を促進する。	伊藤大庭	計画 資格のリストアップ		資格のリストアップ	チャレンジ資格の選択	資格取得計画の作成	資格取得計画の実行		D	資格取得計画の実行						D	・未着手のためD評価とする。
6	(3)	専門性と能力の向上	③業務の参考となる情報誌の購読、他施設との情報交換、外部研修の活用など、より高い意識を持って仕事に向き合える取組みを進める。	伊藤大庭	計画 購読する情報誌の選定	情報誌の購読及び閲覧開始		他施設との情報交換準備				D	他施設との情報交換						D	・未着手のためD評価とする。
7	(4)	ボランティア受入マニュアルの整備	事業所運営に協力してくれるボランティアに感謝の気持ちを伝えられるよう、ボランティア受入手順を作成し、全事業所での基本的な対応を統一する。	大庭高橋小嶋	計画 マニュアル作成			マニュアル作成	マニュアル作成			D	全事業所周知	マニュアルの評価・見直し					D	・未着手のためD評価とする。
8	(3) (4)	広報活動と求人活動の充実	①さつき会の運営や活動を広く町民に知ってもらい、さつき会の取組みを理解し、また、協力してもらえるよう広報誌を定期的に発行する。	大庭	計画 広報さつき発行			広報さつき発行		広報さつき発行		A	広報さつき発行		広報さつき発行	広報さつき発行	広報さつき発行		S	・目標を達成し、更に紙面の工夫、改善を図ることができたためS評価とする。
8	(3) (4)	広報活動と求人活動の充実	②全面リニューアルしたホームページを定期的に見直しして改良を加えるとともに、特に求人に関する情報を工夫し、「ここで働きたい」と思ってもらえるような魅力ある求人情報を発信する。	大庭	計画 ホームページの見直し		ホームページの見直し			ホームページの見直し		B	ホームページの見直し	ホームページの見直し		ホームページの見直し			B	・定期に又は随時、ホームページに必要な改良を行ったが、年度途中の求人応募に繋がった件数が少なかったためB評価とする。
8	(3) (4)	広報活動と求人活動の充実	③ブログやその他のソーシャルメディアを有効活用し、「法人・施設の顔が見える」情報(経営者・管理者・職員それぞれの立場からのメッセージや思い、生き生きと仕事をする職員の姿、お年寄りとおふれあう様子、地域との関わりや行事の様子など)を日々発信する。	大庭	計画 週1回以上ブログの更新							A	週1回以上ブログの更新						A	・更新できなかった週が数回あったが、発信内容の充実が図られたためA評価とする。
8	(3) (4)	広報活動と求人活動の充実	④法人パンフレットを現在の事業を網羅したものに作成し直し、来賓者にも積極的に情報を発信する。	大庭	計画 新パンフレット作成準備									新パンフレット案の提示	新パンフレット案の提示		新パンフレットの完成		C	・新パンフレット案の提示までではしたが、完成には至らなかったためC評価とする。
9	(4) (5)	地域への貢献	①職員は地域の一員であるという自覚を持って、職員が地域を知り、地域とのつながりを深めるため、積極的に地域行事に参加する。	伊藤	計画 たかす熱夏フェスタへの協力							A							A	・計画どおり参加できたためA評価とする。
9	(4) (5)	地域への貢献	②鷹栖町移送サービス事業の受託を継続し、事業対象者の病院受診や社会参加などに必要な交通の利便性確保に貢献する。	伊藤	計画 鷹栖町移送サービス事業の受託		サービス提供					A	サービス提供						A	・事業の受託と新たに2名のスタッフが講習を受講し、事業対象者の交通の利便性確保に貢献することができたためA評価とする。

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名		総務課															[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。	最終評価	評価内容								
事業計画No.	重点目標との連動	取り組み事項	取り組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)									
10	(3) (5)	業務推進体制	①定例会議において、毎月の行事計画と定例業務のスケジュールを確認し、効率的・安定的な業務の推進を図る。	伊藤 佐藤	計画 スケジュールの確認							→	B	スケジュールの確認							→	・定例会議において毎月のスケジュール確認を行い、業務の進捗は最小限にすることができたが、サーバーの故障により保存していた蓄積データがほぼ全て消失したことにより、効率的・安定的に業務を推進することはできなかったためC評価とする。	C				
10	(3) (5)	業務推進体制	②ムダ・ムラのない業務推進のツールとして業務日報の活用を検討する。	伊藤 佐藤	計画 業務日報の活用検討		業務日報の活用検討	様式案の検討	業務日報の提案													→	・スタッフ1名に10月から業務日報を提出してもらったが、効果的な検討や総務課全体での取り組みには至らなかったためC評価とする。	C			
10	(3) (5)	業務推進体制	③効率的・安定的に業務が進められるよう、必要な業務マニュアルをリストアップし、計画的に作成していく。	伊藤 佐藤	計画 業務マニュアルのリストアップ				→	マニュアル作成												→	・業務マニュアルの作成	D	・未着手のためD評価とする。		
10	(3) (5)	業務推進体制	④勤怠管理と給与支給事務の効率化と正確さを向上させるため、タイムカードの導入を検討する。	伊藤 佐藤	計画 導入する機器及びシステムの検討					→	タイムカード導入												→	・タイムカードを導入する。	D	・未着手のためD評価とする。	
11	(5)	社内情報管理システムの再構築	社内の電算化された情報・データの管理方法を抜本的に見直し、いかなる事態においてもデータ消失せず、担当者以外はアクセスできない強固なセキュリティと、蓄積された資源の効率的活用を実現できる新・情報管理システムを再構築する。	山内 大庭	計画 データ管理システムの検討					→	採用システムの決定												→	・情報管理システムの再構築を完了する。	B	・情報管理の新システムを導入することができたが、運用面で一部不十分などがあるためB評価とする。	
12	(1) (2)	利用者の権利擁護と苦情・意見の傾聴	利用者及び代理人等に対し、利用者の自立支援及び権利擁護の観点から、契約書・重要事項説明書及び関連書類等を十分に説明し、同意を得るとともに、関連法令や運営規程を遵守した運営(コンプライアンス)を徹底する。苦情・意見に対しては、適切に対応するとともに、苦情解決委員会において再発防止策の検討を実施する。	伊藤 大庭	計画 重要事項説明書及び運営規程の一部変更																		→	・制度改正に伴う必要書類の変更 ・苦情への適切な対応	A	・制度改正に伴う必要書類の変更及び届出を速やかに行うことができた。また、電話による苦情が1件あったが適切な対応ができたためA評価とする。	
13	(5)	経営状況の把握	①日々の経理処理を確実にし、介護保険収入確定後速やかに月次決算報告を提出する。提出期間は毎月10日～12日とする。	山内 伊藤 佐藤	計画 4月分月次決算報告書提出	4月分月次決算報告書提出	5月分月次決算報告書提出	6月分月次決算報告書提出	7月分月次決算報告書提出	8月分月次決算報告書提出													→	・毎月10日～12日の間に月次決算報告を提出する。	C	・月次決算報告の提出が大幅に遅れたためC評価とする。	
13	(5)	経営状況の把握	②介護報酬請求事務の完了と同時に業績を入力する手順を確立し、毎月10日までに入力完了する。業績管理報告の提出期間は毎月10日～12日とする。	山内 伊藤 佐藤	計画 4月分業績管理報告提出	4月分業績管理報告提出	5月分業績管理報告提出	6月分業績管理報告提出	7月分業績管理報告提出	8月分業績管理報告提出														→	・毎月10日～12日の間に業績管理報告を提出する。	C	・サーバーの故障により提出できなかった月があったためC評価とする。
13	(5)	経営状況の把握	③四半期毎の収支決算報告を各四半期終了後速やかに提出する。提出期間は各四半期ごとに7月、10月、1月、4月の12日～15日とする。	山内 伊藤 佐藤	計画 第一四半期収支報告書提出																		→	・期日までに提出する。	C	・各四半期毎の収支決算報告の提出が大幅に遅れたためC評価とする。	
13	(5)	経営状況の把握	④年度終了後、速やかに決算報告書作成事務を進め、5月15日までに決算報告書を提出する。	山内 伊藤 佐藤	計画 平成23年度決算報告書の提出																		→	・5月15日までに提出することができなかったためC評価とする。	C		
14	(5)	適正利益の確保	①全事業所の業績及び収支状況を定例会議で報告し、法人全体の経営状況を把握する。その上で、適正利益を確保するために総務課ができることを検討し、提案する。	山内 伊藤	計画 ①収支状況の報告 ②適正利益確保の検討																		→	・総務課として法人全体の経営状況をリアルタイムで把握する。	C	・毎月の業績及び収支状況を定例会議で報告できなかったためC評価とする。	
14	(5)	適正利益の確保	②総務課が中心となって経費削減を奨励するとともに、毎月の取り組み結果を分かりやすい資料で提供する。	山内 伊藤	計画 ①適正利益確保の取組結果の資料作成 ②資料の提供																		→	・経費削減の励行に資する資料を作成する。	D	・未着手のためD評価とする。	

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 総務課

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容
14	(5)	適正利益の確保	③市場調査と価格交渉を徹底し、より一層の経費削減を実現する。	山内伊藤	計画				①商品等の市場調査 ②値引き等の価格交渉			D							その都度、価格交渉を必ず行う。	C	・器具什器等の購入や車輛の修理等の際は価格交渉を行ったが、必ずしも徹底できたとは言えないためC評価とする。
14	(5)	適正利益の確保	④費用比率(人件費比率、経費比率、光熱水費比率など)の分析を行い、改善方法を提案する。	山内伊藤	計画				①経費比率分析表の作成 ②経費比率改善の提案			D	①経費比率分析表の作成 ②経費比率改善の提案						費用比率の改善方法を提案する。	D	・未着手のためD評価とする。
15	(5)	介護報酬請求事務の一元管理の移行	各事業所の業務とされている介護報酬請求事務の一元管理システムをつくり、直接処遇職員が入居者・利用者のケアに集中できる環境と、介護報酬請求事務の煩雑化(請求間違い、返戻)減少させることで、適正な収入の管理に努める。	伊藤佐藤小島	計画			各事業の請求データ作成方法の把握	一元化の方法検討			D	一元化の手順提案	手順の修正	→	→	→	→	介護報酬請求事務の一元管理を実現する。	D	・未着手のためD評価とする。
16	(5)	新会計基準への移行	新会計基準への移行をスムーズに行えるよう、移行計画を策定する。	山内佐藤	計画				財務諸表の構成検討			B	財務諸表変更点の検討					事務体制の検討	新会計基準移行計画を策定する。	C	・移行計画の策定には至らなかったためC評価とする。
17	(3)	有給休暇の計画的付与	常勤職員がリフレッシュするために、有給休暇を活用した、年一度5連休(もしくは3連休×2回)の計画的取得に取り組む。	伊藤大庭	計画	希望調査	調整及び取得計画の作成	計画的取得				D	計画的取得						有給休暇の計画的取得により心身のリフレッシュを図る。	D	・未着手のためD評価とする。
18	(3)	福利厚生充実	職員が安心して働ける職場の基盤整備を推進するために、社宅及び法人内託児所の調査を実施する。	伊藤大庭	計画								調査の計画	調査実施					調査を実施し、ニーズを把握する。	D	・未着手のためD評価とする。
					実施								未実施	未実施							

平成 25 年度 特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑・ショートステイさつき苑 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

平成 25 年度は、「より良質なサービスの提供」「地域に必要とされ信頼される施設運営」「働き甲斐のある職場づくり」「適正収益の確保」に目標をおき取り組んだ。

まず「より良質なサービスの提供」について、今年度より介護の質を客観的に評価する為、ご入居者の状態を「見える化」し、その上で具体的な目標を掲げ取り組んだ。その中でも「入院者の減少」については大きな成果を出すことができた。入院者数はご入居者の健康指標にも置き換えて考えることができ、今年は総入院日数前年度比-10%（298 日以下）という目標に対し、270 日（-18%）であった。また、入院延べ人数も前年度 32 名から 23 名（胃瘻ボタンの交換入院含む）と減少した。これは毎日の健康状態の把握と変化をとらえるためのケアチェック、毎月の各会議でのカンファレンス、それらを踏まえた多職種協働によるチームケアの実践の成果といえる。また、苦痛のない自然排便を目指した取り組みも、年度当初時点の下剤服用者 29 名（刺激性下剤 10 名、緩下剤 19 名）に対し、年度末には 10 名（刺激性下剤 2 名、緩下剤 8 名）にまで減少させることができた。毎月の会議で介護-看護-栄養の各専門職が様々な視点から分析しアプローチを考え、水分や食事の管理、トイレ排泄、個々に合った運動の実施、玄米粥導入などの栄養改善などを徹底し実践した結果である。これらの取り組みから、「より良質なサービスの提供」では一定の成果をあげることができたといえる。

次に「地域に必要とされ、信頼される施設運営」では、ショートステイのご利用者に対し、少しでも自宅に住み続けていただけるよう、自分たちが高齢者介護の専門職として地域に還元していくことを目標に挙げて取り組んできた。一つの事例として脱水と肺炎リスクが高い方についてケアマネージャーや在宅サービスとの連携を強化し、密な情報共有を図りご家族とデイサービスとで記録を共有し、協力して状態の維持改善に努めた。事例はまだ少ないが、重度の要介護者ご本人とご家族を支えるためのこの取り組みは、在宅支援のひとつの形でもあり、今後も拡げていきたい。

これらの取り組みや成果は、さつき会スタッフが研修や会議を通じてさつき会が大切にしている理念を理解・共有し、自分たちの知識と技術に磨きをかけ、ご入居者やご利用者に向き合い丁寧にケアを実践してくれているおかげでもある。そしてご利用者の状態の改善や笑顔は、介護の専門職としての自信とやりがいにもつながっている。

最後に「適正収益の確保」では、前述したとおり今年は入院者数の減少と退居者が少なく、また、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症が流行しなかったこともあり、安定した稼働状況であった。特別養護老人ホーム事業は目標稼働率 98%に対し 98.4%、ショートステイ事業においても、81.3%（目標 75%）と前年を上回り、特養・ショートステイ共に、開設以来最も高い稼働率を達成することができた。次年度も今年度同様の成果をあげていきたい。

2. 展望（次年度に向けて）

平成 26 年度は前年度同様、多職種協働による予防的なケア（＝トータルケア）の実践により、ご入居者の体調の変化をとらえ、認知症の周辺症状の緩和や体調の悪化、病気の再発・重症化を予防していきたい。前年度、転倒・転落などによる骨折事故があったため、日常の体調管理同様、事故のリスクについても事故分析を強化し、積極的に情報共有・発信することで予防に努めていきたい。また、安定した体調管理だけではなく「自立と尊厳を支え、楽しみのある生活を」を方針に掲げ、少しでもご本人のできることを増やし、生き生きと自信をもち楽しく暮らしていただけるよう、ご本人のご希望やご家族のご協力を頂きながら関わり方を考え実践していきたい。また、嚥下機能が低下している方などを対象とした「ソフト食（ゼリー食）」について、管理栄養士が委託業者との連携を強化し見た目と味のさらなる質の向上をめざしていきたい。

次に「安心と信頼のある地域密着の施設をつくる」では、特別養護老人ホーム事業においては、良質なケアサービスの提供により、ご入居者はもちろんご家族も安心してさつき苑にお任せいただけるような施設運営を行っていきたい。また、ショートステイ事業では、地域の専門的社会資源の役割として、在宅で暮らす中重度の状態のご利用者を積極的に受け入れ、アセスメントとニーズ把握を行い、ご家族・ケアマネージャー・関係事業所と一緒に在宅支援について考えていきたい。

「豊かな人間性と高度な専門性を有する人材の育成と働きがいのある魅力的な職場をつくる」では、近年「介護」の専門性が求められ質の向上が図られていく一方で、この介護業界を志す人材は減少してきている。また、サービス利用者はますます重度化・多様化している。安心してサービスを利用していただくためにスタッフ個々の豊かな人間性と高い介護力が求められる。これまでの実践を活かし、スタッフ一人一人が自信を持ってご利用者の支援にあたることができるよう、教育・サポート体制を充実させ、またリフレッシュ休暇の取得、業務の合理化をはかり、やりがいを持って楽しく働ける職場と働きやすい職場環境をつくっていきたい。また、将来の人材確保を見据え、積極的に介護実習を受け入れ、実習生に介護の魅力を伝えられる実習指導体制と受入プログラムをつくり指導にあたっていきたい。

最後に「安定経営の持続と業務の効率化」については、今年度の予防的なケアの実践と事故予防の強化に取り組むことにより、年間入院総日数 250 日以内を目指したい。また、今年度は消費税増税に伴う支出増が見込まれているため、コスト意識もさらに高めていき、業務の効率化や合理化を図りたい。取り組みの一つとしてオムツコストの削減がある。オムツの種類を充実させることで、より個別に合わせた形態の選定がかのうとなり、利用者の快適性の向上とオムツコストの削減を図っていきたい。

以上を平成 26 年度にむけた展望とする。

3. 業績報告

(1) ベッド稼働率

(単位：%)

事業名	目標ベッド稼働率(A)	実際ベッド稼働率(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度ベッド稼働率(C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	98.0%	98.4%	100.4%	98.1%	100.3%
短期入所生活介護事業	80.0%	81.3%	101.6%	66.4%	122.4%

(2) 延べ入居者人数

(単位：人)

事業名	目標延べ入居者数(A)	実際延べ入居者数(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度実際延べ入居者数(C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業	18,600	18,667	100.3%	18,617	100.2%
短期入所生活介護事業	2,336	2,376	101.7%	1,943	122.2%

(3) 事業収入（介護保険収入・介護予防事業委託費）

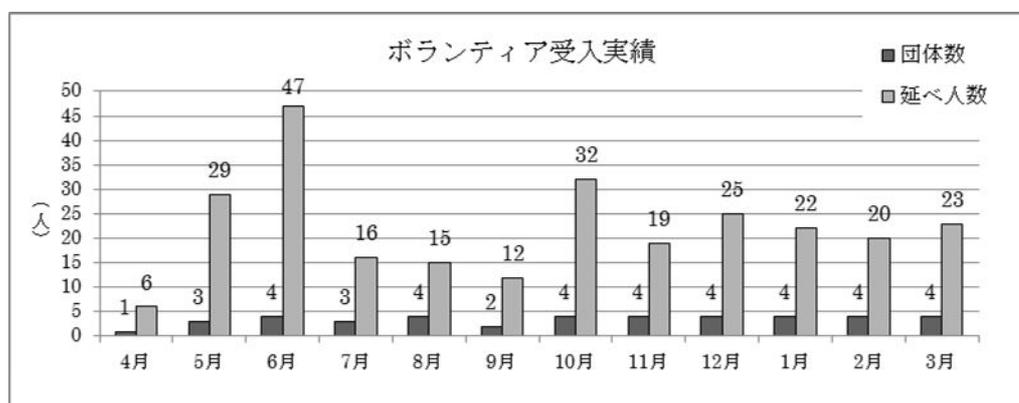
(単位：千円)

事業名	目標収入(A)	実際収入(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度収入(C)	伸長率 (B) / (C) × 100
特別養護老人ホーム事業					
短期入所生活介護事業					

4. ボランティアの状況

ボランティア受け入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	1	3	4	3	4	2	4	4	4	4	4	4	41
延べ人数	6	29	47	16	15	12	32	19	25	22	20	23	266



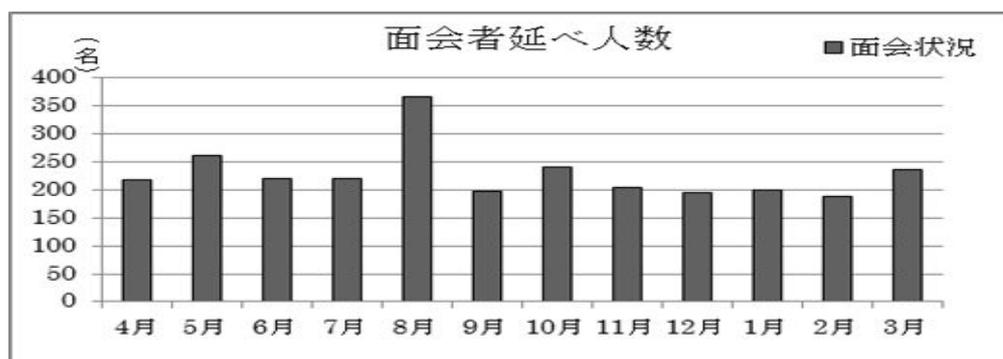
ボランティア協力団体一覧

	団体名	活動内容
町内	IZATAKA	ダンス披露
町内	共栄老人会	お話相手
町内	喜楽老人会	お話相手
町内	銀星老人会	お話相手
町内	七福老人会	お話相手
町内	十五期会	大掃除、餅つき
町内	親交老人会	お話相手
町内	親睦老人会	お話相手
町内	大成老人会	お話相手、花壇整備
町内	鷹栖オサラッベ太鼓	太鼓演奏披露
町内	鷹栖高校吹奏楽部	楽曲披露
町内	たかす手話サークル「手愛」	手話交流
町内	鷹栖小学校スクールバンド	楽曲披露
町内	鷹栖すみれ合唱団	合唱
町内	鷹栖青年会	行事手伝い
町内	鷹栖中学校吹奏楽部	楽曲披露
町内	鷹栖町赤十字奉仕団	外窓拭き
町内	長寿老人会	お話相手
町内	町内老人会	お話相手
町内	21区老人会	お話相手
町内	8区老人会	お話相手
町内	ひまわり会	シーツ交換
町内	藤野老人会	お話相手
町内	フレッシュ親睦会	お話相手
町内	北成老人会	お話相手
町内	北斗老人会	お話相手
町内	松平老人会	お話相手
町内	睦老人会	お話相手
町外	北の大地	踊り(よさこい)披露
町外	照鷹会	民謡披露
町外	セラピードッグあさひかわ	犬との交流会
町外	大雪スノーベル	チアリーディング披露
町外	大雪風神会	踊り(よさこい)披露

町外	ピーク・ニャ・デ・ロス・アンデス	南米民族音楽演奏
学校	旭川大学短期大学部	行事手伝い
学校	旭川福祉専門学校	行事手伝い
学校	北野小学校 4年生	交流会
学校	鷹栖小学校ボランティア委員会	交流会
学校	鷹栖高等学校	行事手伝い
学校	鷹栖養護学校高等部	交流会
学校	北海道環境福祉専門学校	行事手伝い

5. 面会状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会者延べ 人数(名)	217	261	220	220	366	197	240	205	195	200	188	236	2,745



6. 行事

実施日	行事名	内容	担当者
平成 25 年 5 月 2 日	花見ツアー	午前・午後に分かれ、春光台公園へ行き桜の花を見ながら季節を感じて頂く。	橋田
5 月 23 日	北野小学校交流会	北野小学校 4 年生の児童が来苑され、ご入居者と一緒にゲームを行ったり、歌の披露をして下さる。	尾上
6 月 11 日	たんぼぼユニット ト外食ツアー	バイキングレストランで、ご家族やスタッフと会話を楽しみながら昼食を召し上がる。	富居 谷口
6 月 25 日	鷹栖養護学校交流会	鷹栖養護学校 2 学年の生徒が来苑され、ご入居者と一緒にゲームを楽しむ。	尾上
7 月 14 日	さつき祭	出店や太鼓やダンス、吹奏楽などのステージを楽しみ、ご入居者がご家族や地域の方々と交流を図り夏を楽しむ。	さつき祭 実行委員会
7 月 18 日	鷹栖養護学校交流会	鷹栖養護学校 1 学年の生徒が来苑され、七夕飾りを一緒に作成する。	尾上

7月29日	なでしこユニット 花火大会	夕食後より中庭で、花火を楽しまれる。	高橋
8月11日	みこし渡御観覧	さつき苑正面玄関にて、みこし渡御を観覧する。	中村
8月11日	熱夏フェスタ	花火大会へ出かけ観賞し楽しんで頂く。	中村
8月22日	焼き肉パーティー	さつき苑の中庭で焼き肉を楽しみながら、季節を感じて頂く。	設楽
8月29日	すずらんユニット 流しそうめん	すずらんユニットの、ご入居者と職員と一緒に流しそうめんを楽しみ昼食を食べる。	橋田
8月30日	なでしこユニット すいか割り	さつき苑の畑で作ったスイカを、ご入居者様に割って頂き皆様に味わって頂く。	明石
9月16日	新秋祭	ご家族と共に敬老の日、長寿の祝いをする。	新秋祭 実行委員会
9月27日	なでしこユニット 外出ツアー	キトウシ森林公園までドライブし、秋を肌で感じ楽しんで頂く。	石岡
10月8日	北野小学校4年生 疑似体験学習	北野小学校4年生の子供達が来苑し、実際に福祉用具や車輦に触れることを通して、お年寄りへの理解を深める。	尾上
10月17日	鷹栖養護学校 交流会	鷹栖養護学校3年生が来苑し、ご入居者と一緒にハロウィンの飾りものを作成したり、歌の披露を行って下さる。	尾上
10月28日	たんぼぼユニット 芋煮会	たんぼぼユニットご入居者のご家族も招いて、一緒に鍋を作り楽しみながら味わって頂く。	中村
12月14日	なでしこユニット 忘年会	1年の締めくくりとして、ご入居者と一緒に鍋を囲みながら楽しい時間を過ごす。	佐藤(恒)
12月20日	すずらんユニット 忘年会	ご入居者と一緒に普段とは違うご馳走を食べ、交流し1年を締めくくる。	渡部
12月23日	たんぼぼユニット 忘年会	1年間元気に過ごせたことを皆様と一緒に喜び、1年を締めくくる。	谷岡
12月25日	ライオンズ 寿司会	鷹栖町ライオンズクラブの提供により、寿司パーティーを行う。	尾上
12月27日	餅つき	年末恒例の行事をご入居者と地域の方々、職員と共に楽しみ、季節を味わって頂く。	渡部
平成26年1月12日	新年会	お正月料理を味わいながら、ご家族と共に新しい年をお祝いする。	新年会 実行委員会
3月4日	寄せ鍋食事会	ご入居者と職員が鍋を囲み、心と体を温めながら冬を感じて頂く。	鈴木栄養士

3月28日	すずらんユニット外出	お誕生日を迎えられる方を交えて、夜の夕食を行い美味しい料理を味わって頂く。	近間
-------	------------	---------------------------------------	----

7. 会議

(1) 生活福祉課会議

月 日	議題内容	参加人数
平成 25 年 4 月 10 日	・業務改善について・事故発生、ヒヤリハットについて・予定の確認・満足度調査及びサービス自己評価について・平成 24 年度事業報告及び平成 25 年度事業計画について・緊急時対応、オンコールの判断について・高齢者虐待・身体拘束についてほか	23 名
6 月 12 日	・業務改善について・事故発生、ヒヤリハットについて・予定の確認 ・救急カートについて ・東日本大震災義援金協力のお祝い ・さつき祭についてほか	20 名
8 月 12 日	・業務改善について・事故発生、ヒヤリハットについて・予定の確認 ・敬語について ほか	19 名
10 月 9 日	・業務改善について・事故発生、ヒヤリハットについて・予定の確認 ・玄米食の試食	21 名
12 月 11 月	・業務改善について・事故発生、ヒヤリハットについて・予定の確認	20 名
平成 26 年 2 月 12 日	・業務改善について・事故発生、ヒヤリハットについて・予定の確認 ・基礎介護研修効果測定について・東日本大震災義援金協力のお祝い	21 名

(2) リーダー会議

月日	議題内容	参加人数
平成 25 年 4 月 9 日	・前月の事故発生状況の確認と検証・業務確認、改善について・各ユニットより（困難事例検討、スタッフマネジメント）・活動計画進捗状況の確認・稼働率の確認・入院者退居者の分析と検証・その他（満足度調査、自己評価の報告、平成 24 年度事業報告・活動計画評価、平成 25 年度事業計画について）ほか	7 人
5 月 7 日	・前月の事故発生状況の確認と検証・業務確認、改善について・各ユニットより（困難事例検討、スタッフマネジメント）・活動計画進捗状況の確認・稼働率の確認・入院者退居者の分析と検証・その他（在宅部門の基礎介護研修講師協力について、介護実習の受け入れについて、リフレッシュ休暇について、個別記録の整理について）ほか	7 人
6 月 4 日	・前月の事故発生状況の確認と検証・業務確認、改善について・各ユニットより（困難事例検討、スタッフマネジメント）・活動計画進捗状況の確認・	7 人

	稼働率の確認・入院者退居者の分析と検証・その他（面談制度の実施について）ほか	
7月2日	・前月の事故発生状況の確認と検証・業務確認、改善について・各ユニットより（困難事例検討、スタッフマネジメント）・活動計画進捗状況の確認・稼働率の確認・入院者退居者の分析と検証・その他（8月以降の体制について）ほか	7人
9月2日	・前月の事故発生状況の確認と検証・業務確認、改善について・各ユニットより（困難事例検討、スタッフマネジメント）・活動計画進捗状況の確認・稼働率の確認・入院者退居者の分析と検証・その他（感染症対策について、100%玄米粥の実施について）ほか	7人
10月3日	・前月の事故発生状況の確認と検証・業務確認、改善について・各ユニットより（困難事例検討、スタッフマネジメント）・活動計画進捗状況の確認・稼働率の確認・入院者退居者の分析と検証・その他（100%玄米粥の提示実施について、平成25年度活動計画進捗状況の確認）ほか	7人
11月5日	・前月の事故発生状況の確認と検証・業務確認、改善について・各ユニットより（困難事例検討、スタッフマネジメント）・活動計画進捗状況の確認・稼働率の確認・入院者退居者の分析と検証・その他	7人
12月3日	・前月の事故発生状況の確認と検証・業務確認、改善について・各ユニットより（困難事例検討、スタッフマネジメント）・活動計画進捗状況の確認・稼働率の確認・入院者退居者の分析と検証・その他（玄米粥実施後の経過共有）ほか	7人
平成26年1月7日	・前月の事故発生状況の確認と検証・業務確認、改善について・各ユニットより（困難事例検討、スタッフマネジメント）・活動計画進捗状況の確認・稼働率の確認・入院者退居者の分析と検証・その他（平成26年度事業計画の作成および平成25年度事業報告の作成について）ほか	7人
3月4日	・前月の事故発生状況の確認と検証・業務確認、改善について・各ユニットより（困難事例検討、スタッフマネジメント）・活動計画進捗状況の確認・稼働率の確認・入院者退居者の分析と検証・その他（平成26年度事業計画の作成および平成25年度事業報告の作成、リーダー業務の引継ぎについて）ほか	7人

（3）たんぽぽユニット会議

月日	議題内容	参加人数
平成25年4月16日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について 本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定	8名

5月16日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について ユニット活動計画について・月間目標の設定	8名
6月18日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について ユニット活動計画について・月間目標の設定・虐待についての勉強会	8名
7月19日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について 本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定	8名
8月20日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について ユニット活動計画について・月間目標の設定	8名
9月25日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について 本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定 ターミナルケアプランの検討	8名
10月18日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について ユニット活動計画について・月間目標の設定	8名
11月21日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について 本人、家族からの要望について・ユニット活動計画について・月間目標の設定	8名
12月13日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について ユニット活動計画について・月間目標の設定	8名
平成26年1月17日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について ユニット活動計画について・月間目標の設定	8名
2月14日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について ユニット活動計画について・月間目標の設定 平成26年度ユニット活動計画について	8名
3月18日	ケアカンファレンス・ケアプランの定期更新者（カンファレンス）・事故の検討 褥瘡発症者及びハイリスク者の経過と対応・栄養マネジメント・抑制廃止について 月間目標の設定 平成26年度ユニット活動計画について	8名

(4) なでしこユニット会議

月日	議題内容	参加人数
平成 25 年 4 月 19 日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項(担当変更について、オペレーションについて等)、5月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
5月21日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス・食事姿勢について)、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討(分析)、今月の検討・確認事項(記録時間の確保について等)、6月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
6月21日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項(座位姿勢の修正について、分について等)、7月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
7月23日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項(居室清掃について、言葉遣いについて等)、8月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
8月27日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項(担当変更について、オリゴ糖について等)、9月の誕生者、行事の予定、今月の目標	13名
9月18日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項(パットの当て方について等)、10月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
10月22日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項(居室の換気について等)、11月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
11月15日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項(設備などの破損について等)、12月の誕生者、行事の予定、今月の目標	11名
12月16日	ケア内容の変更(ケアカンファレンス)、ケアプランの定期更新者(カンファレンス)、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族	12名

	からの要望・苦情、事故の検討（対応策）、今月の検討・確認事項（衣類整理について等）、1月の誕生者、行事の予定、今月の目標	
平成26年1月28日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討（検証）、今月の検討・確認事項（加湿について、言葉遣いについて等）、2月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名
2月25日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討（検証）、今月の検討・確認事項（担当変更について等）、平成26年度事業計画策定、3月の誕生者、行事の予定、今月の目標	13名
3月21日	ケア内容の変更（ケアカンファレンス）、パット形態の変更・検討、ケアプランの定期更新者（カンファレンス）、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人・家族からの要望・苦情、事故の検討、今月の検討・確認事項（担当変更について、オペレーションについて等）、4月の誕生者、行事の予定、今月の目標	12名

（5）すずらんユニット会議

月日	議題内容	参加人数
平成25年4月24日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、しつらえについて、掲示板改装について、 加湿器撤去について、目標設定	11名
5月24日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討（平成 24年度の事故の分析）、年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、加湿器撤去につ いて（実施場所の分担）目標設定	11名
6月25日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、早番者の上がり時間についての確認、 車椅子洗濯後の対応について、下剤を外した方への対応、目標設定	11名
7月26日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、居室環境・消耗品について、目標設定	11名

8月23日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、目標設定	11名
9月30日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、水分提示について、扇風機の片付け・加 湿器の確認について、目標設定	11名
10月25日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、汚れた車椅子の対応について、目標設定	11名
11月27日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、荒田様のリネン交換について 小澤様のアイスマッサージについて リハビリパンツから布パンツへの変更について 目標設定	11名
12月26日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、秦様への自尊心を配慮した対応について 目標設定	11名
平成26年1月23日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、本庄様の今後の対応について、目標設定	12名
2月27日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、ユニット年間計画の作成、目標設定	11名
3月25日	ケアカンファレンス、ケアプランの定期更新、褥瘡発症者及びハイリスク者 栄養マネジメント、抑制廃止の取り組み、本人家族からの苦情、事故の検討、 年間計画評価、来月入居者誕生日の確認、日勤者退勤時の引き継ぎについて 目標設定	9名

(6) ナース会議

月日	議題内容	参加人数
平成25年4月15日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報	4名

	共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・機能訓練について・業務改善と確認 ・その他（肺炎球菌ワクチン接種について、活動計画について、心電図計測について、救急救命講習について、静養室の改修について）	
6月6日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・機能訓練について・業務改善と確認 ・その他（下剤の見直しについて）	4名
7月18日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・機能訓練について・業務改善と確認 ・その他（下剤の見直しについて）	4名
8月5日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・機能訓練について・業務改善と確認 ・その他（下剤の見直しについて）	4名
9月5日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・機能訓練について・業務改善と確認 ・その他（下剤の見直しについて）	4名
10月7日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・機能訓練について・業務改善と確認 ・その他（下剤の見直しについて、インフルエンザ予防接種予定について）	4名
11月7日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・機能訓練について・業務改善と確認 ・その他（下剤の見直しについて）	4名
12月5日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・機能訓練について・業務改善と確認 ・その他（下剤の見直しについて）	4名
平成26年2月5日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・機能訓練について・業務改善と確認 ・その他（下剤の見直しについて、心電図検査について）	4名
3月10日	・入退院通院状況の確認・退居者の状況確認と新規入居者と利用者の情報共有・褥瘡発症者及びハイリスク者への対応・ケース検討・機能訓練について・業務改善と確認 ・その他（下剤の見直しについて、心電図検査について、事業報告、事業計画について）	4名

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 生活福祉課

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待通りの結果 C:取り組んだ D:全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月						中間評価	10月						ゴール(達成目標)	最終評価	
					4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	(1)	命と尊厳を守り、安心して生活できる施設作りに、組織的に取り組む	①利用者の安全確保と事故防止を最優先に考え、各会議で具体的に検討、予防と再発防止に努め、前年度より、10%減少をめざす。四半期に1度事故の傾向を分析しリーダー会議、ユニット会議で報告する	米澤	計画	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討(事故の傾向調査)	会議にて検討	会議にて検討	C 事故件数 前年比 +5.6% 特異:40件(前年比-3件) ショート:14件(前年比+6件)	会議にて検討	会議にて検討(事故の傾向調査)	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討(事故の傾向調査)	・事故分析を強化し、事故発生前年比-10%にする	B 事故件数:104件(前年比-26%) ・特異:79件(前年124件) ・ショート:25件(前年17件)
			実施		事故件数特異:7件 ショート:1件	事故件数特異:7件 ショート:1件	事故件数特異:9件 ショート:2件	事故件数特異:7件 ショート:2件	事故件数特異:8件 ショート:5件	事故件数特異:2件 ショート:3件	事故件数特異:7件 ショート:2件		事故件数特異:7件 ショート:2件	事故件数特異:8件 ショート:4件	事故件数特異:6件 ショート:2件	事故件数特異:8件 ショート:0件	事故件数特異:7件 ショート:2件			
			③医師及び感染症対策委員会と連携しながら、ノロウイルス、インフルエンザの予防に努める。(目標:インフルエンザ・ノロウイルス集団発症0件)	石川 稲井	計画				食中毒予防研修		インフルエンザノロウイルス感染予防研修	B 感染症発症0件	インフルエンザノロウイルス感染予防研修							
実施	発症0件	発症0件	発症0件		発症0件	発症0件	発症0件	発症0件	発症0件	発症0件	発症0件		発症0件	発症0件	発症0件	発症0件	発症0件			
		入居者の健康管理を適切に(計画的に)行い、疾病の予防に努める		ナース	計画													計画通り予防接種、検査を実施することができる	C 予定通り実施することができた	
		実施			・肺炎球菌ワクチン接種者リストアップ② ・心電図検査実施(全入居者)~10月	・肺炎球菌ワクチン接種①			・肺炎球菌ワクチン接種者リストアップ②		肺炎球菌ワクチン接種② インフルエンザワクチン予防接種案内									
2	(1)	安全で根拠に基づく介護サービスを確実に提供するためのケアシステムを運用する	②適切な介護サービスが提供されているか、また、病気の発症及び重症化の早期発見のため、ケアチェックを継続実施します。(目標:入院日数前年比-10%)	尾上	計画							B 前年比 -7.9% 入院延べ日数175日間 1ヶ月平均 29.1日 延べ入院者数17名(前年度実績) 入院延べ日数190日間 延べ入院者数20名							目標:入院日数 前年比-10%(298日以下)	A 入院延べ日数 270日間 1ヶ月平均 22.5日 年間入院者数 23名(実人数)(前年度実績) 入院延べ日数 328日間 延べ入院者数 32名
			実施		入院者:2名 日数:35日間	入院者:7名 日数:29日間	入院者:2名 日数:35日間	入院者:1名 日数:26日間	入院者:2名 日数:37日間	入院者:2名 日数:14日間	入院者:1名 日数:21日間		入院者:4名 日数:5日間	入院者:1名 日数:29日間	入院者:3名 日数:15日間	入院者:1名 日数:9日間	入院者:2名 日数:16日間			
3	(1)	介護の専門性を高め、ご入居者それぞれにあわせた、より良質なケアサービスを提供する	①下剤服用による苦痛、認知症の周辺症状の悪化を予防するため下剤の使用を見直し、自然排泄のための補助療法等を充実させることで、下剤使用者を前年比-20%をめざします。 ②トイレでの排泄の可能性、オムツによる不快感の軽減を図り、尊厳とプライバシーを守る排泄を目指します。	尾上 米澤 ナース	計画		現状把握	検討・評価(各ユニット2名ずつ)	検討・評価(各ユニット2名ずつ)	検討・評価(各ユニット2名ずつ)	検討・評価(各ユニット2名ずつ)	B 4月~9月 ①下剤の使用 刺激性下剤使用者(-5名) 緩下剤使用者(-4名) ②-1おむつ使用者 日中6名(-1名) 夜間(-1名) ②-2トイレでの排泄 日中±0名 夜間(±0名)	検討・評価(各ユニット2名ずつ)	検討・評価(各ユニット2名ずつ)	検討・評価(各ユニット2名ずつ)	検討・評価(各ユニット2名ずつ)	検討・評価(各ユニット2名ずつ)	検討・評価(各ユニット2名ずつ)	下剤の使用者数を前年度より-20%減少を目指します。 ひと月各ユニット2名ずつ排泄ケアの検討を行う	S 下剤常用者前年比-55% ①下剤使用者について ・刺激性下剤使用者 常用:10名→2名(-80%) 頓服:12名→8名(-34%) ・緩下剤使用者 常用:19名→10名(-48%) 頓服:2名→0名(-100%) ②オムツ等の見直し (平25年6月~平26年3月) ・テープ式オムツ 7名→4名(-43%) ・リハビリパンツ 21名→7名(-67%) ・下着 24名→41名(+170%)
			実施			①刺激性下剤常用10名、緩下剤常用19名 おむつ使用者数(夜間) ①リハビリパンツ 21(24) ②テープ式 7(13) ③パット 45(45)	①刺激性下剤常用4名、緩下剤常用18名	①刺激性下剤常用4名、緩下剤常用17名	①刺激性下剤常用5名、緩下剤常用15名 ②おむつ使用者数(夜間) ・リハビリパンツ 23(25) ・テープ式 6(12) ・パット 47(44)	①刺激性下剤常用5名、緩下剤常用14名 ②おむつ使用者数(夜間) ・リハビリパンツ 23(27) ・テープ式 5(7) ・パット 47(44)	①刺激性下剤常用4名、緩下剤常用11名 ②おむつ使用者数(夜間) ・リハビリパンツ 13(12) ・テープ式 5(7) ・パット 43(42)		①刺激性下剤常用2名、緩下剤常用12名	①刺激性下剤常用2名、緩下剤常用12名	①刺激性下剤常用2名、緩下剤常用10名					
4	(2)	地域と家族の力を活かした施設運営の基盤を整備する	①満足度調査を実施し、サービス内容について評価する ②家族会の立ち上げにむけた調査、準備を行う ③依頼し協力をいただいたボランティアの方々に感謝の気持ちを表すための機会を企画・実施する	尾上 米澤	計画		広報紙にて公表(平成24年度分)		つきき祭礼状の送付・打ち上げ	家族会立ち上げ準備		C ①および②については計画通りに実施するも、③は実施できず				調査票配布調査実施	集計 次年度事業計画の検討	・計画に基づき、計画・実施することができる。 ・評価を行い、次年度のサービスの改善、向上に活用する。	C 予定通り実施し、前年度の調査よりも評価が上昇した	
			実施			実施	実施	未実施	未実施				実施	実施						
6	(3)	入居者の楽しみ、生きがいづくり	①アクティビティ(外出、季節行事、レクリエーション活動など)を充実し、計画的に実施します。 ②ご入居者が、安心かつ楽しみを持って暮らせる、過ごしやすい環境を提供します。 ③ご入居者とご家族と一緒に楽しめる行事を企画・実施します。	米澤 谷口 佐藤 設楽	計画		・5/4花見 ・5/26煙おこし 外出(たんぼぼ)	・6/14 外出(たんぼぼ)	・7/14 つきき祭 ・7/30 外出(すずらん)	・8/2焼肉 ・戦没者の集い ・8/10 夏夏フェスタ	・9/15 長生き感謝祭 ・9/16 新秋祭 ・9/27外出(なでしこ)	B パートスタッフの増員により、リハビリの時間を新たに予定通り実施することができた				・12/24ライオンズ ・12/27もちつき	・1/13新年会	・計画どおり行事を実施することができる	B 概ね予定通り実施することができた	
			実施			実施	実施	実施	実施				実施	実施						
7	(3)	美味しく楽しめる食事の提供	②見た目もよく、おいしい嚥下食の提供に向け、高齢者の嚥下の特徴、リスクの調査、研究を行い、年度内の導入を目指します。	鈴木 尾上	計画		調査・試作		実施・評価			B ゼリー食の改善を図るため、栄養士と厨房スタッフが研修に参加する。毎日ではないが、食材ごとにゼリーにしたり、パーナーで焼き目をつけるなど、食感や見た目などの質の向上に取り組んだ。	味調査・試作			実施・評価		計画通り実施し、見た目が良く、おいしい嚥下食を導入できる	C 見た目を考慮した付け合せの改善、グル化剤の見直しが出来た。今後は作業工程により食材の分け方、切り方など完成度の統一化を図りたい	
			実施			5/1ソフト食 用型抜き購入(3種類)	6/14普通食 にそっくりな嚥下食実践セミナー参加							他施設との情報交換						
7	(3)	美味しく楽しめる食事の提供	④食づくりに参加することによる生活の質の向上や、季節感のあるものを食べることに四季の移り変わりをより感じてもらえるよう、手作りおやつ等の提案、実施します。	鈴木 米澤	計画	4/29昭和の日祝膳	5/3憲法の日祝膳 5/4みどりの日祝膳 5/5こどもの日祝膳	パティシエールズッキー①	7/15海の日祝膳	8/2 焼肉 8/15 焼肉祝膳	9/16新秋祭 9/23秋分の日祝膳	A 予定通り実施することができた。また、初企画のパティシエールズッキーで作った水まんじゅうが、利用者から大好評であった。	・10/14 体育の日祝膳 ・パティシエールズッキー②	11/3文化の日祝膳 11/23勤労感謝の日祝膳	12/23 天皇誕生日祝膳 12/24 ライオンズクリスマス 12/27もちつき	1/12新年会 1/13成人の日祝膳	2/11建国記念日 パティシエールズッキー③	3/21春分の日祝膳 パティシエールズッキー④	・年間予定の計画的な実施	B 祝膳については計画的に実施できた。新企画は後期は未実施となってしまう
			実施			実施	実施(水まんじゅう)	実施	実施	実施			実施	実施	実施	実施	実施	実施		

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 生活福祉課

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:取り組んだ D:全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	
7	(3)		⑥玄米食の健康に与える効果を調査し、健康食として、玄米ご飯の導入を目指します。	鈴木尾上	計画	調査・試作			試食・評価		B 予定通り実施することができた	設備検討	導入・実施	評価・改善	導入・実施	評価・改善	導入・実施	計画的に実施し、おいしい玄米食を提供できる	A 玄米粥取り組み先進施設からの情報収集、試作試食を重ね、導入することができた。味についても入居者から好評である。	
8	(3)	安全で安心できる食事の提供	②献立のみではなく、食器へ配慮し、見た目にも楽しく食べやすい食事を提供します	鈴木	計画					新規食器購入の検討	C 新規食器の購入はないが、個別の状態に合わせた使いやすい食器を選定・購入したり、必要備品を随時購入した	新規食器購入			不足食器確認	不足食器購入	嗜好調査の実施	・年度末嗜好調査において、「見ため・いろいろ」項目の満足度の向上	C 不足食器は購入したが新規食器については1種類のみの購入にとどまった	
9	(4)	現任職員及び新任リーダーの育成と新任職員研修の見直しを行う	①現任職員のためのレベルアッププログラム(基礎介護研修)を継続実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性を向上させる。	尾上	計画	4/10 緊急時対応・身体拘束・高齢者虐待研修	6/12, 6/19 救急救命研修				C 予定通り実施することができた	10/9,16 食事ケア研修	11/13,20 排泄ケア研修	12/11,18 トランスファー、褥瘡、ボジショニング研修		2/12,19 認知症ケア研修	3/12,19 効果測定	・より実践的な研修内容で開催し、個別ケアの質の向上をはかる。	C 基礎介護研修については予定通り実施することができた。効果測定は年度内に実施することができず	
9	(4)		③ケアプランとスタッフの取り組み目標を連動させることで、入居者の生活の質の向上を図るとともに、スタッフの仕事の目標、達成感を感じられる仕組みをつくり、導入します。	尾上	計画	準備	準備周知	実施	実施	実施	D 実施できず	評価再検討	実施	実施	実施					
10	(4)	やりがいがあり、働きやすい職場環境づくり	①リフレッシュ休暇(5~7連休)の計画的付与	米澤	計画	希望の取りまとめ	取得(2名)	取得(2名) スタッフの退職に伴い、計画を変更	取得(2名)	取得(2名)	取得(2名)	C 9名取得 スタッフの中途退職に伴い、計画を一部変更(7連休→5連休)し、実施する。	取得(2名)	取得(2名)	取得(2名)	取得(2名)	取得(2名)	取得(2名)	・パート職員を除く全職員が5日間以上の連休を取りリフレッシュをすることができる。	C 16名取得 概ねリフレッシュ休暇を取得することができた
10	(4)		②記録等による残業の改善	尾上	計画	現状把握	検討	改善案実施	評価・見直し		C 予定通り取り組んだ。取組前に比べ、スタッフが互いに声を掛け合い、以前よりは改善している(終業時間前に記録に入るできるようになった)					評価		各勤務の残業を20分以内とする	C 取組前よりも意識はできており、以前よりも改善はされている。しかし、まだ十分とは言えないため継続して業務を見直す	
11	(5)	適正収益を確保し、安定した運営を行う	①入退居の迅速な手続きにより空床を減らし、また入院者の減少により稼働率の向上を目指す。(目標稼働率:特養 98% ショート 85%)	尾上	計画	会議で確認	会議で確認	会議で報告・分析	会議で報告・分析	会議で報告・分析	会議で報告・分析	B 上半期平均 特養:97.8% ショート:83.0% 目標未達も、ショートステイの稼働率が前年よりも大幅に上昇している。	会議で報告・分析	会議で報告・分析	会議で報告・分析	会議で報告・分析	会議で報告・分析	会議で報告・分析	目標稼働率 ・特養:98%以上 ・ショート:85%以上 ・月例のリーダー会議にて実績を報告する。	A 年間稼働率 ・特養:98.4% ・ショート:81.3%
11	(5)		②設備、消耗品に対してのコスト意識を持ち、オムツ費用支出削減(-5%)に努めます。	尾上渡部	計画	オムツコストの把握	オムツコストの把握				D 上半期オムツコスト 1,864千円前年比+0.6%(7,254円) オムツコストの把握のみにとどまり前年度と大きく差はないが、平均要介護度が重度化していることを考えると一定の評価はできる。下半期は情報を踏まえて使用方法などを見直していきたい。	オムツの使用 方法見直し・検討	オムツの使用 方法見直し・検討	オムツの使用 方法見直し・検討	オムツの使用 方法見直し・検討	オムツの使用 方法見直し・検討	オムツの使用 方法見直し・検討	最終評価	オムツ費用支出削減(-5%)	B 11月より本格的に個別にオムツを見直しを実施し、結果的にオムツ使用者が減少した。 ・平成25年度オムツコスト 3691千円(前年比-2.4%) ①リハパン 449千円(-11.2%) ②テープ式 234千円(-3.2%) ③パット 2832千円(-0.8%)
13	(8)	介護実習の積極的な受け入れと、丁寧かつ専門性の高い教育を行う	①介護実習受け入れプログラムを作成・運用します。 ②介護実習プログラムを作成・運用します。 ③行事等への積極的な参加を促進します。 ④現任職員による介護技術レクチャー、意見交換の場等をつくります。	米澤尾上	計画	実習プログラムの確認・見直し	実習生によるさつき祭ボランティア参加 およびかけ	実習プログラム実施の評価・見直し 実習生によるさつき祭ボランティア参加	新秋祭ボランティア呼びかけ	新秋祭ボランティア参加	B 実習生による行事ボランティアに多数協力を得ることができた。	実習プログラムの評価・見直し	実習プログラムの新年度ボランティアへの呼びかけ	新年会ボランティアの参加	実習プログラムの評価・見直し				・実習プログラムの見直し・運用 ・実習生の積極的な行事への参加 推進	C 予定通り実施することができた
		環境整備	①静養室の改修(トイレ、洗面台の設置) ②なでしこケアセンター混合栓への切り替え ③西棟居室混合栓へ入れ替え ④脱衣場へのFUNレストテーブルの設置 ⑤厨房カウンターサッシ取り付け	尾上	計画		⑤厨房サッシ 検討・施工				D 予算の都合により未着手							計画的に改修を行いより暮らしやすい環境をつくることできる	C 予定していた改修等がほとんど実施できず	

平成25年度鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑事業報告

1 総括

H25年度ヘルパーステーションでは法人の第三期中期経営3か年計画の5つの重点目標のうち、特に「人材育成・チーム力向上」と「地域・家族との連携・共同」に照準をあて、活動してきた。H24年度にも目立っていたことであるが、H25年度になってもサービス開始からほどなくして死亡・施設入居等で利用停止になった人は利用停止者10名のうち6名と半数を超えている。最短ではわずか3週間足らずで死亡されている。こうした方を見送る度に「もっと早く支援できることがあったはず」とやりきれぬ思いを繰り返してきた。H18年より7年間にわたり地域活動として続けてきた町内各地区の盆踊り大会への参加を見直し、介護に携わる者の立場から別の形での地域活動ができないかと考えた結果、生活課題を抱えながら声をあげる術もないまま、深刻な事態を迎えてしまう人の存在に早く気づき、支援の手を届けたいという思いからサロン活動としての茶話会の開催に至った。まさに日々の訪問活動をする中でつきつけられた課題の中から生まれた地域活動と言える。一方、業績をみると利用状況は4月の時点で非該当2名、要支援者19名、要介護者17名で前年同月比利用者数マイナス5名、訪問回数も前年同月比マイナス85回での非常に厳しいスタートであった。しかし年度末3月の実績では利用者数前年同月比プラス2名、非該当プラス1名、要支援者マイナス2名要介護者プラス5名、訪問回数はプラス117回と回復傾向にある。安定経営のラインにはほど遠い現状ではあるが居宅、通所、訪問の在宅部署総力をあげての連携が確実に業績回復への兆しをみせているといえる。

利用者の動向としては要支援者より要介護者が増えており在宅でも重度化の傾向が感じられる。そうした中では入浴拒否・認知症・劣悪な住環境など、言わば「困難事例」に近い対応が求められ、6名のヘルパーが一丸となって支援に取り組む過程でヘルパーも鍛えられ、チーム力が向上している。常勤1名が通所介護に移動となった8月から下半期にかけ、訪問件数が大幅に伸びるも、体調を崩すヘルパーもなく、奮闘した一年と評価したい。

2 次年度に向けての展望

H25年度に新たな地域活動としてスタートした茶話会をより、魅力のある茶話会・参加しやすい茶話会へと成長させ「地域のお茶の間」として定着させたい。またH26年度はサービス提供責任者を2名体制としたので利用者に対するきめの細かいニーズの把握やサービス提供状況の改善を行っていく。またヘルパー研修では、サービス提供時に現場でより役立つ内容を取り入れ、実務に活かしたい。訪問介護計画の中では生活能力を失っていく認知症の方の生活改善に工夫を凝らし、居宅プランの中でのヘルパーの役割を確実に果たし、これまで以上に利用者・家族から信頼される事業所をめざしたい。

3 運営状況・統計資料

(1) 根拠に基づく介護サービスの提供の基盤整備

① 根拠に基づくサービス提供

訪問介護計画作成時、居宅プランを精査し、サービスの根拠をよく理解し訪問介護計画に連動させる。

また、ヘルパーの立場から居宅プランに疑問や提案がある場合はヘルパー会議に図りケアマネに伝え改善につなげる。

② サービス内容・提供方法の標準化

サービス手順書は随時作成し、変更内容の詳細についてはヘルパー会議で各ヘルパーの意見を集約し、より良い方法にまとめ統一を図る。新規契約者については初回訪問で把握しきれない点があり、作成が遅れぎみになるのでこの点を改善していきたい。

(2) 地域と家族の力を活かした事業所運営の基盤整備

① サービス評価と第三者評価の推進

今年度の満足度調査では全体を通し「満足」・「やや満足」の回答が大半ではあったが接遇・マナーや職業意識にマンネリ化や甘さが生じていないか振り返る必要を感じた。また、サービス提供時間が制約を受ける中では、ゆっくり相談にのるという余裕がないのが現実で、次年度からはモニタリング訪問の時間にゆとりを持たせ、この点を改善していきたい。

② 職員の地域活動の推進

H18年から7年間に渡り実施してきた町内各地区の盆踊り大会に参加してきたが今年度から新たなサロン活動に変更して茶話会を開催した。

	北斗・北成・中央地区	鷹栖地区	北野地区	中央地区
日程	4/21	6/23	8/25	11/10
参加人数	19名	28名	22名	12名

③ 利用者・家族と職員との交流促進

今年で11回を数える「交流を深める食事会」は根強い人気の鍋を中心にしたメニューで企画した。特にちゃんこ鍋の味は好評で盛会のうちに終了した。

食事会	メニュー	経費	参加人数
9/29	赤飯・稲荷ずし・茶碗蒸し・オードブル・お吸い物・アイスクリーム	65,000円	27名

(3) ヘルパーの専門性と介護技術の向上を図る

① 専門性と介護技術の向上

ヘルパー研修では特養職員やなごみの家の職員を講師に招き「基礎介護講習」を中心に据えて実施した。生活援助が業務の大半を占めるヘルパーにとっては苦手な身体介護の分野での知識を得ることができ、参加者から好評を得た。

<ヘルパー研修>

開催日	テーマ	講師	参加人数
4/4	生活援助の見直し	西中	8人
5/8	夏野菜の簡単スピード料理	上野	7人
5/27	一般救急救命講習	鷹栖消防署	3人
5/31	一般救急救命講習	鷹栖消防署	3人
7/12	食中毒予防研修	己上栄養士	8人
8/5	安全配慮と事故防止	伊藤	7人
9/11	基礎介護講習（食事）	米沢	7人
10/24	基礎介護講習（排泄）	川村	5人
11/27	基礎介護講習（入浴ケア）	谷	5人
12/11	ホームヘルパーの職業倫理	西中	6人
1/8	業務改善について	西中	5人
2/25	基礎介護講習（トランスファー）	設楽	5人

<外部研修>

研修日	研修名	研修内容	参加者
7/8～9	道ホームヘルプサービス研究大会	魅力ある事業所になるために	上野
11/24	スキルアップ研修	重介護者の安全配慮	高橋

② ヘルパー会議を毎月開催

ヘルパー会議を定期開催し、居宅との情報共有化を図り、利用者にとって、より最適なサービスの提供に務めた。事業所内の課題や行事計画についても検討し事業所運営を行った。

<ヘルパー会議開催状況>

開催日	内容	参加者
4/17	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・H24年度活動計画について ・茶話会について	ヘルパー7名 居宅 2名
5/22	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・茶話会について	ヘルパー8名 居宅 3名
6/26	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・茶話会について	ヘルパー7名 居宅 3名
7/24	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・食事会について ・茶話会について	ヘルパー8名 居宅 3名
8/21	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・食事会について ・茶話会について	ヘルパー7名 居宅 2名
9/18	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・食事会について	ヘルパー7名 居宅 2名
10/23	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・食事会の総括 ・活動計画進捗状況 ・茶話会	ヘルパー7名 居宅 2名
11/20	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・茶話会について ・活動計画中間評価	ヘルパー7名 居宅 2名
12/25	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告	ヘルパー6名 居宅 3名
1/22	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・H26事業計画策定について	ヘルパー6名 居宅 3名
2/19	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・茶話会について	ヘルパー6名 居宅 3名
3/19	・茶話会について	ヘルパー6名
3/21	・情報交換 ・業績報告 ・経営改善会議の報告 ・次年度事業計画について ・茶話会について	ヘルパー7名 居宅 3名

(4) 安全を確保し、安心を提供する基盤の整備

① リスクマネジメントの徹底

<過去2年間とH25年度の事故発生状況>

	H23年度	H24年度	H25年度
私物破損	9件	2件	3件
訪問忘れ	0件	0件	1件
訪問遅れ	1件	0件	0件
苦情	0件	1件	3件
救急搬送	0件	1件	0件
車両関係	0件	0件	1件
転倒など	3件	1件	4件
合計	13件	5件	12件

<H25年度私物破損内容>

発生日	内容	原因	対策
4/24	皿が割れる	不適切な取り扱い	丁寧に扱う
11/15	歯ブラシ立てが割れる	落下	慎重に扱う

H25年度の事故発生状況をみると「私物破損」は3件であった。取り扱いの不注意によるものである。車両関係では冬道で縁石に乗り上げホイールカバーがはずれる事故があった。身体介護では爪切りの際に指を傷つける事故が2件発生している。調理について発生した苦情については利用者の要望の確認不足によるものがあり、指示をきちんと理解した上で業務にあたるという基本的なことの大切さを再確認した。

② 指示・報告ノートを活用

各ヘルパーに対し訪問前に利用者に関する情報を伝え、訪問終了後には報告を受けることで確認もれを防ぎ、体調の経過観察ができ、きめの細かいサービスの提供ができた。直行直帰のヘルパーからは訪問前の状況把握ができ効果的な支援ができるとの声があった。

③ 身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身につける。

プライバシー保護・接遇マナー等の研修で職業倫理観を喚起し、不適切なケア・言葉や態度による人権の軽視が発生しないよう学んだが満足度調査結果からはまだ十分ではないことが視える。

(5) 効率的・安定的な事業所運営基盤の整備

① 適正収益の確保

今年度は昨年との比較で複合介護を除いて全ての訪問時間で減少している。目標収益は低く設定されており、達成できているが安定経営ラインからはほど遠い現状である。

<訪問内容別活動時間>

訪問内容	H24年度月平均時間	H25年度月平均時間
身体介護	52.7	48.8
生活援助	155.7	133.5
複合介護	4.6	47.6
生きがいホームヘルプサービス	12.1	9.1
介護予防訪問介護（予防Ⅰ）	40.3	39.1
介護予防訪問介護（予防Ⅱ）	69.7	53.7
介護予防訪問介護（予防Ⅲ）	22.3	18.7
私的契約	4.1	4.1
難病ホームヘルプサービス	10.5	0

② 事業所加算の取得について

今年度も各自、自分の課題をテーマにして個別研修に取り組み、スキルアップに努めた。全体研修では基礎介護を中心に計画し、昨年に引き続き事業所加算Ⅱを取得することができた。

③ 適正な目標収益の追及と収益増減の原因分析

今年度は登録者数 45 人、新規利用者 18 人月間訪問回数 400 回を目標に掲げ、活動してきた。しかし、登録者数は月平均 39.0 人、新規利用者数 14 名、平均月間訪問回数 365.5 回でいずれも目標には届かなかった。次年度は利用者の健康状態にも充分配慮し、在宅生活の安定に努め、収益面でも安定化をめざしたい。

<事業収入>

<単位 千円>

目標収益 (A)	実際収益 (B)	達成率(B)/(A)	前年度収入 (C)	伸長率 (B)/(C)
10,891	14,178	130.2%	14,030	101.1%

<新規利用者状況一覧> 14名

利用開始日	性別	年齢	訪問内容	利用回数
4/16	女	86	身体介護1	毎日2回
5/11	男	89	身体1・生活1	週4回
5/15	女	72	予防Ⅰ	週1回
5/19	女	96	身体介護1	不定期
7/17	女	88	予防Ⅱ	週2回
9/14	女	83	身体介護2	毎日1回
9/24	女	86	生活援助3	週1回
10/21	男	91	生活援助3	毎日1回
11/2	女	83	身体介護2・生活援助3	週4回
12/2	男	82	予防Ⅱ	週2回
12/24	女	76	生活援助3	毎日1回
2/21	女	76	予防Ⅱ	週2回
2/22	男	85	生活援助3	週3回
2/27	男	88	生きがい	週1回

<利用停止者一覧> 10名

利用停止日	性別	年齢	停止理由	訪問内容
5/25	女	78	施設入居	身体介護2
6/4	男	85	施設入居	身体介護1
7/10	女	90	死亡	生活援助
7/3	女	80	施設入居	生活援助3
9/30	女	83	死亡	身体介護
9/26	女	88	死亡	予防Ⅱ
11/21	男	81	施設入居	生活援助3
2/6	男	88	施設入居	身体1生活1
3/24	女	90	施設入居	生活援助3
3/10	女	76	施設入居	生活援助3

(6) コスト管理の徹底

① 適正な予算管理・物品管理の徹底

年1回の事業所行事である「交流を深める食事会」は今年で11回を数えた。高齢者に喜ばれるメニューの企画をしたが予算を超えることなく実施できた。

消耗品の在庫管理も年3回行っており各物品の在庫数と記録の不一致はなかった。グローブは昨年の54箱より若干多く62箱の消費であった。訪問件数は減少しているのに消費は増えており汚物を扱う作業をまとめて一度に済ます等、ヘルパーのコスト意識を喚起したい。

次年度以降、予算を適正に管理する上で移動距離を考慮し効率の良い訪問表の作成に努めるとともに事務作業の効率化を図りムダをなくしていく。

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待通りの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月												中間評価	ゴール(達成目標)			最終評価	評価内容
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
1	(1)	根拠に基づくサービス提供	①丁寧なアセスメントを行い、課題・ニーズを的確に捉え個別に即したケアプランを作成して質の高いサービスを提供する。	西中上野	計画	一居宅支援計画更新後2週間以内にケアプランを更新する						一居宅支援計画更新後2週間以内にケアプランを更新する						ケアプラン更新の都度アセスメントを行い、利用者のニーズと整合性の取れたプランを作成する。	C	新規の利用者のプランが遅れがちである		
			②サービス提供後の効果を把握する為モニタリングを実施し、サービス提供の成果や変更の必要性について確認する。	西中伊藤	計画	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	モニタリング	毎月1回のモニタリングとケアマネジャーへの報告を行い、改善点があれば速やかに居宅支援事業所、地域包括支援センターに提案する。	C	下半期において遅れが生じている	
			③定期的なカンファレンスを継続し、潜在している課題の把握に努め早期対応を可能にする。	西中上野	計画	カンファレンス開催			カンファレンス開催				カンファレンス開催			カンファレンス開催			課題発生時には随時、その他の利用者にも3ヶ月に1度ケースカンファレンスを開催し、修正事項があればケアプランを変更する。	C	下半期において遅れが生じている	
2	(1)	サービスの内容及び提供方法の標準化	ヘルパーのサービス内容やサービス提供方法を統一するためにサービス手順書を作成し、変更の都度修正を行い、ヘルパーに周知・活用させ定例会議でも確認する。	伊藤上野	計画				手順書の確認					手順書の確認			サービス手順書を活用し、サービスの標準化を図り、サービス内容やサービス提供方法の違いによる苦情をゼロにする	C	実施できていない			
3	(2)	サービス評価と第三者評価の推進	①質の高いサービスを提供する為、サービス評価自己点検を行い、改善点を探りサービスの質向上に結びつける	上野伊藤	計画				自己点検実施					自己点検実施		総括	広報さつきで公開	サービス評価自己点検を年1回行い弱点の克服に努め、自己評価のポイントが前回よりアップする。	B	概ね、実施できている		
			②「ホームヘルパーチェックリスト」を活用し、訪問前に自己チェックする	上野伊藤	計画	自己チェック	自己チェック	自己チェック	自己チェック	自己チェック	自己チェック	自己チェック	自己チェック	自己チェック	自己チェック	自己チェック	自己チェック	自己チェック	「ホームヘルパーチェックリスト」の実施状況をヘルパー会議で確認することで習慣化できる。	B	概ね、実施できている	
			③ご利用者満足度調査を実施し、広報「さつき」で情報公開する	伊藤上野	計画											調査票準備	満足度調査実施	満足度調査結果分析	総括	広報さつきで公開	満足度調査を実施し、「良い」「概ね良い」の評価が昨年を上回る	C
4	(2)	職員の地域への貢献	①私たち職員が地域へ出向き、地域の集会などへ参加することで、地域との交流を図り、高齢者福祉や介護についての理解を深めていただく。	西中高橋	計画									福祉の集いに参加			福祉の集いに昨年より積極的な参加をし、高齢者福祉についての理解を広める。	B	「福祉の集い」にパネル展示ができた			
			②職員自身が地域を知り、地域を学ぶ為に自ら積極的に地域活動に参加する。	西中高橋	計画					各地区盆踊りに参加									各地区の盆踊りに自主的に参加し地域住民とともに盆踊りを楽しむ。	D	今年度は茶話会の取り組みを新たに計画したため実施せず	
5	(2)	利用者・家族と職員との交流促進	①利用者・家族と職員との繋がりを大切にし、お互いの交流を促進する為、年1回交流会を開催する。	上野高橋	計画				食事会計画書作成	案内文書配布	食事会実施							利用者・家族、25名以上の参加を得る。	A	利用者27名の参加を得て盛会に修了した。		
			②日頃の感謝の気持ちを込めて、ご利用者に誕生日プレゼントを贈呈する。	上野佐々木	計画	「 パースディプレゼント を贈呈する 」						「 パースディプレゼント を贈呈する 」						ご利用者のお誕生日に、失念や遅滞なくお祝いのプレゼントを贈呈する。	A	利用者にプレゼントをもらえなく贈呈しお祝いできた。		
			③入院中の利用者を見舞い、回復を待っている事を伝え励ます。又、声かけ訪問や利用休止者と連絡をとり、利用再開の必要性がないか確認し、関係を保つ取組みをする。	上野佐々木	計画	お見舞い随時	お見舞い随時	お見舞い随時	休止者へ連絡	お見舞い随時	お見舞い随時	お見舞い随時	お見舞い随時	お見舞い随時	お見舞い随時	お見舞い随時	お見舞い随時	お見舞い随時	入院中の利用者を見舞い、利用者・家族を励ます。(1入院に1回以上)利用休止者に休止後の生活状況確認等の連絡をとる。	C	全員はお見舞いできていない	
6	(3)	専門性と介護技術の向上	①ヘルパーの専門性と介護技術の向上を図る為、ヘルパー研修を毎月実施する。	西中伊藤	計画	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	ヘルパー研修	毎月ヘルパー研修を開催し事業所全体のスキルアップを図る。	A	「基礎介護講習」を中心に計画通り実施できている		
			②計画的に外部研修に参加し、知識・技術の習得を図り、事業所内で報告会を行い、内容を共有する。	西中上野	計画				外部研修参加			外部研修参加							年間3箇所以上の研修に参加し、事業所内報告会で他のヘルパーと知識を共有する。	B	2つの研修に参加できた	
			③ヘルパー会議を月1回定例で開催し、事業所内の問題解決の協議や、ヘルパーとケアマネジャーとの情報の共有化を図る。	西中上野	計画	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議	ヘルパー会議を月1回開催し、居宅と連携し利用者ニーズに即したサービスを提供する。又、居宅・包括に対しサービス向上について5件以上の提案ができる。	B	計画通りに実施できている	
			④サービス向上発表会で茶話会の取り組みを発表する	上野伊藤	計画	茶話会				茶話会					茶話会		発表		地域住民との茶話会を通して住民の不便、不安をキャッチし支援に繋げていく取り組みをサービス向上発表会で発表する。	A	年度当初は2回の計画だったが4回実施できた	
			⑤他部署との協働を通し、事業所間の協力・理解を深め利用者の新たなニーズの発見やサービス内容の向上に繋げる。	上野伊藤	計画	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	デイサービスとの協働	積極的に他部署との協働を行い、利用者理解を深め身体介護力をアップする。他部署行事へのボランティア参加・年間3件以上。	B	デイサービスの外出行事等に非常勤職員も協力した	

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑 [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月												中間評価	ゴール(達成目標)			最終評価	評価内容								
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		達成	未達成	未実施										
7	(4)	組織的・総合的な安全確保の推進	①身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身に付け安全確保に徹したサービスを提供する。	伊藤 上野	計画											集団指導報告				職業倫理研修					B	計画どおり実施した				
			②「指示報告シート」を活用し、報告・連絡・相談を徹底することにより、注意事項の確認漏れを防ぐ。	上野 西中	計画																							A	毎朝、連絡係が実施している。直行直帰のヘルパーには事前の把握ができ効果的な支援ができるとの声がある	
			③サービス提供中の事故(備品破損を含む)を防止する為、居室・台所等の整理整頓を心掛け、家庭内での事故回避に対する意識を高める	上野 伊藤	計画																								D	過去のデータ分析はできていない。私物破損をゼロにはできなかった。
			④車両の管理を定期的に行い、安全運転の励行に努め車禍事故ゼロを目指す。	伊藤 上野	計画																								C	冬道で録石がみえにくく、乗り上げホイールがはずれる事故があった。清掃も毎月実施できなかった。
8	(3)	職場環境の改善	①書庫・事務所内の整理整頓を行い、業務効率のアップと環境美化に努める。	上野 伊藤	計画																					B	整理整頓できている			
			②事業所内交流会を計画し、ヘルパー間のコミュニケーションを図る	上野 西中	計画																							A	互助会の援助を受けて計画し全員参加で楽しく交流できた	
			③面談や訪問記録を通し、業務や人間関係等抱える問題に気付き、感情労働への配慮・精神衛生・チームワークの向上を図る	上野 西中	計画																								C	業務に追われ、コミュニケーションは十分とはいえない
9	(4)	社内業務の基準化・標準化	①各種マニュアルの学習会を行い、必要時に適切な対処ができるよう備える。	西中 伊藤	計画																						C	別なテーマの研修予定が入り、2回目が実施できなかった		
			②利用者・職員を感染症から守る為、感染予防について学習し、ヘルパー自身感染予防マニュアルの励行を徹底する。	西中 上野	計画																								B	専門職に講師を依頼実施した
			③業務分担を明確にして、無駄やムラをなくし業務の効率化を図る	西中 伊藤	計画																								C	実施できていない
10	(5)	適正収益の確保	①潜在的なニーズを発掘する為、ケアマネジャーと連携し、茶話会活動を町内に展開し新規利用に繋げる。	上野 西中	計画	情報交換	B	茶話会は当初の計画以上に実施したが新規利用者は14名だった																						
			②個別研修の取り組みや、指示報告のートの活用により事業所加算を継続して取得する。	伊藤 西中	計画	個別研修報告シート	A	ヘルパー個別研修は計画通り実施できている																						
			③適正な目標値を設定するとともに、毎月実績確認を行い、その都度、収益増減の原因を明らかにする。不在がちな利用者には事前電話で確認する。	上野 西中	計画	実績報告	B	目標収益は年間に渡り、達成できている																						
11	(5)	コスト管理の徹底	①物品管理一覧表により在庫管理を徹底する	伊藤 高橋	計画	在庫確認																					B	実施できており、在庫数と記録の不一致はない		
			②移動距離等、効率を考慮した訪問予定表を作成する。	伊藤 西中	計画	訪問表の工夫	B	効率の良い訪問表を作成し、移動時間や燃料の減少に努め直行直帰勤務を昨年より減らす。																						

平成 25 年度 鷹栖町デイサービスセンターはびねす事業報告

1. 総括

平成 25 年度、デイサービスセンターはびねすは、「体と頭の元気づくり」に重点を置き、取り組みを行った。

一つ目は「体の元気づくり」として、高齢者専用のリハビリ機器を導入し、運動器の機能向上プログラムの提供に取り組んだ。導入月が 3 月と効果測定はできていないが、要支援 1・2 の利用者 23 名が本プログラムを希望し、体力・筋力・活動力の増加を図っている。

二つ目は、「頭の元気づくり」として、認知症の予防および維持・改善を目的とする「くもん学習療法」を推進した。現在、8 名の利用者に対し学習を行い、認知症周辺症状の緩和に効果が現れた例もあり、今後は更に学習者を増やして行きたい。スタッフも、コミュニケーション能力の向上や観察力の向上、他事業所との情報共有などプラス方向への変化が見られている。

三つ目は、買い物が困難な状況にある利用者に対して「買い物支援」を始めた。ニーズは高く、日用品や衣類などの購入希望が多い。今後も、選択制プログラムの一環として積極的に取り組む。

四つ目、ボランティアとしてアロマセラピーの専門家に来ていただき希望者に施術しているが、昨年よりスタッフ全員が研修を受け簡単な施術が可能になった。足浴やフットマッサージを通してご利用者にリラックス、リフレッシュを実感していただき「癒やし」の場面として今後も継続する。

知識・技術の向上とより良いチームケアの構築は、24 年度は常勤スタッフ全員が外部研修に参加することができ更なるスキルアップを図ることができた。毎朝の理念唱和と一言スピーチも定着しており、チームに欠かせない相互理解と士気高揚に繋がっている。計画的有給休暇は、全員が 4～5 連休を取得しリフレッシュすることができた。

25 年度の業績は、月の平均利用者数は 18.3 名となり、前年度の 18.1 名からわずかに改善した。前年度に引き続き、サービスの質向上と運営改善による業績回復が課題である。

2. 次年度に向けて

平成 26 年度は、前年度に引き続きご利用者の「元気づくり」「癒やし」に重点を置き様々な取り組みを実践していく。「頭の元気づくり」は、C 型ホール内に学習療法室を設置し、より集中できる環境を整える。学習者も積極的に増やし、認知症の予防、改善に貢献したい。また「体の元気づくり」は、新たにリハビリ機器を導入するとともに、e-ball 体操を継続し、健康の維持・増進に努める。「癒やし」は、好評であるアロマセラピーを継続し、心と体のリフレッシュを図る。それぞれの活動はゾーン別に環境を整備し、ご利用者が個々に目的を持って利用できるよう支援する。

この他、月間プログラムに買い物支援や外出支援など、多彩な選択制プログラムを用意し、毎月ご利用者に配布することで予定を立て、利用しやすくする。

さらに、営業活動にも力を注ぎ年 2 回のパンフレット町内全戸配布、ヘルパー事業所と協働した町内各住民センターにおける地域住民を対象とした茶話会を実施する。

これらのことを徹底し、「デイサービスに行くのが楽しい」「元気になる」と言われるデイセンターづくりと業績向上に努める。

3. 運営状況・統計資料

(1) 収益

<事業収入>

目標介護保険収入 (A)	実際介護保険収入 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度 介護保険収入 (C)	伸長率 (B) / (C) × 100
51,359千円	47,047千円	91.6%	47,281千円	99.5%

<1日の平均利用者数>

目標 平均利用者数 (A)	実際 平均利用者数 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度 平均利用者数 (C)	伸長率 (B) / (C) × 100
21名	18.3名	87.1%	18.1名	101.1%

(2) 利用者年齢構成

年齢	男性	女性	合計
60 ~ 64	0	0	0
65 ~ 69	0	0	0
70 ~ 74	2	1	3
75 ~ 79	5	3	8
80 ~ 84	5	13	18
85 ~ 89	7	20	27
90 ~	6	25	31
合計	25	62	87
平均年齢	84.0	87.7	
最低年齢	73	70	
最高年齢	94	101	

(3) 事故発生状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
傷をつくる	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
異食・誤食	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
打撲	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
骨折	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因不明の傷	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
爪切り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投薬管理ミス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破損事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
衣服破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	0	0	1	1	0	1	1	4	1	0	0	0	9

(4) 職員研修

<苑内研修参加状況>

日程	研修内容	参加人数
6/19	救急救命講習	9名
7/19	電話対応研修	9名
9/24	感染症対策研修会	6名
10/24	基礎介護研修（排泄）	6名
11/27	基礎介護研修（入浴）	6名
2/25	基礎介護研修（移乗）	7名
3/13	サービス向上発表会	5名

<外部研修参加状況>

日程	研修名	参加者
6/26～27	管理者研	綱島
7/11～12	新任職員研修	戸沢
7/18～19	北海道デイサービスセンター研究協議会	綱島
8/19	稼働率アップ特別セミナー	綱島
9/5～6	管理者研修	綱島
9/12～13	看護師研修	藤川
9/17	厚別栄和荘デイサービスセンター視察見学	綱島
11/27～28	管理者研修	綱島
12/10～13	認知症実践者研修	松原

(5) デイサービスセンター会議実施状況

開催月	内 容	参加人数
4月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・外食ツアー・平成25年度行動計画について	11名
5月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・リハビリマシンについて・夏祭りについて	11名
6月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・リハビリマシンについて・夏祭りについて	10名
7月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・リハビリマシンについて	10名
8月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・リハビリマシンについて	10名
9月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善について・平成25年度活動計画	10名
10月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 忘年会について・環境について	10名
11月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 忘年会について・介護予防特別研修について	10名
12月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・リハビリについて	10名
1月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 リハビリについて	10名
2月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 リハビリについて・生活機能向上加算について	10名
3月	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 リハビリについて・満足度調査	10名

(6) 行事実施状況

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
6/21	外食ツアー	とわ北斗	小野
9/18	夏祭り	はびねす	中山
10/9	忘年会	はびねす	松原

(7) ボランティア受け入れ状況

団 体 名	活動内容	延べ人数
鷹栖町老人会カラオケクラブ	カラオケ	158名
神楽岡太鼓保存会	デイ夏祭り（太鼓演奏）	8名
華酔組	デイ夏祭り（よさこい）	8名
母さんの本棚	読み聞かせ	35名
アロマセラピー	アロママッサージ	10名
合計		160名

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 デイサービスはびねす (評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容
1	1	居心地が良く、プログラムを楽しく利用できる環境づくり	安全・衛生を考慮した環境の点検・整備を行い、改善に努める。	丹松原	計画	リスクマネジメント担当が掌握する					C	リスクマネジメント担当が掌握する					居心地の良い環境整備。ゾーン別環境改善 1. 学習・相談ゾーン 2. 製作・コミュニケーションゾーン 3. リハビリゾーン 4. リラックスゾーン 5. 湯上がり処(E型)	C	居心地のよい環境とまではならないが、観葉植物等の管理は行っている。学習療法も開始できている。	
			C型・E型ホール有効活用(プライベートスペースの確保)	丹松原	計画	学習療法室完成	環境センシング	E型湯上がり処開始	リハビリ機器導入	C	C型リニューアル									
			観葉植物、季節の草花を觀賞、育成し自然に触れる機会を多く持つ。	丹松原	計画	緑化計画担当者ミーティングの開催					C	緑化計画担当者ミーティングの開催								
			学習療法室を設置し、より効果的な学習・コミュニケーションの場にする。	丹松原	計画	学習療法室完成	学習療法利用者拡大説明会	学習療法利用者拡大説明会	学習療法実施			B	学習療法実施							
			リハビリ機器を設置し、身体機能の維持・向上に向けたプログラムを実施する	丹松原	計画	リハビリ機器選定	選定機器利用施設見学			リハビリ機器導入	リハビリ機器体験会	B	リハビリ機器体験会	リハビリプログラム開始	リハビリプログラム実施					
				丹松原	実施															
2	1	身体機能向上への取り組み	利用者の元気づくりのため、リハビリマシンを使ったプログラムを実施する。	藤川小野	計画	リハビリ機器選定	選定機器利用施設見学			リハビリ機器導入	リハビリ機器体験会	C	リハビリ機器体験会	リハビリプログラム開始	リハビリプログラム実施		リハビリ機器導入個別体験説明会実施 個別リハビリプログラム立案	B	リハビリマシンのプログラムが実施できている。Eボール体操の実施がおこなわれている。	
			e-ball健康体操・笑いヨガ・ゆる体操を用いた健康状態の維持、改善に向けた取り組みを行う。	藤川小野	計画	ラジオ体操・e-ball体操実施	笑いヨガ・ゆる体操導入	ラジオ体操・e-ball体操実施	ラジオ体操・e-ball体操実施	ラジオ体操・e-ball体操実施	ラジオ体操・e-ball体操実施	C	毎朝のラジオ体操・毎日のe-ball健康体操を実施する。					ラジオ体操の継続 e-ball健康体操の継続 アロマセラピーの実施(追加利用の勧め)		
			アロマ・タクティールによる「癒やし」ケアを実践する。	藤川小野	計画	毎月2～3回のアロマセラピー実施。					C	毎月2～3回のアロマセラピー実施。								
3	1	アクティビティの充実	手作りおやつ、趣味を活かす機会を設ける	松原佐藤	計画	手作りおやつの実施・告知・追加利用の勧め。趣味活動の拡大・実施					C	手作りおやつの実施・告知・追加利用の勧め。趣味活動の拡大・実施					季節にあったおやつを選択・生活機能向上に向けた取り組みができる。	B	季節にあったおやつ作りが実施されている。	
			生活機能向上の観点からも、手作りおやつは可能な限り月2回とする。	松原佐藤	計画	手作りおやつメニューの工夫・月2回の実施					B	手作りおやつメニューの工夫・月2回の実施								
			アクティビティ担当会議を毎月開催し、計画的に実施する。	小野中山	計画	毎月実施し、行事・プログラムを立案、実施する					C	毎月実施し、行事・プログラムを立案、実施する								
			年間行事計画書・アクティビティ月間計画書を作成し、掲示する。	小野中山	計画	アクティビティカレンダー配布	アクティビティカレンダー配布	アクティビティカレンダー配布	アクティビティカレンダー配布	アクティビティカレンダー配布	アクティビティカレンダー配布	B	アクティビティカレンダー配布	アクティビティカレンダー配布	アクティビティカレンダー配布	アクティビティカレンダー配布		アクティビティカレンダー配布		
			アクティビティプログラムの作成・評価・検討を行う。	小野中山	計画	担当打合せで、作成・評価しディ会議で検討する					C	担当打合せで、作成・評価しディ会議で検討する								
			体感型ゲーム機を使ったプログラムを充実させる。	小野中山	計画	体感型ゲーム機を使用したプログラムを作成する。					C	体感型ゲーム機を使用したプログラムを作成する。								
			選択できるアクティビティプログラムを提供する。	小野中山	計画	アクティビティプログラムを最低2種類から選択できるようにする。					C	アクティビティプログラムを最低2種類から選択できるようにする。								
4	1	買い物支援サービスの提供	買い物が困難な地域の利用者に対し、希望があれば買い物を支援するサービスを提供する。	小野佐藤	計画	希望者を募り、買い物支援を実施する。					C	希望者を募り、買い物支援を実施する。					希望者に対して買い物支援を行うことができる。	B	希望者に対して買い物支援を行うことができる。	
5	1	美味しく楽しめる食事の提供	通常の食事や行事食の管理を行い、楽しめる雰囲気作りをする。	松原丹	計画	給食運営会議で管理、提案					C	給食運営会議で管理、提案					満足度調査の食事の項目が中間より上回ることができる。	B	脱水予防の観点からも、より吸収のよい飲料を提供できている	
			その人の身体機能に合った食事形態を栄養士に提案する。	松原丹	計画	毎日のミーティングで検討し、栄養士に提案					C	毎日のミーティングで検討し、栄養士に提案								
			メニューの希望を取り、充実したメニューを栄養士へ提案する。	松原丹	計画	リクエストメニューの希望をとり、栄養士に提案					C	リクエストメニューの希望をとり、栄養士に提案								
			全国の特選素材をランチバイキングの食材として取り入れ、利用者に紹介する。	松原丹	計画	利用者の希望を聞き、旬の素材を使ったメニューを栄養士に提案					C	利用者の希望を聞き、旬の素材を使ったメニューを栄養士に提案								
			提供飲料の充実を図り、利用者間の円滑なコミュニケーション、脱水症予防に努める。(ドリンクバー設置)	松原丹	計画	スポーツドリンク、冷茶等をセルフで飲用できるようにする					B	スポーツドリンク、冷茶等をセルフで飲用できるようにする								
6	1	地域の資源の活用	地域のボランティア団体との連携を図り、午前のプログラムを充実させる。	中山戸澤	計画		午前ボランティア依頼	午前プログラムの充実			C	午前プログラムの充実					ボランティアと協働し、午前プログラムの充実をはかる。	B	行事ごとに家族ボランティアの参加協力を依頼し、年間5名以上参加していただいている	
			鷹栖町内の演芸活動を披露する場として、活用いただく。	中山戸澤	計画	演芸披露の場を設ける					C	演芸披露の場を設ける								
			ご家族ボランティアとして、ご家族の行事への参加を促す。	中山戸澤	計画	母さんの本棚	母さんの本棚 買い物ツアー	母さんの本棚	母さんの本棚	母さんの本棚 夏祭り	母さんの本棚	B	母さんの本棚 外出行事	母さんの本棚	母さんの本棚 忘年会	母さんの本棚		母さんの本棚		母さんの本棚
			地域ボランティア、学生ボランティアに加え、町内保育園、児童クラブとの交流も積極的に行い、地域交流、世代間交流を意識した取り組みを行う。	中山戸澤	計画	地域住民、学生、保育園、児童クラブとの交流					C	地域住民、学生、保育園、児童クラブとの交流								

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 デイサービスはびねす (評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容		
7	1	安心して利用できるデイセンターづくり	感染症対策委員会と連携しながら、集団感染の予防に努める。	藤川 田中	計画	デイ会議で確認	デイ会議で確認	デイ会議で確認	食中毒予防研修	デイ会議で確認	デイ会議で確認	C	内部研修の実施	デイ会議で確認	デイ会議で確認	デイ会議で確認	デイ会議で確認	デイ会議で確認	利用者間、スタッフ間の感染をゼロにする。	B	研修会を年1回は開催できている	
			緊急時に備え、年2~3回の研修を行う	田中 藤川	計画			内部研修実施							C		内部研修実施					
			使用する物品の点検を定期的に行う。	田中 藤川	計画	救急・ノロセツト点検	救急・ノロセツト点検	救急・ノロセツト点検	救急・ノロセツト点検	救急・ノロセツト点検	救急・ノロセツト点検	救急・ノロセツト点検	B	救急・ノロセツト点検		救急・ノロセツト点検	救急・ノロセツト点検	救急・ノロセツト点検				救急・ノロセツト点検
			緊急時に迅速な対応ができるよう、個人情報整理を行う。(緊急時連絡先と病院名の記載の確認)	田中 藤川	計画	フェイスシートの見直し、追記と整備						C		フェイスシートの見直し、追記と整備								
8	2	根拠に基づく介護サービスを確実に提供するために、ケアシステムを運用する	アセスメントによる課題、ニーズの明確化、ケアプランに基づく適切なサービス提供を実施する。	丹 網島	計画	アセスメントシートの見直し							C	アセスメントシートの見直し						アセスメントシートを活用し、モニタリング毎に見直し事項についての点検を行う。	B	毎月のモニタリングが行えている
			サービス提供後、その結果についてモニタリングを実施し、サービス提供の経過も合わせて迅速かつ的確に記録する。	丹 網島	計画	毎月のモニタリング						B		毎月のモニタリング								
			毎日のミーティングと、必要時ケースカンファレンスを開催し、修正事項を速やかにケアプラン、個別記録に反映させる。	丹 網島	計画	毎日のミーティングと必要時ケースカンファレンスを行う							C	毎日のミーティングと必要時ケースカンファレンスを行う								
			研修開催の案内を随時行い参加希望をとる。	網島 丹	計画	外部研修の案内、提案、参加						C		外部研修の案内、提案、参加								
9	2	外部研修への参加	研修参加後、デイサービス会議での報告を行う。	網島 丹	計画	各研修会毎に報告会を設ける							C	各研修会毎に報告会を設ける						全スタッフが年間1回以上、外部研修に参加できる。	B	全スタッフが研修を受けることはできなかったが、復命書により報告を行うことができた
			先進施設の見学を積極的に行う。	網島 丹	計画	先進施設見学(リハビリ)						C		先進施設見学								
			ご利用者向け学習会の実施	網島 中山	計画	栄養講座	スタッフが講師になり講座を開催する						C	スタッフが講師になり講座を開催する								
			働きやすい職場作り(シフトの平等性・有給休暇の計画的な活用)	丹 網島	計画	毎月の勤務表で調整する						C		毎月の勤務表で調整する								
10	2	内部研修の充実化	電話応対マナーについての研修を行う	網島 中山	計画				電話応対研修				C							特養と合同で研修を行う	C	事業所内での研修を行うことができた
			ご利用者向け学習会の実施	網島 中山	計画	栄養講座	スタッフが講師になり講座を開催する					C		スタッフが講師になり講座を開催する								
			働きやすい職場作り(シフトの平等性・有給休暇の計画的な活用)	丹 網島	計画	毎月の勤務表で調整する							C	毎月の勤務表で調整する								
			朝の理念の唱和を継続して行う	丹 網島	計画	毎朝、輪番で理念の唱和、スピーチを行う						C		毎朝、輪番で理念の唱和、スピーチを行う								
11	3	やりがいと働きがいのある職場づくり	懇親会を行いチームワーク向上を図る	丹 網島	計画				懇親会実施				C							よりよいチームワーク作りスタッフ全員が協力し、実践することができる。	B	よりよいチームワーク作りスタッフ全員が協力し、実践することができる。
			朝の理念の唱和を継続して行う	丹 網島	計画	毎朝、輪番で理念の唱和、スピーチを行う						C		毎朝、輪番で理念の唱和、スピーチを行う								
			新規利用者目標人数30名(H24年22名プラス8名)	網島 丹	計画	利用者平均18.0			利用者平均19.0					C	利用者平均20.0				利用者平均21.0			
			わかりやすく、見やすいパンフレットを作成する。	網島 丹	計画	パンフレット作成	パンフレット町内全戸配布		パンフレット町内全戸配布				C									
12	4	利用者獲得のため営業、広報活動を強化する。	地区住民センターで茶話会、家庭介護教室を行い、地域住民との関わりを深め、デイ利用につなげる。	網島 丹	計画	出張茶話会		出張茶話会		出張茶話会		C		出張茶話会			出張茶話会		出張茶話会	ヘルパー事業所と合同で開催し相乗効果で利用増につなげる	C	定期的に営業活動を行うことができた
			環境改善後、昼食付デイリニューアル見学会のイベントを行う(老人会に案内)	網島 丹	計画								C				リニューアル見学会					
			より効果的な広報活動を展開し、利用者増につなげる。	網島 丹	計画									C								
			ヘルパー事業所と合同で開催し相乗効果で利用増につなげる	網島 丹	計画								C									

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 デイサービスはびねす (評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容
13	4	適正収益の確保し赤字を解消する	登録者、利用者数を増加させる。(実利用者H24年74名→H25年85名)	網島丹	計画	積極的な営業活動を展開する						C	積極的な営業活動を展開する						平均稼働率70%を達成する。	C	適正収益の確保し赤字を解消するまでは至っていない
			実施																		
			会議で業績報告を行い、現状を共有し迅速に改善活動に取り組む。	網島丹	計画	デイ会議で業績管理報告し改善のための意見交換を行う						C	デイ会議で業績管理報告し改善のための意見交換を行う							B	
			実施																		
			適正な人員配置を図るために、利用者とスタッフの人員調整を常に行う。	網島丹	計画	毎日の業務の中で調整する						C	毎日の業務の中で調整する							B	
			実施																		
			ケアマネージャーと連携し、潜在的なニーズを発掘する。	網島丹	計画	ケアマネージャーからの情報収集						C	ケアマネージャーからの情報収集							B	
			実施																		
			追加、振替、スポット利用を積極的に勧める。	網島丹	計画	欠席の際、積極的に振替利用を提案するとともに、行事等の追加利用を勧める						C	欠席の際、積極的に振替利用を提案するとともに、行事等の追加利用を勧める							B	
			実施																		

平成 25 年度 鷹栖町介護センターさつき苑事業報告

1. 総括

平成 25 年度は、利用者の「健康」「体調」のマネジメントに重点を置き「たかす在宅版：トータルケアシート」を用いた支援や「水分ケア」に取り組んだ。さらに、在宅で健康を維持し生活を継続するなかでも、喜びや楽しみを持って意欲的な生活ができるように、「生き生きハピネスプラン」を企画・実施し利用者・家族に楽しみを持ってもらう計画を新たに実施した。本人・家族の QOL 向上に繋がり、在宅ケアマネジメントをより深められた一年となった。

また、各ケアマネジャーの知識・技術の向上を図るため、毎週一回ケアマネ会議にてカンファレンスの実施や法人内の「介護の基礎介護研修」の参加・外部研修の参加にて幅広い専門知識・技術を習得でき重度化にも備えた。

新たに今年度から地域包括ケアシステムの基盤作りと推進の一つとして、地域ケア会議に参加し事例検討や研修会により各機関との連携を図った。

その他、認知症の理解を地域に広げることを目的とし高齢者住宅での出前講座の開催や現在介護されているご家族を対象としたケアケア交流講座を開催することができ介護者同士の情報共有やストレス軽減の機会となった。

2. 次年度に向けた展望

次年度は、引き続き健康・体調のマネジメントを重視した「水分ケア」と、より暮らしの中に喜びと楽しみが見られるよう「生き生きハピネスプラン」を継続し、自立支援と QOL の向上を目差す。

また、より質の高いケアマネジメントを行うために、「たかす在宅版：トータルケアシート」を用いた中重度者のケアカンファレンス、社内外の研修会への参加、地域ケア会議への個別課題の検討を積極的に行い、ケアマネジメントの実践力の向上を図る。

さらに、「個別課題は地域課題」と受け止め、公的サービスだけではニーズに応えられない利用者の課題解決を図るため、地域住民・関係機関との繋がりを拡充する。

なお、新人ケアマネジャーを迎えるため、教育とサポート体制を整え育成に努める。

3. 運営状況・統計資料

(1) 居宅サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成12年度	67	77	78	75	77	80	74	82	81	76	78	82	77
平成13年度	78	82	79	87	87	89	88	98	93	92	103	107	90
平成14年度	104	108	106	110	110	116	109	108	102	98	100	107	107
平成15年度	109	110	114	115	118	117	119	121	116	121	125	126	118
平成16年度	142	142	143	145	143	145	148	146	145	148	151	154	146
平成17年度	158	151	155	158	156	155	156	156	157	152	148	145	154
平成18年度	147	143	141	140	135	128	129	129	124	123	113	115	130
平成19年度	114	116	113	104	106	105	106	104	101	104	106	109	107
平成20年度	114	114	112	114	111	105	113	113	113	112	112	113	112
平成21年度	110	96	92	88	89	90	91	86	87	88	92	94	92
平成22年度	96	92	94	97	99	97	101	96	99	88	91	94	95
平成23.年度	91	92	99	100	107	104	107	105	104	101	102	107	102
平成24.年度	110	113	113	113	116	110	109	118	112	113	110	115	112
平成25.年度	115	118	119	114	117	118	118	123	119	115	112	119	117

(2) 上記利用者の要介護度分布

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
要支援	13	7	11	15	26	33								
要支援1							3	7	6	8	8	7	9	11
要支援2							13	18	17	13	13	12	12	11
経過的要介護							15							
要介護1	28	37	44	48	58	53	38	21	25	32	36	42	45	52
要介護2	16	15	21	22	24	29	26	25	34	23	19	19	24	23
要介護3	9	15	11	14	18	19	19	18	17	9	10	10	9	10
要介護4	6	10	11	11	13	13	12	12	8	3	6	9	9	9
要介護5	6	6	8	8	7	7	5	6	7	5	3	3	3	6

※人数は、各年度の平均人数

(3) 苑内・苑外研修参加状況

	年月日	内容	講師等	開催地	参加者
苑内研修	H25. 4. 23	基礎介護知識研修	綱島課長・西中主任	はびねす	細野・河田・佐々木
	H25. 5. 9	リーダー研修プログラム	泉田 照雄氏 (全国高齢者ケア研究会)	はびねす	施設長・細野・河田 佐々木
	H25. 5. 28	基礎介護知識研修	尾上課長	はびねす	細野・河田・佐々木
	H25. 9. 24	感染症予防研修	谷水・藤川	はびねす	細野・河田・佐々木
	H25. 10. 9	基礎介護知識研修 食事ケア	米澤主任・明石	はびねす	細野・河田・佐々木
	H25. 12. 11	基礎介護知識研修 トランスファー	設楽リーダー・谷岡	はびねす	細野・河田・佐々木
	H25. 12. 13	認知症ケア研修	泉田 照雄氏 (全国高齢者ケア研究会)	はびねす	施設長・細野・河田 佐々木
	H26. 1. 30	基礎介護知識研修 排泄ケア	谷口リーダー・菅原	はびねす	細野・河田・佐々木
	H26. 2. 12	基礎介護知識研修 認知症ケア	佐藤リーダー・近間	はびねす	細野・河田・佐々木
苑外研修	H25. 5. 24	摂食・嚥下障害の評価と訓練 の実際	戸原 玄氏 (日本大学歯学部 准教授)	旭川大雪クリ スタルホール	細野・河田
	H25. 5. 25	パーキンソン病市民公開教 室	木村 隆氏 (医療センター)	ロワジールホテ ル	細野
	H25. 6. 1	地域に根ざす作業療法へ	池谷 裕二氏 (東京大学大学院准 教授)	旭川大雪クリ スタルホール	施設長・細野・河田 佐々木
	H25. 6. 8	認知症高齢者ケア環境を支 える技術	足立 哲氏 (和歌山大学)	札幌自治労会館	細野
	H25. 6. 13	居宅介護支援事業者のリス クマネジメント	ニック株式会社	旭川大雪クリ スタルホール	河田
	H25. 6. 24	本別町の福祉でまちづくり 実践について	楠 孝幸氏 (本別町総合ケアセン ター高齢者福祉担当)	はびねす	施設長・細野・河田 佐々木
	H25. 6. 27	第1回ケアジメン研究会	全国高齢者ケア研究会	はびねす	施設長・細野・河田 佐々木
	H25. 7. 6	在宅の褥瘡予防	日本褥瘡学会	旭川日赤講堂	河田
	H25. 7. 9	養護権利事業について	NPOバトン	はびねす	細野
	H25. 8. 2	福祉用具展示研修会	マルベリー-さわやかセンター	地場産センター	細野・河田・佐々木
	H25. 8. 11	認知症ケア学会全道大会		札幌	細野・佐々木
	H25. 8. 21	進化する認知症医療	内海 久美子氏 (砂川市立病院精神科部長)	旭川公会堂	河田
	H25. 8. 21 ~23	介護支援専門員研修Ⅱ		北洋ビル	河田
	H25. 8. 31	第9回これからの地域包括 ケア	高齢者ケア研究会	茨城県立県民文 化センター	施設長・細野・ 佐々木
	H25. 9. 13	第20回療養生活塾-セミナー	船山氏 (函館五稜郭病院)	旭川康生病院	細野
	H25. 10. 3	生活相談員・ケアマネジャー 研修会	道北地区老人福祉施設協議会	富良野ナチュ ラックスホテル	河田・佐々木
	H25. 10. 23	旭川若年認知症研修会	NPO若年認知症北海道サポ ートセンター	旭川市民文化会 館	河田・佐々木
	H25. 11. 20 ~22	主任ケアマネ研修	大原祐介氏 (ゆうゆう理事長) 他	札幌自治労会館	佐々木
	H25. 12. 12 ~14	主任ケアマネ研修	宮崎 順一氏 (日本コーチ協会)	札幌経済センタ ー	佐々木
	H26. 2. 12 ~14	主任ケアマネ研修	小銭 寿子氏 (名寄大学准教授)	道北経済センタ ー	佐々木
H26. 3. 15	事例検討会 (旭川)	認知症ケア学会北海道地域部会	勤労者福祉会館	佐々木	

(4) 居宅会議内容

日 付	内 容	参加者
4月18日(木)	・業績報告 ・H24活動計画最終評価・事業報告 ・高齢者住宅認知症講座・水分・湿度チェック経過報告	波瀲施設長 細野・佐々木・河田
5月22日(水)	・業績報告・定例カンファレンス・水分・湿度チェック経過報告・活き活きはびねすプランについて検討	波瀲施設長 細野・佐々木・河田
6月19日(水)	・業績報告・ケアプランチェック・水分・湿度チェック経過報告・活き活きはびねすプラン進捗状況	波瀲施設長 細野・佐々木・河田
7月16日(木)	・業績報告・H25活動計画進捗状況・水分・湿度チェックの経過報告・定例カンファレンス	波瀲施設長 細野・佐々木・河田
8月20日(火)	・業績報告 ・ケアプラン検証・水分湿度チェック経過報告・H25活動計画進捗状況	波瀲施設長 細野・佐々木・河田
9月10日(火)	・業績報告 ・定例カンファレンス・H25活動計画進捗状況・水分・湿度チェックの経過報告	波瀲施設長 細野・佐々木・河田
10月15日(火)	・業績報告 ・ケアプランチェック・水分・湿度チェックの経過報告・H25活動計画進捗状況・その他	波瀲施設長 細野・河田
11月18日(月)	・業績報告 ・水分・湿度チェック経過報告・定例カンファレンス・H25活動計画中間評価・その他	波瀲施設長 細野・佐々木・河田
12月19日(木)	・業績報告 ・水分・湿度チェック経過報告 ・定例カンファレンス・H25活動計画進捗状況・その他	波瀲施設長 細野・佐々木・河田
1月17日(金)	・業績報告 ・水分・湿度チェック経過報告・ケアプランチェック・カンファレンス	波瀲施設長 細野・佐々木・河田
2月18日(火)	・業績報告 ・水分・湿度チェック経過報告・定例カンファレンス・H25活動計画進捗状況・その他	波瀲施設長 細野・佐々木・河田
3月18日(火)	・業績報告 ・定例カンファレンス・水分・湿度チェック経過報告・H25活動計画進捗状況・その他	波瀲施設長 細野・佐々木・河田

(5) 介護家族への教育支援プログラム開発事業 ケアケア交流講座実施状況

日 時	内 容	参加者
H25年 8月9日 13:30～ 15:30	第1回ケアケア交流講座 会場：サンホールはびねす 研修室2 講義：「高齢者の食事 ～おいしく食べれるには～」 講師 さつき苑栄養士 己上 純子	利用者 8名 職員 5名
H25年 11月8日 13:30～ 15:30	第2回ケアケア交流講座 会場：サンホールはびねす 研修室2 講義：「今日から始めよう認知症予防～家族の関わり」 講師 細野ケアマネジャー	参加者 11名 職員 5名
H26年 2月5日 13:30～ 15:30	第3回ケアケア交流講座 会場：サンホールはびねす 研修室2 講義：高齢者の環境～住みやすい環境って?～ 講師 河田ケアマネジャー	参加者 11名 職員 4名

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名			〔評価基準〕S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。																										
事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容									
1	(1)	リアルニーズに基づく、心を込めた丁寧なケアマネジメントの提供	①利用者の利益を守ることを最優先の価値に置き、リアルニーズ(当事者の要望+ケアマネの専門的知見・根拠・社会的通念)に基づくプランを立てる。	細野	計画	リアルニーズの基づくプラン作成						B	リアルニーズの基づくプラン作成							B	作成したケアプランの内容について、根拠を示しながら説明する力を身に付け、分かりやすいプラン作りを行う。	各ケアマネがアセスメントを重ね、リアルニーズを把握しわかりやすいケアプランを追求した。							
			②-1水分・食事・湿度等の健康ニーズのマネジメントを行う(一人3~4名)	細野	計画	チェックと報告	水分手帳導入						B	チェックと報告							B	健康維持のためのチェックを行い、健康維持に必要な助言を行う。	H24年から継続して調査実施継続している。1年半継続している方もいる。健康維持しADLの維持につながっている。						
			②-2「たかす在宅版:トータル記録シート」を導入し、家族とサービス提供者、ケアマネ間での情報共有する。	細野	計画	記録シートを活用し情報共有								B	記録シートを活用し情報共有							A	健康維持のためのチェックを行い、健康維持に必要な情報共有を行い、支援する。	河田ケアマネ担当利用者について実施し事業所・家族・ケアマネ間で状態に応じた具体的な提案、連携したことで本人の健康維持ADLの向上					
			②-3ケアマネジャーが総合的な情報を一元的に管理し、毎日、毎週ケアチェックを実施、変化や予兆に対して迅速かつ的確にケアプランに反映する。	細野	計画	ケアチェックを実施								B	ケアチェックを実施							B	健康維持のためのチェックを行い、健康維持に必要な助言を行い、在宅で継続して生活できるように支援する。	今年度は1名の利用者について書式を使用し毎週情報共有・検討を行い自立に向けたケアマネジメントを実施できた。					
			③カンファレンスを適宜に開催し、記録に基づく状態把握、要因分析を行い、仮説に基づく有効な手当を行う	細野	計画	カンファレンス実施	カンファレンス実施	カンファレンス実施	カンファレンス実施					B	カンファレンス実施	カンファレンス実施	カンファレンス実施	カンファレンス実施	カンファレンス実施			B	年6回にカンファレンスを設け、マネジメントの質向上を図る。	定例カンファレンスを居宅会議のなかで開催し、マネジメントの方法について見直しを実施。					
			④ケアマネジメントの質の向上を図るため、ケアプランの内容及び作成過程について、お互いに検証する。	細野	計画	ケアプランチェック	ケアプランチェック	ケアプランチェック	ケアプランチェック					B	ケアプランチェック	ケアプランチェック	ケアプランチェック	ケアプランチェック				B	居宅会議で年5回、ケアプラン検証し、根拠を示しながら説明する力を身につける。	緊急カンファレンスを優先したため4回の実施となったが概ね計画的に実施できた。					
			2	(2)	「活き活きハピネスプラン」の策定とケアの提供	①利用者の笑顔や喜びを導き出すため、「活き活きハピネスプラン」を策定し、ケアマネジャー自身が外出支援(コーヒー茶ろんでく、朝市など)を行う。	河田	計画			外出支援				B	外出支援							B	各ケアマネジャーが6~10月の間、3回は外出支援を行う。	初めての試みだったが、5~8月に各ケアマネジャーが3回の外出支援を実施。桜を見に行く、鯉に餌をあげる、てくてく、朝市、盆踊りに行き、利用者の笑顔を見ることができた。次年度も継続したい。				
						②ケアマネジャー自身も活き活き働けるよう、長期休暇(5連休)を計画的に取得する。	河田	計画	長期休暇の取得							B	長期休暇の取得							B	各ケアマネジャーが長期休暇(5連休)を取得する。	2名が5連休を取得。ケアマネジャー自身が活き活き働けることに繋がった。			
						3	(3)	専門的知識と技術の向上	①法人内の基礎介護研修に参加して、確かな知識を習得することにより、利用者の生活状況や身体状況に応じた適切な助言・提案を行う力(能力)を身につける。	細野	計画	リーダー・主任、介護の基礎知識50	リーダー・主任、介護の基礎知識50					B	基礎介護研修	基礎介護研修	基礎介護研修		基礎介護研修			B	基礎介護知識を復習し新たな知識や技術を習得することで本人、家族に適切な助言・提案ができる。	H24年から継続している研修に計画通り参加。基礎知識を見直し、適切な介護の説明や知識を本人・家族に提案、助言する事ができた。	
									②ケアカンファレンスの開催、地域機関とのケア会議をケアマネ主導で開催し、事例検討と課題解決の過程を通じて、ケアマネジメントに必要な知識と技術の向上を謀る。	細野	計画			地域ケア会議参加					B	地域ケア会議参加							B	地域ケア会議を開催。各担当機関と連携をとり、地域包括ケアの推進しチームケアの実践をする。	H25.6から地域ケア会議開催。毎月出席し事例検討し、他機関と情報共有を通して、地域連携の方法について模索している。
									③積極的に外部研修を受講すると共に、研修報告により共有化を図ることをもって専門知識と技術の向上に努める。	細野	計画			伴走型ケアマネ研修		先端ケア研究会 茨城	更新研修(河田CM)			B	主任ケアマネ研修(佐々木)	主任ケアマネ研修(佐々木)	主任ケアマネ研修(佐々木)				B	各ケアマネが課題に応じた外部研修を1つ以上受講する。 ・居宅会議で内容の共有化を図る。	・予定の研修に参加することができ佐々木CMが主任介護支援専門員習得。 ・他外部研修に参加し、研修内容の共有化を図ることができた。
									④家族と各事業所職員が共に学び交流するケアケア交流講座を継続して開催する。(年3回)	河田	計画			実行委員会開催	講座開催				B	実行委員会開催	講座開催	実行委員会開催	講座開催				B	年3回ケアケア交流講座を開催する。 ・講座開催時にアンケート調査を行い、次年度へつなげる。	今年度は計画通り3回のケアケア交流講座を開催。アンケートで、ご家族、地域の方の継続希望あり、次年度も開催する。
4	(4)	地域への貢献	②職員が地域へ出向き、行事・催事へ積極的に参加・協力する。	河田	計画		高齢者住宅 出前講座				B	福祉の集い パネル参加							B	年2回、地域の行事・催事に参加・協力する。	計画通り、高齢者住宅で2回の講座と福祉の集いのパネル展示に参加した。								
			⑤	計画								D	スキルアップ 学習会の実施						D	PCスキルアップにてワイズマン・書類作成の時間が省力化する。	PCの入れ替えがありハード面では各自効率的に業務が行えたが、計画した内容は実施できなかった。								
5	(5)	業務の効率化・省力化	①デスクワークの効率化・省力化を図るため、PCスキルアップ向上の学習会を行う。	佐々木	計画	ワイズマン 機能の確認		効率的な方法を検討			D		スキルアップ 学習会の実施						D	各ケアマネが訪問時に持参できるようなのを形にする。	ケアマネジメント業務優先となり時間を作れず計画した内容には取りかかれなかった。								
			②ノートパソコン、タブレット端末などを活用して、利用者・家族に対して、サービスの種類と特徴、サービス活用による効果、費用をよりわかりやすくビジュアルに説明できる方法を研究する。	佐々木	計画		資料・情報収集						D	資料作成							D								
			①目標利用者人数(期初111名→期中→113名期末→117名:6名増加)	佐々木	計画	期初111名				期中113名	A						期末117名		A	目標人数を達成する。	目標人数達成。月平均人数117人								
					実施	115名	118名	118名	114名	117名		118名	123名	119名	115名	112名	119名												

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容			
6	(5)	適正利益の確保	②加算・減算要件を把握し、適正な管理を促進する。	佐々木	計画	加算前設定時確認					集中減算資料作成	B						集中減算資料作成	・特定事業所加算Ⅱ・集中減算・毎月の加算・減算事前設定が把握・管理できる。	B	四半期に集中減算の把握・管理実施し適切に管理行えた。		
					実施	実施済																	
			③目標に対する実績確認を毎月行い、利用者・収益増減の原因を明らかにする。	佐々木	計画	実績・原因確認								B							・実績から収益増減の原因が掴める	B	実績確認を行い、利用者の増加に伴い収益の増加につながった。
					実施	実施済																	
			④利用者の状態・動向に関する情報をデータ化し、ケアマネジメントによる成果(在宅生活の維持、ADL・QOLの向上、介護度の維持・改善など)を明確にするとともに、自事業所の強み・弱みを分析する。	佐々木	計画		H23年動向データの集計	H24年動向データの集計	情報データ化					B	分析						・ケアマネジメント成果が形になる書式をつくることできる。	B	利用者の状態・動向に関する情報をデータ化集計過去3年間の動向をグラフ化した。
					実施		実施済	実施済	実施済	実施済	実施済				実施済	実施済	実施済	実施済	実施済				
			⑤質の高いサービスを提供するため、サービス自己評価自己点検を継続し、提供するサービス水準の客観的把握と具体的解決策を作成して改善に結びつける。	佐々木	計画					チェックリスト準備	チェック実施	集計検討		B	改善案の計画作成			チェック実施	集計検討	改善案の計画作成	・年2回介護支援専門員業務に関するチェックリストを利用し、業務チェックを行う。チェック結果改善策を講じる。	C	自己点検テキストチェックリスト実施したが改善案作成までではできなかった。
					実施					実施済	実施済	実施済			未実施			実施済	実施済	未実施			
			⑥利用者のニーズをサービス内容に反映するため、各種アンケートや満足度調査を実施し利用者の声・第三者の声に応える取り組みを実施。結果を積極的に情報公開する。	佐々木	計画		H24年度満足度調査結果、広報さつきにて公表				アンケートの作成	準備・発送		B	回収	データ作成			改善案の作成		・年に1回利用者・家族に対し、満足度調査を実施する。結果を分析し改善策を講じる。	B	満足度調査実施。集計・分析し5月広報に情報公開予定。
					実施		実施済				実施済	実施済			実施済	実施中			実施中				

平成25年度 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家事業報告

1. 総括

平成25年度は、「安全で根拠に基づく介護サービスの提供」「基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供」「地域に密着した運営の見直し」「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」「業務の効率化と適正利益の確保」を重点目標に掲げ取り組んだ。

1) 「安全で根拠に基づく介護サービスの提供」

毎月カンファレンスを実施しケアの見直しと統一を図った。また、困難ケースにおいても随時カンファレンスを実施してはいたが、6月に不適切なケアが行われた。この件については、不適切なケアに対する防止対策への取り組みが不十分であったことが大きな要因である。歩行補助具（車椅子・歩行器・シルバーカートなど）については、定期的に点検と清掃を行うことで点検不備による事故はなく、安全に使用することができた。感染症については、手洗い・うがいの強化と館内の湿度管理を徹底したことで、今年度も感染症発症者ゼロにすることができた。また、自然排便を促すために新たに玄米ご飯を提供し下剤使用者を減らすことができた。

2) 「基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供の見直し」

毎年継続し基礎介護研修を行い、今年度は7名の職員が講師となり実施した。高齢者ケア研究会の推進している「介護の知識50」をベースに研修を組み立て、実践的な内容を取り入れることで、職員の知識と技術の向上を図るとともに、人に伝える力を身につけることができた。

3) 「地域に密着した運営の見直し」

行事や地域の催し物には例年通り参加できたが、新しく企画し地域とのつながりを深めるには至らなかった。運営推進会議については、2ヶ月に1回開催し、運営状況や事故の状況等について委員の方々より情報やアイデアをいただくことができた。

4) 「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」

面談制度については継続して実施したが、不安や悩みに対応できず離職者が出てしまった。離職者が出たことにより、予定していた連休の取得は2名しか取得する事ができなかった。下期からは、理念に基づく週間目標を現場と照らし合わせて具体的な目標を考えることで、思いを共有するよう努めた。また、自立支援への取り組みに力を入れ、今まで2名で携わっていた方が1名で介助できるようになったり、家事や炊事を行うことで認知症状が落ち着く等の成果をあげることができた。

5) 「業務の効率化と適正利益の確保」

業務の効率化を図るためのマニュアル整備については実施できなかった。適正利益については、年間平均稼働率99.0%と目標稼働率の97%を大きく上回ることができた。この結果は予防的なケアに努め入院を減らすことができたことと、退去から新規入居への空床日数を最短にしたことによるものである。

2. 次年度に向けての展望

平成26年度は、今年度同様の重点目標の活動内容を充実しより具体的な計画を立て取り組んでいきたい。

「安全で根拠に基づく介護サービスの提供」では、まず、今年度の不適切なケアを重く捉え、同様のことが二度と起きないよう効果のある再発防止研修と職員のストレスを解消するメンタル面のケアを実施する。新アセスメント様式を導入し、入居者の重度化に対応できるようにアセスメント項目の見直し・整理を行い、更に予防的なケアに努めたい。食事形態についても入居者の状態が重度になっても、できるだけ口から美味しく食べて頂けるよう、質の向上を目指したい。

「基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供」では、「介護の知識50」をベースにより実践的な内容を取り入れ、日常のケアの向上を図る。認知症のケアについては薬剤をできるだけ使用せず BPSD を身体面、精神面、環境面からアセスメントを行い対応していきたい。

「地域に密着した運営の見直し」では、地域の行事・催し物にはより多く参加し、地域の方々が参加できる行事を年度内に1回は事業所で企画したい。

「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」では、なごみの家全体としてユニット間や併設の小規模多機能ホームとの連携を強め、職員の不安やストレスを軽減し、職員が安定して生き生きと目標を持って働ける職場環境を作ることに力を入れたい。また、5日間の連続休暇を実現し職員のリフレッシュを図りたい。

「業務の効率化と適正利益の確保」では、間接業務・事務的業務については、効率的に業務を行えるようマニュアルを作成し必要な見直しを行いたい。利益については、稼働率98%を必達目標に更に予防的なケアに努め入院を減らすことを継続したい。また、今年同様、退居から新規入居までの空床日数を短縮し適正利益の確保に努めたい。

3. 運営状況・統計資料

(1) 稼働状況

目標ベッド稼働率(A)	実際ベッド稼働率(B)	達成率 (B)÷(A)×100	前年度ベッド稼働率(C)
97.0%	99.0%	102.0%	98.2%

(2) なごみの家会議開催状況

日 時	議 題 内 容
4月16日	理念の唱和 ・H24年度活動計画評価について ・H25年度事業計画について ・行事計画について ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
5月21日	理念の唱和 ・H25年度活動計画について ・権利擁護、個人情報保護、守秘義務について ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
6月14、15日	なごみの家緊急会議 ・入居者への虐待の発生について ・虐待行為に至った経緯 ・原因 ・これまでの対応 ・今後の予定
6月18日	理念の唱和 ・マナー、モラル研修 ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
7月16日	理念の唱和 ・苦情対応マニュアルについて ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
8月20日	理念の唱和 ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
9月17日	理念の唱和 ・朝の引き継ぎ方法変更について ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
10月15日	理念の唱和 ・活動計画中間評価について ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
11月19日	理念の唱和 ・権利擁護、個人情報保護、守秘義務について ・外部評価について ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
12月17日	理念の唱和 ・苦情対応マニュアルについて ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
1月21日	理念の唱和 ・満足度調査について ・サービス向上発表会について ・事故報告について ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
2月17日	理念の唱和 ・サービス向上発表会について ・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス
3月18日	・行事、会議、出張、研修他 ・その他 ・ケアカンファレンス

(3) 環境整備他

日 時	内 容	担 当	業 者
4月中旬	入浴台購入	秋保	厚友会
5月 8日	洋ユニット食洗機部品交換	秋保	パナソニック
5月 8日	和ユニット衣類乾燥機修理	秋保	ヒタチ
5月下旬	シャワーキャリー修理	秋保	さわやかセンター
5月中	誘導灯電池交換	秋保	五光トータル防災
5月中旬	洋ユニット卓上 IH クッキングヒーター	秋保	ヤマダ電機
5月中旬	ブルーレイレコーダー(各ユニット1台)	秋保	ヤマダ電機
5月上旬	衣類乾燥機(各ユニット1台)	秋保	ヤマダ電機
5月中	洋ユニットコンセント増設	秋保	亀谷電設
7月中旬	リクライニング車いす	谷	厚友会
7月中	和・洋ユニット来客者用手洗い場工事	秋保	盛永組
7月中	車庫修理工事	秋保	盛永組
7月下旬	和ユニット歩行器購入	川村	厚友会
8月下旬	和ユニット洗濯機修理	秋保	ヤマダ電機
9月上旬	和ユニット給湯設備備品取り替え	秋保	大洋設備
10月上旬	洋ユニット入浴洋シャワーベンチ購入	秋保	北海道国洋
12月中	消火器、誘導灯取り替え	秋保	五光トータル
1月下旬	和ユニット 加湿器購入	川村	ヤマダ電機
1月中旬	和ユニット 食洗機購入	秋保	ヤマダ電機
2月中旬	高反発座布団購入	川村	厚友会
2月下旬	和ユニット 衣類乾燥機購入	川村	ヤマダ電機
3月中	GH フローリング修繕工事	秋保	盛永組

(4) ボランティア状況

日 時	内 容	人 数
4月20日	お話しボランティア	1名
4月29日	お話しボランティア	1名
5月11日	お話しボランティア	1名
5月26日	お話しボランティア	1名
6月 2日	一斉清掃 <ul style="list-style-type: none"> ・・・老人会 ・・・家族 ・・・鷹栖高校 ・・・その他 	10名 13名 10名 1名
6月16日	お話しボランティア	1名

6月22日	お話しボランティア	1名
7月13日	お話しボランティア	1名
7月21日	お話しボランティア	1名
8月10日	鷹栖熱夏フェスタ	6名
9月11日	お話しボランティア	1名
9月28日	秋の一斉清掃（老人会）	16名
11月9日	青年会食事会	16名
11月16日	音楽教室演奏会	12名
11月23日	お話しボランティア	1名
12月15日	年末大掃除（ご家族）	15名
12月29日	お話しボランティア	1名
1月19日	お話しボランティア	1名
1月25日	お話しボランティア	1名
2月8日	お話しボランティア	1名
2月22日	お話しボランティア	1名
3月16日	お話しボランティア	1名
3月29日	お話しボランティア	1名

(5) 行事活動状況

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
5月12日	お花見	旭川、町内ドライブ	志知・大橋
6月10日	買い物ツアー	イオン旭川西店	森田・高橋
7月14日	さつき祭	さつき苑	川村・森本
7月28日	流しそうめん	なごみの家	松嶋・桑原
8月10日	鷹栖熱夏フェスタ（焼肉）	なごみの家	川村・菅原
8月11日	鷹栖熱夏フェスタ（花火見学）	メロディホール前 駐車場	川村・菅原
8月13日	鷹栖地区盆踊り	雨天の為中止	高橋・坂原
9月15日	長生き感謝祭（表彰者）	メロディホール	森田・星
9月29日	運動会	なごみの家	谷・松嶋
10月10日	紅葉狩り	神居古潭	森本・高橋
10月	買い物ツアー	中止	志知・福田

1 1月 9日	青年会食事会	なごみの家	青年会・秋保
1 2月 24日	クリスマス会	なごみの家	坂原・鶴谷
1 2月 28日	忘年会	なごみの家	谷・川村
2月 3日	節分	なごみの家	桑原・新井

(6) 実習・研修・見学受け入れ状況

日 時	内 容	人 数
9月3日、4日	認知症実践者研修他施設実習	3名
9月24日、27日	認知症実践者研修他施設実習	4名
10月9日、10日	鷹栖中学校職場実習	2名
10月21～23日	鷹栖町役場新任研修	4名
11月20日	市民後見人養成研修受講者	6名
12月17日	美瑛慈光会グループホーム虹職員見学	6名
1月8日、10日	認知症実践者研修他施設実習	2名
2月3日	認知症実践者研修他施設実習	1名
2月14日	旭川大学実習生見学	1名

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家

制 S: チャレンジした企画が成功 A: 期待以上の結果 B: 期待どおりの結果 C: アクションしたが結果不十分 D: まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施担当者	月別進捗												ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容				
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月				3月			
1	(1)	安全で根拠に基づくサービスの提供	根拠に基づくサービス提供のため、ケアプランの見直しとプランに沿った適切なサービス提供を実施する	秋保 谷川村	計画	ケアプランの確認													目標について見直し本人が達成できるケアプランを作成する。	B	定期的に更新でている。目標においても達成できる目標の設定を行っている。		
			ケースカンファレンスを定期的に行い統一したケアを実施する	谷川村 菅原	計画	モニタリングカンファレンス														ケア困難ケースにおいて随時ケースカンファレンスをし本人の状態を維持する。要介護度の維持・安定	C	必要時には随時実施。リーダー会議、ユニット会議でも実施できている。平均要介護度が昨年と比べ0.16重なり維持・安定には至らない。	
			安全で予防的なケアと業務の標準化を図る	谷川村 菅原	計画	車椅子・歩行器点検				研修会(食中毒)											事故件数前年度より-10%。定期的な車椅子・歩行器の点検をし、整備不良による事故0件。食中毒・感染症発症者0件。	C	事故は39件(前年度33件)約18%増点検の不備による事故はなく、安全な状況で使用できている。食中毒・感染症発症者0件
			抑制・虐待防止の指針に基づき研修を実施する	秋保	計画					指針に基づき研修							指針に基づき研修				年2回指針に基づき研修を実施しする。抑制・虐待0件。	C	6月に虐待1件。虐待予防研修は1回しか実施できず。
2	(1)	利用者の権利擁護と苦情・意見の対応体制の構築	迅速な苦情・意見の対応	秋保 谷	計画				対応マニュアルの確認										苦情・意見が開かれたさいは、苦情等対応マニュアルに従い迅速に対応する。	B	苦情・意見なし。		
			権利擁護・個人情報保護・守秘義務の再教育	秋保	計画															利用者・家族に関わる情報流出事故を0件。	B	利用者・家族に関わる情報流出事故0件。	
			満足度調査を継続し家族の意見も聞き入れ事業所の運営に反映していく	秋保 谷	計画												満足度調査			満足度調査を行い入居者・家族のニーズを把握し問題点を改善する。満足度99%	C	入居者については、介護度の重度化に伴い調査対象者7名。入居者満足度88.7%(前年度11名。93%) 家族満足度97.9%(前年度98%) 入居者、家族とも満足度99%には至らず。	
3	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	褥瘡の早期発見・発症時のケア、技術の向上	谷川村 菅原 新見	計画	ボジショニングの徹底													褥瘡の基礎知識を学ぶ。褥瘡発症者0件。	B	1名発症(早期発見で改善する)		
			定期的な健康診断の推進・実施と情報の一元的な管理	谷川村 菅原	計画						健康診断									診断結果の分析(昨年との比較) 対応策の検討	S	入院日数41日。前年度比約-40%(前年68日)	
			口腔ケアの強化	川村 菅原	計画	毎食後口の腔ケアの徹底														誤嚥性肺炎の知識を学ぶ。毎食後口腔ケアを行う。誤嚥性肺炎による入院者0件。	C	食事ケア研修にて誤嚥性肺炎の知識を学ぶ。全入居者が毎食後の口腔ケアには至ってない。誤嚥性肺炎による入院者1件。	
			人間本来の排泄機能を理解し、できるだけ下剤をつかわない排泄ケアを行う	川村 菅原	計画	玄米粥、押し麦、ヨーグルトの継続。															下剤利用者を減らす。(-10%)	S	自然排便を促すため、玄米粥、押し麦、寒天、ヨーグルトを継続。新たに玄米飯開始。下剤使用者8名中5名が減らすことができた。約-62%
4	(5)	環境を改善し暮らしやすい生活環境を作る	居室・共有スペースの衛生や、個々の生活に必要な空間作りを行う	菅原 高橋	計画	清掃確認 環境確認	加湿器片付け	環境確認			加湿器準備	清掃確認 環境確認	環境確認		環境確認				いつもきれいで利用者の過ごしやすい生活空間をつくる。管理者が確認し常に良い状況にする。	B	入居者の過ごしやすい生活空間に配慮し、居室についても、以前の暮らしに近づける空間作りを行う。		
			施設内の装飾品や植物を適切に管理し潤いある生活空間を作る	菅原 高橋	計画	春のしつらえ							秋のしつらえ			冬のしつらえ				四季の感じられるしつらえを楽しんでいただく。植物を置いて管理する。	C	玄関の装飾品やユニット内の写真を取り替えたりと四季の感じられるしつらい作りを行う。植物の管理はやや不十分であった。	
			入居者の身の周り品の整理・清掃の支援を行う	菅原 高橋	計画		衣替え													各担当が中心になり行い乱雑にならないようにする。	C	各担当が中心に整理しているも、やや不十分を感じる。	
			トイレ・浴室の環境見直し	菅原 高橋	計画	環境確認															不具合があれば環境の見直しを行う。トイレ、浴室での事故0件	B	洋ユニットシャワーチェア入れ替え。環境不備での事故0件。

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家

訓 S: チャレンジした企画が成功 A: 期待以上の結果 B: 期待どおりの結果 C: アクションしたが結果不十分 D: まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容		
5	(2)	基礎介護力の向上	重度障害のある方への基礎介護を再学習する(基礎介護研修の実施)	秋保谷川村	計画			食事ケア研修の企画	食事ケア研修				排泄ケア研修の企画	排泄ケア研修入浴ケア研修の企画	入浴ケア研修	移乗移動ケア研修の企画	移乗移動ケア研修	効果測定	B	全ての研修に全職員参加には至らなかったが、効果測定は全員提出。平均95点。		
			実施			未実施	未実施	食事ケア研修の企画	食事ケア研修実施	B		排泄ケア研修実施	認知症ケア研修実施	入浴ケア研修実施	移乗移動ケア研修実施	済						
			現任職員が基礎介護研修の講師となり人に伝える力を身につける	秋保谷川村	計画			食事ケア研修の企画	食事ケア研修					排泄ケア研修の企画	排泄ケア研修入浴ケア研修の企画	認知症ケア研修	移乗移動ケア研修の企画	移乗移動ケア研修		B	5年以上の職員が講師となり伝える力を身につける。	
			実施			未実施	未実施	食事ケア研修実施		B		排泄ケア研修実施	認知症ケア研修実施	入浴ケア研修実施	移乗移動ケア研修実施							
			基礎介護研修を通して現任・新任職員共に介護力の向上を図る	秋保谷川村	計画				食事ケア研修						排泄ケア研修	入浴ケア研修	認知症ケア研修	移乗移動ケア研修	効果測定	B	現任・新任職員共に介護力の向上を図る。	
			実施							食事ケア研修実施	B		排泄ケア研修実施	認知症ケア研修実施	入浴ケア研修実施	移乗移動ケア研修実施	済					
6	(2)	認知症ケアの再確認	認知症についての理解を深め、認知症の症状や個々の症状に合わせた専門性のあるケアを行う	秋保谷川村	計画														C	認知症についての理解が不十分で6月に虐待があった。		
			実施	済	済	済	済	済	済	済	C	済	済	2名参加	済	済	済					
			記録による状態変化の把握(ダブルチェック)とカンファレンスの徹底	秋保谷川村	計画	ダブルチェック									ダブルチェック						B	記録よりBPSDの悪化を予測し対応している。BPSDの悪化で要介護度が重くなった方はいない。
			実施	済	済	済	済	済	済	済	B	済	済	済	済	済	済					
7	(2)	アクティビティの充実	①利用者のADL維持・向上と楽しみあるメニューを計画・実施する ②地域との交流の機会を年1回以上設ける ③利用者に合わせた役割と楽しみ・喜びにつなげるケアの実施	森本西	計画	テレビ体操	お花見	買い物ツアー	さつき祭見学 流しそめん	熱夏フェスタ 分踊り	運動会 長生き感謝祭				紅葉狩り 買い物ツアー テレビ体操	クリスマス 餅つき 忘年会	節分	桃の節句	C	効果的なアクティビティを実施する。 一部中止した行事もあるが、楽しんでいただける行事を実施できた。		
			実施	B	済	済	済	済	済	済	B	済			済	済	済					
8	(3)	地域・家族とのつながりの強化	広報委員会を継続し、地域へ情報を提供する	松嶋坂原	計画		広報誌発行								広報誌発行			広報誌発行	B	定期的な広報の発行を通して、地域への情報を提供出来た。		
			実施		済		済		済	B		済		済	済							
			応援の会を通じ、運営の協力と参加を図り、透明な運営に努める	秋保谷	計画		応援の会									応援の会			応援の会	B	定期開催し、意見を運営に反映させ改善していく。	
			実施		済		済		済	B		済		済	済							
			地域の方々にボランティアを募り参加頂く	秋保谷	計画		春の一斉清掃									青年会との食事会					B	例年のボランティア以外に中川音楽教室の生徒によるエレクトーン演奏実施。
			実施	お話しボラ	お話しボラ ・家族、老人会ボラ	お話しボラ	お話しボラ	お話しボラ	お話しボラ	お話しボラ ・老人会ボラ	D	未実施	お話しボラ	お話しボラ	お話しボラ	お話しボラ	お話しボラ					
家族会の立ち上げ立案	秋保谷	計画											家族会立ち上げ案考案			家族会立ち上げ準備	D	家族会の立ち上げにむけ準備する。 未実施				
実施												未実施		未実施								
9	(3)	開かれた事業所づくり	地域の方々が参加できる行事を開催する	秋保谷	計画				行事の企画		茶話会								D	茶話会を開き地域の方々との交流の機会を図る。 未実施		
			実施					未実施		未実施	D											
			利用者が地域社会の一員として豊かに暮らせるよう積極的に地域行事・活動に参加する	谷福田	計画						慰霊祭 町民祭り 盆踊り	福祉のつどい								C	地域の催しに積極的に参加し、天気の良い日は散歩を日常のプログラムに取り組む。地域の方になごみの家を認知していただく。	
			実施							慰霊祭 町民祭り のみ参加		C										
			職員自身も地域社会の一員としての自覚を持って地域の活動・行事に積極的に参加する	谷福田	計画						慰霊祭 町民祭り 盆踊り	福祉のつどい								C	地域の活動・行事に積極的に参加する。 24時間マラソンソフトボールに1名参加。	
			実施							慰霊祭 町民祭り のみ参加		B										

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家 訓 S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	評価内容				
10	(4)	人材育成の推進と働きやすい職場づくり	不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、職員面談を定着させる	秋保 川村 菅原	計画			面談の実施						面談の実施						面接を実施することで不安や悩みを軽減・解消する。	C	面接を実施することで不安や悩みを軽減・解消に努めた。退職者3名。(うち1名は夫の転勤のため)			
			有給休暇の計画的取得、連休取得計画・実施	秋保 谷	計画	連続有給休暇取得									連続有給休暇取得						1人3日間の連続休暇を計画的に取得し、リフレッシュを図る。(必ず有給を1日つける)	C	6月以降、職員体制が整わず、2か月で中断。		
			退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)	秋保 谷	計画	退職者0									退職者0						結婚・出産以外での退職者をださない。	C	退職者3名。欠員補充に苦戦し、安定運営には至らず。		
				秋保 谷	実施					退職者1名					C						退職者1名	退職者1名			
				秋保 川村 菅原	計画	毎日の引継で目標を共有する										毎日の引継で目標を共有する							思いを一つにすることで、チームワークの強化を図る。	B	10月より、週目標を各スタッフが順番で、現場と照らし合わせて具体的に考えることで、思いを共有するよう努めた。
				秋保 川村 菅原	実施	済	済	済	済	済	済	済	済	済	B	済	済	済	済	済	済	済	済	済	
11	(4)	チームワークの向上	リーダー以上は月例の会議の中で日々の出来事やエピソードを交え伝える	秋保 川村 菅原	計画	月例会議でリーダー以上から伝える								月例会議でリーダー以上から伝える							リーダー以上の思いを具体的に日々の出来事やエピソードに照らし合わせ伝えチームワークの強化を図る。	B	各会議の中で出来る限り日々の出来事と照らし合わせ伝えるよう努めた。		
			一年間一つのテーマを決めチームで取り組む(サービス向上発表会等での発表)	谷 川村 菅原	計画			取組み内容決定	取組み						取組み							一つのテーマにチームで取り組み成果を出す。	S	役割づくり、居場所づくりを通して自立支援への取り組みを実施。取り組み成果をサービス向上発表会で報告する。	
			目標稼働率98%を達成する	秋保 川村 菅原	計画	ダブルチェックを徹底し健康管理に努める										ダブルチェックを徹底し健康管理に努める							目標稼働率98%	S	年間平均稼働率99.0%
			ダブルチェックの徹底と総合記録シートを活用し予防的なケアに努め、入院を減らす	秋保 川村 菅原	計画	ダブルチェックを徹底し健康管理に努める										ダブルチェックを徹底し健康管理に努める							長期入院者を出さない。前年度より-10%	S	入院日数41日。前年度比約-40%(前年68日)入院者6名中、2名医療的治療必要にて退居して居る。
			業務の標準化・効率化(請求業務・勤務表作成業務・業績管理業務)	秋保 谷	計画								勤務表作成マニュアル作成			業績管理業務マニュアル作成							2つの業務のマニュアル整備。	D	未実施
			設備・消耗品に対するコスト意識を高め、目標を決めて費用・支出削減に努める	秋保 谷 志知	計画	節電運動		節電運動強化月間	節電運動		節電運動強化月間		節電運動強化月間			節電運動		節電運動強化月間		節電運動強化月間			光熱費を前年度より5%削減する。	C	職員一人ひとりが意識しているも5%の削減には至らず。前年度比約7.4%増
	秋保 谷	実施	済	済	済	済	済	済	済	済	済	B	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済			
12	(5)	業務の効率化・適正利益の確保		秋保 川村 菅原	計画																				
				秋保 川村 菅原	実施	94.40%	99.60%	99.80%	98.00%	100.00%	100.00%		A	100.00%	100.00%	97.70%	98.70%	100.00%	100.00%						
				秋保 川村 菅原	計画																				
				秋保 川村 菅原	実施	1名	1名	1名	2名					C											
				秋保 谷	計画																				
				秋保 谷	実施																				

平成25年度 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家事業報告

1. 総括

平成25年度は『安全で根拠に基づく介護サービスの提供』『基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供』『地域に密着した運営の見直し』そして『職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる』『業務の効率化と適正利益の確保』と目標をかかげ取り組んだ。

まず、『安全で根拠に基づく介護サービスの提供』『基礎介護の向上と認知症の方への適切な介護提供』については、前年度同様に基礎介護力・専門性の向上を図るため、基礎介護研修を実施した。今年度は、事業所内での研修を行い、内容は前年よりもさらにレベルアップさせ、実践に繋がれるものとした。また、事業所内の職員が講師を受け持つことで、講師となった職員のレベルアップにもつなげる事が出来た。認知症状の悪化した利用者に対してのケアについては家族・主治医との連携を行い、薬の減薬や継続泊まりの提供で症状の改善に取り組んだ。

『職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる』では、例年同様、職員面談は定期的に継続して行い、不安やストレスの軽減に繋がった。リフレッシュのための連続休暇取得については体調不良等での休暇取得者が数名いたことも有り全職員が取得することは出来なかった。チームワークの向上・サービス向上につなげるための取り組み内容「一つのテーマにチームで取り組む」に関しては、「明るくおしゃれな事業所にイメージアップ」することをテーマに、玄関を中心に環境整備の計画をし、改善のための修繕工事を行い、チームで協力し実施することが出来た。

『適正利益の確保』では、新規利用者は9名居たものの、入院や施設入居等での登録終了者が10名おり、登録者については目標の19名達成は出来ず、年間での平均登録者数は15.4名と大きく下回った結果となった。

昨年に引き続きPR活動は行ったが、計画・準備等十分に行えず、地域の老人クラブ2ヶ所と保健推進委員、民生委員への取り組みのみであった。目標登録者数に達しなかった大きな要因として、身体状況・病状の把握や悪化の予測が不十分であったことと、要介護度の維持・向上のための取り組みが不十分であった。自宅での生活状況の把握や介護状況の把握・支援不足等から入院7名、施設入居3名の登録終了者があったものと考えられる。適正利益の確保は今後の大きな課題である。

2. 次年度に向けての展望

平成26年度に向けて、今年度に引き続き5つの重点目標を掲げ取り組んでいきたい。特に、『業務の効率化と適正利益の確保』として、基礎介護研修を継続し具体的なケアの向上を図ることと、ご利用者の在宅生活の継続が困難にならないよう、記録による確認（ダブルチェック）、健康状態の把握・悪化の予測を十分に行い入院者を減らすことに取り組み、登録終了者を減らすことに努めたい。

また、学習療法を取り入れることと、魅力のあるプログラム作りにも取り組み、利用者の生きがいや楽しみ、自信に繋げていきたい。利用者が必要とされ、地域の方に頼り

にされるサービスを提供し利便性を高め、適正な利益の確保に努めて行きたい。

そして、職員が安心して働きやすい環境を整え、併設のグループホームと一体となりチームワークを高めていきたい。また、職員面談制度の中で、職員の不安軽減やストレス軽減に努めることと、計画的な連休を確保することと、できるだけ役割分担と小さくても良いので目標を個々が持ち、「やりがいと働きがいのある職場」になるよう努めたい。

3. 運営状況・統計資料

(1) 小規模多機能ホーム会議開催状況

月 日	議 題 内 容	出席者
4月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス・満足度調査結果について ・ 担当会議（レク・リハ・アクティビティ・環境）について 	6名
5月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス・行事（買い物・外食ツアー）について 誤嚥性肺炎について ・ 利用者対象のミニ勉強会について 	7名
6月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス・行事（ラベンダー見学・さつき祭）について ・ 会議参加方法について 利用者担当からの検討事項提案について 緊急会議後の感想 	7名
7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス・事故報告・今後の対応策に関して 行事（ラベンダー見学）について ・ ミニ勉強会について 利用者との関わり、態度、言葉遣いについて 	9名
8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス・行事（なごみの家運動会）について 昼食の麦ご飯に関して GH入居者のSH利用に関して SH運営改善について 	8名
9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス・事故報告と今後の対応策について 行事（ミニ運動会・買い物外食ツアー）について・サービス向上発表会について リハビリについて ・ トータルケアについて 	7名
10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス・事故報告と今後の対応について・行事（出前の日）について 月のレクについて ・ 宿泊定員について 小規模運営改善計画進捗状況について 運営改善の目標について スクリーニング後の重要ケースの説明 	7名
11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス・褥瘡ハイリスク者について ・ 栄養状況悪い方について 事故報告と今後の対応法について 行事（餅つき・忘年会）について SH 大掃除について 宿泊室贈室のための改修について 小規模運営改善計画進捗状況について（玄関環 	8名

	境イメージアップ・パワーポイント試写)	
12月17日	・ ケースカンファレンス・事故報告と今後の対応について・行事（忘年会）について 体操・掃除の担当について ノロウイルス・インフルエンザ感染対応について 小規模運営改善計画進捗状況について	8名
1月21日	・ ケースカンファレンス・事故報告と今後の対応について 行事（室内パーティー）について 入浴状況について ・ 小規模運営改善計画進捗状況について	8名
2月17日	・ ケースカンファレンス・行事（室内パーティー）について 小規模運営改善計画進捗状況について 利用者対象ミニ勉強会について	8名
3月18日	・ ケースカンファレンス・事故報告と今後の対応について入浴について 来年度の行事について レクの月担当について 係担当について	8名

(2) 小規模多機能ホーム事故状況

月 日	内 容	結 果
7月5日	外出（78才・女性）	玄関を出たところGH職員に発見される
7月16日	転倒（77才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常無し
9月4日	未投薬（77才・女性）	異常なし
9月14日	誤投薬（78才・男性）	異常なし
9月19日	転倒（88才・女性）	腰椎圧迫骨折入院（2ヶ月）
9月23日	転落（93才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
10月27日	転倒（77才・女性）	左頭部打撲・その後異常なし
10月30日	打撲（76才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
10月31日	転倒（77才・女性）	転倒の外傷は無いが、不随意運動激しく救急搬送入院となる。
11月17日	切り傷（88才・女性）	出血・消毒カットバン貼用
12月7日	転倒（93才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
12月28日	転落（88才・女性）	外傷痛みなし・後日内出血
1月3日	未服薬（79才・男性）	異常なし
1月7日	投薬忘れ（78才・男性）	異常なし
1月8日	誤投薬（88才・女性）	Dr から様子観察の指示。その後異常なし
1月11日	転落（83才・女性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
2月13日	打撲（87才・女性）	頸椎捻挫（整形受診1回・整骨院往診2週間）
3月15日	転落（79才・男性）	外傷痛みなし・その後も異常なし
3月17日	投薬忘れ（88才・女性）	異常なし
3月31日	外出（78才・女性）	玄関を出たところ GH 職員に発見される

(3) 小規模多機能ホーム行事活動報告

日 時	行 事 名	場 所	担 当 者
4月7日	花祭り	専証寺	林崎
4月13日	ドライブ	鷹栖町内	進藤・山田
4月20日	ドライブ	鷹栖町内	永野・深瀬
4月29日	ドライブ	鷹栖町内	樫山・深瀬
4月29日	出前の日	なごみの家	山田
5月3日	ドライブ	ぬくもりの家	進藤・山田
5月10日	ドライブ	男山・当麻	佐藤・進藤
5月18日	ドライブ	美瑛	永野・樫山
5月19日	ドライブ	旭川市内	樫山・渡辺
5月20日	花見ドライブ	旭川市内	進藤・深瀬
5月24日	花見ドライブ	旭川市内	樫山・渡辺
5月25日	花見ドライブ	鷹栖町内	樫山・山田
5月26日	花見ドライブ	鷹栖町内	永野・深瀬
5月27日	ドライブ	旭川市内	渡辺・山田
6月1日	ドライブ	パレットヒルズ	樫山・深瀬
6月2日	ドライブ	鷹栖町内	永野・渡辺
6月7日	ドライブ	美瑛	進藤・山田
6月8日	ドライブ	鷹栖町内	西・佐藤
6月18日	外食・買い物ツアー	イオン	佐藤・進藤・樫山
6月19日	外食・買い物ツアー	イオン	樫山・渡辺
6月24日	ドライブ	旭川市内	渡辺・深瀬
6月28日	ドライブ	東川大雪水郷公園	進藤・山田
7月3日	ドライブ	旭川市内	進藤・渡辺
7月14日	さつき祭見学	さつき苑	林崎・深瀬
7月19日	ラベンダー見学	美瑛	永野・高橋・進藤
7月29日	ドライブ	鷹栖町内	高橋・佐藤
8月8日	戦没者慰霊祭	慰霊塔前	林崎
8月10日	焼き肉パーティー	なごみの家	林崎・高橋
8月12日	ドライブ	鷹栖町内	永野・渡辺
8月15日	ドライブ	鷹栖町町内	高橋
8月15日	買い物	鷹栖町内スーパー	深瀬
9月29日	なごみの家運動会	なごみの家	永野
10月8日	外食・買い物ツアー	イオン	渡辺・佐藤
10月9日	外食・買い物ツアー	イオン	樫山・小野

10月11日	ドライブ	東川	進藤・渡辺
10月11日	外食ツアー	比布紙風船	渡辺・檜山・小野
10月18日	ドライブ	花咲公園	佐藤・檜山
10月31日	ドライブ	旭川空港	渡辺・進藤
11月1日	ドライブ	旭川市内	渡辺・進藤
11月9日	青年会との食事会	なごみの家	林崎
11月16日	音楽会	なごみの家	檜山・深瀬
12月24日	クリスマス	なごみの家	山田
12月28日	餅つき・忘年会	なごみの家	永野・高橋
1月18日	出前の日	なごみの家	山田
2月3日	節分	なごみの家	高橋
2月7日	冬まつり見学	旭橋河川敷	林崎・高橋
2月25日	室内パーティー（鉄板焼き）	なごみの家	永野
3月14日	出前の日	なごみの家	檜山

(4) 手作りおやつ

	内 容
4月18日	鬼まんじゅう
5月17日	鯉のぼりロール
6月15日	ジャガイモのパンケーキ
7月21日	豆腐白玉
8月19日	フルーツくずきり
9月17日	チーズ入りたこ焼き
10月16日	かぼちゃあんどうら焼き
11月21日	バナナヨーグルトケーキ
12月20日	揚げない大学芋
1月25日	ふわっふわカボチャドーナツ
2月16日	イタリアンお好み焼き
3月17日	コーヒーパンケーキ

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家 訂S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	最終評価内容		
1	(1)	安全で根拠に基づくサービスの提供	根拠に基づくサービス提供のため、ケアプランの見直しとプランに沿った適切なサービス提供を実施する	林崎 佐藤	計画							B							目標について見直し本人が達成できるケアプランを作成する。	B	定期的に更新できている。目標においても達成できる目標の設定を行っている。		
			ケースカンファレンスを定期的に行い統一したケアを実施する	林崎	計画								B							ケア困難ケースにおいて随時ケースカンファレンスをし本人の状態を維持する。要介護度の維持・安定	B	必要時は随時実施。リーダー会議、ユニット会議でも実施できている。平均要介護度の維持はできている。	
			安全で予防的なケアと業務の標準化を図る	林崎 佐藤	計画						研修会(食中毒)			C							事故件数前年度より-10%。定期的に車椅子・歩行器の点検をし、整備不良による事故0件。食中毒・感染症発症者0件。	C	点検の不備による事故はなく、安全な状況で使用できている。事故は昨年度比 事故件数は2倍になっている。(前年10件今年度20件) 食中毒・感染症発症者1件(インフルエンザ)
			抑制・虐待防止の指針に基づき研修を実施する	秋保	計画							指針に基づき研修		B							年2回指針に基づき研修を実施しする。抑制・虐待0件。	B	研修は1回のみの実施であったが、抑制・虐待0件
2	(1)	利用者の権利擁護と苦情・意見の対応体制の構築	迅速な苦情・意見の対応	林崎 秋保	計画							B							苦情・意見が開かれたさいは、苦情等対応マニュアルに従い迅速に対応する。	B	苦情・意見なし。		
			権利擁護・個人情報保護・守秘義務の再教育	秋保	計画								B							利用者・家族に関わる情報流出事故を0件。	B	利用者・家族に関わる情報流出事故を0件。	
			満足度調査を継続し家族の意見も聞き入れ事業所の運営に反映していく	林崎	計画															満足度調査	C	前年度の満足度79.7%今年度79.9%で満足度は0.2%UP。全ての質問項目に関して無回答が1~4名おり、評価しづらい結果であった。	
3	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	褥瘡の早期発見・発症時のケア、技術の向上	林崎 小野	計画								B							褥瘡の基礎知識を学ぶ。褥瘡発症者0件。	B	褥瘡発症者0件	
			感染症予防に努め入院による利用休止をなくす	林崎 小野	計画									C							感染症発症者0件 入院日数前年度より-10%	C	尿路感染による入院1件。2月にインフルエンザ発症者1名。入院日数 昨年度比-50%(前年度186日今年度93日)
			口腔ケアの強化	林崎 小野	計画									B							誤嚥性肺炎の知識を学ぶ。毎食後口腔ケアを行う。誤嚥性肺炎による入院者0件。	B	食事ケア研修にて誤嚥性肺炎の知識を学ぶ。誤嚥性肺炎による入院者0件。
			排泄の管理を本人・家族と共に取り組み下剤による排泄を減らす	林崎 小野	計画									C							下剤利用者を減らす。(-5%)	C	下剤についての勉強会はご利用者向けに行えたが、家族を含めた取り組みには至らず。昼食のみではあるが押し麦開始。下剤を減らすまでには至らず。
			水分摂取量の把握を行い、適切な水分管理を本人、家族と共に取り組む	林崎 小野	計画									C								脱水症による入院者ゼロ	C
4	(5)	環境を改善し暮らしやすい生活環境を作る	宿泊室・共有スペースの衛生や、個々の生活に必要な空間作りを行う	進藤 樫山	計画								B							いつもきれいで利用者の過ごしやすい生活空間をつくる。管理者が確認し常に良い状況にする。	B	利用者の過ごしやすい生活空間に配慮し、宿泊室についても、落ち着ける空間作りを行う。	
			施設内の装飾品や植物を適切に管理し潤いある生活空間を作る	進藤 樫山	計画									B							四季の感じられるしつらえを楽しんでいただく。植物を置いて管理する。	A	玄関を始めフロア内のしつらえを「明るくおしゃれに」イメージアップできた。
			ご利用者の身の周り品の整理・清掃の支援を行う	進藤 樫山	計画									B							各担当が中心になり行い乱雑にならないようにする。	B	各担当が衣替えの時期に家族への連絡行い持参していただいている。身の回りの整理清掃はご自身で出来る方に関しては、一緒に行っていただいている。
			トイレ・浴室の環境見直し	進藤 樫山	計画									B							不具合があれば環境の見直しを行う。	B	環境の確認は行えており、トイレ、浴室での事故0件
				進藤 樫山	実施																	環境確認	B

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

訓 S: チャレンジした企画が成功 A: 期待以上の結果 B: 期待どおりの結果 C: アクションしたが結果不十分 D: まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取り組み内容	実施担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール(達成目標)	最終評価	最終評価内容				
5	(2)	基礎介護力の向上	重度障害のある方への基礎介護を再学習する(基礎介護研修の実施)	林崎佐藤	計画			食事ケア研修の企画	食事ケア研修			B	排泄ケア研修入浴ケア研修の企画	入浴ケア研修	移乗移動ケア研修の企画	移乗移動ケア研修		効果測定	B	全ての研修に全員参加はできなかったが研修に参加することで実践力・応用力が身につける。効果測定し全員が70点以上とる。				
			実施			未実施	未実施		食事ケア研修実施		未実施	排泄ケア研修実施	認知症ケア研修実施	入浴ケア研修実施	移乗移動ケア研修実施	効果測定								
			現任職員が基礎介護研修の講師となり人に伝える力を身につける	林崎佐藤	計画			食事ケア研修の企画	食事ケア研修					B	排泄ケア研修入浴ケア研修の企画	入浴ケア研修認知症ケア研修の企画	移乗移動ケア研修の企画			B	5年以上の職員が講師となり伝える力を身につける。			
			実施			未実施	未実施		食事ケア研修実施		未実施	排泄ケア研修実施	認知症ケア研修実施も講師には該当せず	入浴ケア研修実施も講師には該当せず	移乗移動ケア研修実施	効果測定								
			基礎介護研修を通して現任・新任職員共に介護力の向上を図る	林崎佐藤	計画				食事ケア研修				B	排泄ケア研修	入浴ケア研修	認知症ケア研修	移乗移動ケア研修		効果測定	B	現任・新任職員共に介護力の向上を図る。			
			実施				未実施		食事ケア研修実施		未実施	排泄ケア研修実施	認知症ケア研修実施	入浴ケア研修実施	移乗移動ケア研修実施	効果測定								
6	(2)	認知症ケアの再確認	認知症についての理解を深め、認知症の症状や個々の症状に合わせた専門性のあるケアを行う	林崎佐藤 永野	計画							B	個別にあわせたケアの提供・適宜カンファレンスの実施							B	認知症について理解し個別にあわせたケアの提供ができる。困難ケースに対してのカンファレンスが早急に実施できる			
			実施	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済						
			記録による状態変化の把握(ダブルチェック)とカンファレンスの徹底	林崎佐藤	計画	ダブルチェック								B	ダブルチェック							B	BPSDの悪化する方がなく、要介護度が安定する。	
			実施	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済					
			7	(2)	リハビリ・アクティビティの充実	①利用者のADL維持・向上と楽しみあるメニューを計画・実施する	林崎小野 進藤 櫻山	計画	出前月のレクイーボール	花見ドライブ	買い物・外食ツアー	テニサー見学	流しそうめん	運動会	B	買い物ツアー	出前月のレクイーボール	餅つき忘年会	出前	節分室内パーティー	出前桃の節句		B	効果的なアクティビティを実施する。
						実施		済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済		
②地域との交流の機会を年1回以上設ける																								
③利用者の生活が継続できるようご本人の役割・趣味・運動を取り入れ個々に合わせて計画する																								
8	(3)	地域・家族とのつながりの強化				広報委員会を継続し、地域へ情報を提供する		林崎高橋	計画		広報誌発行		広報誌発行			B	広報誌発行		広報誌発行		広報誌発行		B	定期的な広報の発行を通して、地域への情報を提供出来た。
						実施			済		済		済		済		済		済		済			
			応援の会を通じ、運営の協力と参加を図り、透明な運営に努める	秋保林崎	計画		応援の会		応援の会		応援の会			B	応援の会		応援の会		応援の会		B	定期開催し、意見を運営に反映させ改善していく。		
			実施		済		済		済		済		済		済		済							
			地域の方々にボランティアを募り参加頂く	秋保林崎	計画		春の一斉清掃		生花教室		秋の一斉清掃			B	青年会との食事会	保育所来所					B	例年のボランティア以外の中川音楽教室の生徒によるエレクティーン演奏実施。		
			実施		済		未実施		済		済		済		音楽教室との交流会実施									
家族会の立ち上げ立案	秋保林崎	計画										家族会立ち上げ案考案				家族会立ち上げ準備		D	家族会の立ち上げにむけ準備する。					
実施											未実施			未実施										
小規模多機能ケアをより多くの方に理解して頂くために地域の方々に向け情報発信する	林崎高橋	計画		老人クラブとの日程調整	リーフレット設置				老人クラブでの説明会		D	老人クラブでの説明会	リーフレット確認・設置				リーフレット確認・設置	B	事業所での介護相談や老人クラブへ出向き事業所の紹介をする。					
実施		未実施	未実施				未実施		未実施		未実施	未実施	大成老人クラブR実施 医療センターへパンフレット持参	体探クラブPR実施	佐野HPへPR実施	保健推進委員 民生委員 PR 実施								

平成25年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

Ⓜ:S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

事業計画 No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	実施担当者	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月												ゴール(達成目標)	最終評価	最終評価内容						
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
9	(3)	開かれた事業所づくり	地域の方々に参加できる行事を開催する	秋保林崎	計画				行事の企画		茶話会	D							茶話会を開き地域の方々との交流の機会を図る。	D	未実施				
			利用者が地域社会の一員として豊かに暮らせるよう積極的に地域行事・活動に参加する	林崎永野	計画					慰霊祭 町民祭り 盆踊り	福祉のつどい	B								地域の催しに積極的に参加し、天気の良い日は散歩を日常のプログラムに取り組む。地域の方になごみの家を認知していただく。	B	花祭り、慰霊祭、町民祭りに参加。なごみの家敷地内の散歩は行っていたが、地域に出る広範囲の散歩は日常的には行えていなかった。			
			職員自身も地域社会の一員としての自覚を持って地域の活動・行事に積極的に参加する	林崎佐藤	計画					慰霊祭 町民祭り 盆踊り	福祉のつどい	B									地域の活動・行事に積極的に参加する。	B	花祭り、慰霊祭、町民祭り、24時間マラソンソフトボール大会(1名)に参加。		
				秋保林崎	実施						盆踊りは不参加	未実施													
				林崎永野	実施																				
				林崎佐藤	実施																				
10	(4)	人材育成の推進と働きやすい職場づくり	不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、職員面談を定着させる	林崎秋保	計画			面談の実施				B	面談の実施						面接を実施することで不安や悩みを軽減・解消する。退職者0	B	面接を実施することで不安や悩みを軽減・解消に努めた。退職者0。				
			有給休暇の計画的取得、連休取得計画・実施	林崎秋保	計画	連続有給休暇取得							B	連続有給休暇取得						1人3日間の連続休暇を計画的に取得し、リフレッシュを図る。(必ず有給を1日つける)	C	有給を1日含めた連続休暇にはならない職員もいた。			
			退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)	林崎秋保	計画	退職者0								B	退職者0					結婚・出産以外での退職者をださない。	B	退職者ゼロ			
				林崎秋保	実施	済	済	済	済	済	済	済	済		済	済	済	済	済						
				林崎秋保	実施																				
				林崎秋保	実施																				
11	(4)	チームワークの向上	「大切にしたいこと、守っていききたいこと、こだわること」を職員が毎日の引継いで伝え、思いを一つにしていく	林崎	計画	毎日の引継いで目標を共有する							B	毎日の引継いで目標を共有する					思いを一つにすることで、チームワークの強化を図る。	B	10月より週の目標を各スタッフが現場と照らし合わせて具体的に考えることで、思いを共有するよう努めた。				
			リーダー以上は月例の会議の中で日々の出来事やエピソードを伝える	林崎	計画	月例会議でリーダー以上から伝える		マナー・モラル研修						B	月例会議でリーダー以上から伝える					リーダー以上の思いを具体的に日々の出来事やエピソードに照らし合わせ伝えチームワークの強化を図る。	B	各会議の中で出来る限り日々の出来事と照らし合わせ伝えるよう努めた。			
			一年間一つのテーマを決めチームで取り組む(サービス向上発表会等での発表)	林崎	計画			取組み内容決定	取組み					C	取組み					一つのテーマにチームで取り組み成果を出す。	A	「明るくおしゃやれな事業所へのイメージアップ」を目標にチームで取り組んだ。			
				林崎	実施			未実施	未実施	未実施	未実施				済	済	済	済	済						
				林崎	実施																				
				林崎	実施																				
12	(5)	業務の効率化・適正利益の確保	目標登録者19名を達成する	林崎	計画	新規利用者の確保			新規利用者の確保				C	新規利用者の確保		新規利用者の確保			3ヶ月に1名新規利用者を確保する。目標登録者数19名	C	今年度の新規登録者(長期入院での再登録は除く)は7名であったが、登録終了者(長期入院での終了者は除く)8名居り、目標登録者数には至らず。				
			ダブルチェックの徹底と総合記録シートを活用し予防的なケアに努め、入院を減らす	林崎佐藤	計画	ダブルチェックを徹底し健康管理に努める								B	ダブルチェックを徹底し健康管理に努める					長期入院での登録終了者を出さない。前年度より-10%	B	前年比-25%(前年度4名今年度3名)			
			家族の介護力の見極めをし、必要であれば介護技術の指導や、精神的負担軽減のための手助けを行い、家族と協力し利用者の在宅生活を支え、施設入居を減らす	林崎佐藤	計画	施設入居での停止者0									C	施設入居での停止者0					在宅介護の不安や悩みを軽減・解消する。施設入居での停止者0名。	C	施設入居での停止者4名。		
			業務の標準化・効率化(請求業務・勤務表作成業務・業績管理業務)	林崎佐藤	計画			請求業務マニュアル確認・修正						D	業績管理業務マニュアル確認・修正					3つの業務のマニュアル整備。	D	未実施			
			設備・消耗品に対するコスト意識を高め、目標を決めて費用・支出削減に努める	林崎佐藤	計画	節電運動		節電運動強化月間	節電運動		節電運動強化月間					節電運動		節電運動強化月間			節電運動強化月間				
				林崎佐藤	実施	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済					
				林崎佐藤	実施																				
				林崎佐藤	実施																				
				林崎佐藤	実施																				
				林崎佐藤	実施																				